

潮江小学校北舎外壁改修工事

図面番号	図面名
A-01	改修特記仕様書 (1)
A-02	改修特記仕様書 (2)
A-03	改修特記仕様書 (3)
A-04	改修特記仕様書 (4)
A-05	付近見取り図、配置図兼仮設計画図
A-06	1階・2階平面図
A-07	3階・PH平面図
A-08	1階・2階天井伏図
A-09	3階・PH天井伏図
A-10	南面・東面立面図
A-11	北面・西面立面図
A-12	矩計図(西棟)、軒天井詳細図
A-13	矩計図(東棟)
A-14	PH詳細図・庇断面詳細図
A-15	【参考図】改修・A通り②～③軸 ⑮～⑯軸 補強ブレース部分 平面、立面、断面詳細図
A-16	【参考図】改修・A通り⑦～⑧軸 ⑩～⑪軸 補強ブレース部分 平面、立面、断面詳細図
A-17	【参考図】改修・C通り②～③軸 ⑮～⑯軸 補強ブレース部分 平面詳細図
A-18	【参考図】改修・C通り⑦～⑧軸 ⑩～⑪軸 補強ブレース部分 平面詳細図
A-19	【参考図】改修・C通り②～③軸 補強ブレース部分 立面、断面詳細図
A-20	【参考図】改修・C通り⑦～⑧軸 ⑩～⑪軸 補強ブレース部分 立面、断面詳細図
A-21	【参考図】改修・C通り⑮～⑯軸 補強ブレース部分 立面、断面詳細図
A-22	【参考図】建具符号図-1
A-23	【参考図】建具符号図-2
A-24	【参考図】建具リスト-1
A-25	【参考図】建具リスト-2
A-26	【参考図】建具リスト-3
A-27	【参考図】建具リスト-4

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項
27 事業損失補償	※現場説明書による。 完成時の提出図書 完成写真	5 監督職員の備品等	備品等の設置 備品の種類 機・椅子 書棚 黒板 PC 掛時計 数量 組 台 枚 台 個 備品の種類 温度計 ゴム長靴 雨がっぱ 保護帽 懐中電灯 数量 個 足 着 個 個 備品の種類 衣類ロッカー 冷暖房機器 消火器 湯沸器 加入電話付風扇 数量 人用 台 個 台 台 備品の種類 掃除具 数量 個	⑤ シーリング	シーリング改修工法の種類 [3.1.4][3.7.4~3.7.7][表3.1.2] ・シーリング充填工法 ・ブリッジ工法 ・ボンドブレイカー張り ・エンジング材張り ○シーリング再充填工法 ・拡張シーリング再充填工法 適用する 適用する 適用する 適用する シーリング材の種類、施工箇所 [3.1.4][3.7.2][表3.7.1] ※下表による(下表以外は表3.7.1による) 種類(記号) 主成分による区分 施工箇所 ・SR-1 シリコン系 ・SR-2 変成シリコン系 図示 ○MS-2 ポリサルファイド系 ・PS-2 ポリウレタン系 図示 ・PU-2 仕上げを行わない箇所 () [表3.7.1] シーリング材の目地寸法 [3.7.3] 箇所 打継ぎ/ひび割れ誘発目地 ガラス回りの目地 左記以外の目地 幅(mm) ※20以上 ○図示 ※幅及び深さ5以上[5.13 ※10以上 ○図示 深さ(mm) ※10以上 ○図示 .3]による場合を除く ※10以上 ○図示 接着性試験 [3.7.8] ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験 材料 [3.8.2][表3.8.1] 材料 種 寸法 施工箇所 ・硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ※たてどい ・硬質ポリ塩化ビニル管カラー(77-VP) ※たてどい ・硬質塩化ビニル雨どい ※軒どい ・たてどい とい受金物及び足金物の材質、形状及び取付け間隔 [3.8.2] 材質: ※ステンレス製 ・溶融亜鉛めっき その他: ※表3.8.2による 防露材のホルムアルデヒド放出量 ※F☆☆☆☆ [3.8.2] 既存のといその他の撤去 ※図示 [3.8.3] 降雨等に対する養生方法 ※監督職員と協議による ・図示 鋼管製の防露巻き ※表3.8.4による たてどい受金物の取付け ・図示 ルーフドレンの取付け ・水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する。 保証書 (シーリング除く) 8 高日射反射率塗料塗り JIS K 5675 (屋根用高日射反射率塗料) に適合するもの、または、グリーン購入法の高日射反射率防水に適合する保護塗料とする。 外壁改修工事(共通事項) ① 材料品質 [4.2.4] 可とう性エポキシ樹脂 JIS A 6024による。 比重 押出し性(秒) スランプ(Mm) 質量変化率(%) 引張り強さ(MPa) 破断時伸び(%) 引張り接着性 標準値 ±0.10 60以下 3.0以下 5.0以下 低温 1.0以上 低温 30.0以上 最大引張強さ 1.0MPa以上 破断時の伸び 10.0%以上 1)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2)対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。 3)常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後も品質・性能が上記の各項目に適合していること。 パテ状エポキシ樹脂 [4.2.4] JIS A 6024による。 初期硬化性(MPa) 接着強さ(MPa) 圧縮強さ(MPa) 曲げ強さ(MPa) 硬化収縮率(%) 標準値 2.0以上 標準6.0以上 50.0以上 30.0以上 3.0以下 1)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2)対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。 3)常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後も品質・性能が上記の各項目に適合していること。 4)試験方法は、JIS A 6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)に準じる。 エポキシ樹脂モルタル [4.2.4] JIS A 6024による。 だれ 接着強さ(MPa) 圧縮強さ(MPa) 曲げ強さ(MPa) 形状に異常がなく、だれが生じないこと 1.0以上 20.0以上 10.0以上(3日後の値) 1)こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上がり良好であること。 2)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 3)「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 4)常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月間保存した後も品質・性能が上記の各項目の規定に適合していること。 ポリマーセメントモルタル [4.2.4] だれ 接着強さ(N/mm2) 圧縮強さ(N/mm2) 曲げ強さ(N/mm2) 標準条件 特殊条件 5mm以内 表面状態 曲げ強さ(N/mm2) 圧縮強さ(N/mm2) 標準条件 特殊条件 ひびわれの発生がないこと -6.0以上 20.0以上 1.0以上 0.8以上 0.5以上 1)透水性 裏面のぬれ、水滴の付着がないこと。 2)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 3)ポリマーセメントモルタルに用いる高分子エマルジョンは、常温常湿において製造後6ヶ月保存しても変質しないこと。 ポリマーセメントスラリー [4.3.5] 拡がり速さ(吸) 長さ変化率(材齢28日) 引張接着性(材齢28日) 曲げ強度(材齢28日) 吸水率(72時間) 劣化曲げ強さ(N/mm2) 3以上 3以下 0.49以上 4.9以上 15以下 4.9以上 1)保水係数 0.35~0.55 2)粘調係数 0.50~1.00 3)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 4)ポリマーセメントスラリー用の材料は、常温常湿において製造後6ヶ月保存しても変質しないこと。
29 完成写真	下表のもの監督職員に提出する。 位置 分類・規格 撮影枚数 部数 原画の大きさ(mm) ・各室 手札版(L版) ※2枚・枚 ※1部・部 100×125以上 ・外部 キャビネ版 ※4枚・枚 ※1部・部 24×36以上 ・外部 半切パネル(木製枠※アルミ枠) ※1枚・枚 ※1部・部 ・ スライド ※1部・部 カラー・電子データ化(CD-R等)し、すべて提出する。 撮影箇所は監督職員と協議する。 上表のほか、監督職員指示の箇所をデジタルカメラにて撮影し、CD-R等にて提出する。 画像形式等 フォーマット: JPEG 画質: 標準 画像サイズ: 1024×768ピクセル程度	6 工事用水・電力	構内既存の施設(用水) ○利用できる (※有償 ・無償) ※利用できない 構内既存の施設(電力) ○利用できる (※有償 ・無償) ※利用できない 構内既存の施設を利用できる場合で、無償の場合は、下記a)~c)による。 a) 既存設備の水栓等から直接水を使用する場合は、監督職員と協議する。 b) 既存のコンセントから直接電力を使用する場合は、監督職員と協議する。 c) 工事用電源を既存建築物から分岐する場合は、原則、既設分電盤の共用回路のコンセントからとする。なお、接続する回路の負荷状態等を確認し、既設負荷への波及がないようにする。また、漏電遮断器付コンセント等を使用し、安全の確保を図る。 構内既存の施設を利用できる場合で、有償の場合は、上記a)~c)に下記d)~e)を加える。 d) 工事用水は、既存設備に量水器を設けて、仮設配管を施し使用するものとする。 e) 工事用電力は、原則、既存設備に電力計を設けて、仮設配電盤を設置し、使用するものとする。 四国電力送配電網などの架空線に防護管の設置が必要な場合は、監督職員と協議する。 ※図示 ※原形の復旧 ・良土にて設計地盤まで盛土整地する。 範囲(図示) 厚さ() [2.5.1]	6 とい	
30 別途設備工事との取合い	施工範囲 ・貫通孔、開口部の補強 ※下表 ・図示 ・壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 ※下表 ・図示 ・駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ ・自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 補強種別 内容 貫通孔、開口部の補強 梁 壁 スラブ 壁切込み及び補強 天井切込み及び補強	7 仮囲い		7 保証書 (シーリング除く)	
31 撤去部分	コンクリート、モルタル等の撤去部分の境目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする。	8 仮設物撤去後の整地・跡片付け		8 高日射反射率塗料塗り	
32 不当要求等への対応	暴力団又は暴力団関係者からの不当要求又は工事妨害(以下この文において「不当介入」という。)の排除については次による。 a) 受注者は、暴力団又は暴力団関係者からの工事の施工に関して不当介入を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。 b) 受注者は、不当介入による被害を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。 c) 受注者は、監督職員及び所轄警察署と協力して、不当介入の排除処理を講じなければならない。 d) 受注者が、不当介入の報告を怠った場合は、「高知市競争入札指名停止措置要綱」に基づき、指名停止措置を行うものとする。	防水改修工事	① 降雨等に対する養生方法 [3.1.3] ② 既存下地の処理 [3.2.6] 既存下地の補修箇所、範囲、数量等 ※図示 設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部、防水層末端部等の納まり部の処理 ※図示(図示のない場合は監督職員と協議による) ・製造所の仕様による [3.5.2][表3.5.1~表3.5.2] 工法 種別 施工箇所 厚さ(mm) 種類 仕上塗料 高日射反射率塗料の適用 備考 ・POS ・S4S ・S3S ・M4S ・POSI ・S3SI ・S4SI ・M4SI ・PIS ・S-F1 ※1.2 ・S-F2 ※2.0 ・S-M1 ※1.5 ・S-M2 ※1.5 ・S-F1 ※1.2 ・S-F2 ※2.0 ・S-M1 ※1.5 ・S-M2 ※1.5 ・SI-F1 ※1.2 ・SI-F2 ※2.0 ・SI-M1 ※1.5 ・SI-M2 ※1.5 ・S-C1 ※1.0 断熱工法に用いる断熱材(SI-F1、SI-F2、SI-M1、SI-M2の場合) [3.5.2] 工法 材料 厚さ 機械的 JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材 固定工法 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 接着工法 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 S-M2及びPSI-M2の立上り面の工法及びシートの厚さ 工法: ※図示 ・接着工法(厚さ mm) ・機械固定工法(厚さ mm) [表3.1.1] 立上り部等の防水層撤去 ・行う ・行わない 立上り部等の保護層撤去 ・行う ・行わない POS工法及びPOS I工法(機械的固定工法)の立上り部等の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした場合の既存防水層の処理 ※3.2.6(4)(ウ)(g)による 固定金具の材質及び形状 [3.5.2] 材質 ※防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板またはそれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの 厚さ(mm) ※0.4以上 S-M1及びPSI-M2の絶縁用シート及び可塑性移行防止用シートの材質 [3.5.2] ※発泡ポリエチレンシート 脱気装置の種類及び設置数量 ※製造所の仕様による [3.5.3] SI-M1及びPSI-M2の防湿用フィルムの設置 ※図示 ・設ける [表3.5.2] プレキャストコンクリート下地の目地処理(接着工法の場合) [3.5.4] ・行う(・図示) ・行わない S-F1及びPSI-F1のプレキャストコンクリート下地の入隅部増張り [3.5.4] 行う(・図示) ・行わない 一般部のルーフィングシートの張付けで機械的固定工法の場合 建築基準法に基づく風圧力の(※1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法 防水層の種類 [3.6.3][表3.6.1~表3.6.3] 種類 施工箇所 仕上塗料 高日射反射率塗料の適用 備考 ・X-1 ※2成分形777# ※製造所の仕様による ・X-1H カク樹脂系 ・X-2 ふっ素樹脂系 ・X-2H 777シリコン樹脂系 絶縁工法における脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料の製造所の仕様による [3.6.3]		
33 消防計画	工事の着手にあたり、火災等の災害の予防や、使用部分と工事中の部分の安全を確保するため、別契約の関連工事業者と協議の上、「工事中の消防計画書」を作成し、当該施設の防火管理者の承諾を得て届出を行う。	3 合成高分子系ルーフィングシート防水		7 保証書 (シーリング除く)	
34 工事特性等	受注者は、自ら立案した工事特性、創意工夫、社会性等のそれぞれの評価項目について、実施しようとする場合は、事前に計画内容を所定の様式で監督職員に提出する。 また、実施後、工事完成時までに所定の様式に実施状況の分かる図面や状況写真等を添付して監督職員に提出する。	4 塗膜防水		8 高日射反射率塗料塗り	
仮設工事(改修)	内部足場 ※きやつ、足場板等 [2.1.3][2.2.1][表2.2.1] 外部足場 ※本足場 外部足場の養生 ※図示 ・防護シート ○メッシュシート ・防音シート ・防音パネル ○高さ1.8m以下の範囲は金網養生も行き、関係者以外が侵入できないよう施錠すること 材料、撤去材の運搬方法 A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・E種 C種の場合 利用可能なエレベーター(※図示) D種の場合 利用可能な階段(※図示) ・屋上防水作業の端部には、墜落防止手摺等墜落の危険を防止する措置を講ずる。 本足場を設ける場合は、公共建築改修工事標準仕様書2.2.1(2)によるほか、足場の組立、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」により行うこと。				
① 足場その他					
② 養生	○ 既存部分の養生 ※ビニルシート、合板等 [2.3.1] ○ 既存家具、既存設備等の養生 ※ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生、保管場所 ※図示 ・ 固定された備品等の移動 ※図示 ○ 開口部養生 窓等の破損の危険がある工事を行う場合は、施工を行う周辺及びその下部の窓等には、室内に破損物等が飛散しない様、堅固な養生を行う。				
3 仮設間仕切り(屋内)	設置箇所 ※図示 [2.3.2][表2.3.1] 間仕切り種別 A種 ・B種 ※C種 A種、B種の場合 仕上げの材質 ※せっこうボード 厚さ9.5mm ・合板(普通合板)厚さ9.0mm 塗装仕上げ等 ・行う ※行わない 仮設扉設置箇所 ※図示 仮設扉種別 ・合板張り木製扉程度 ・図示				
④ 監督職員事務所	・設ける(程度) ※設けない				

高知市 都市建設部 公共建築課

潮江小学校北舎外壁改修工事

係長	課長補佐	課長	図面番号
小野	世岡	濱	松本
作図	2026年	4月	日

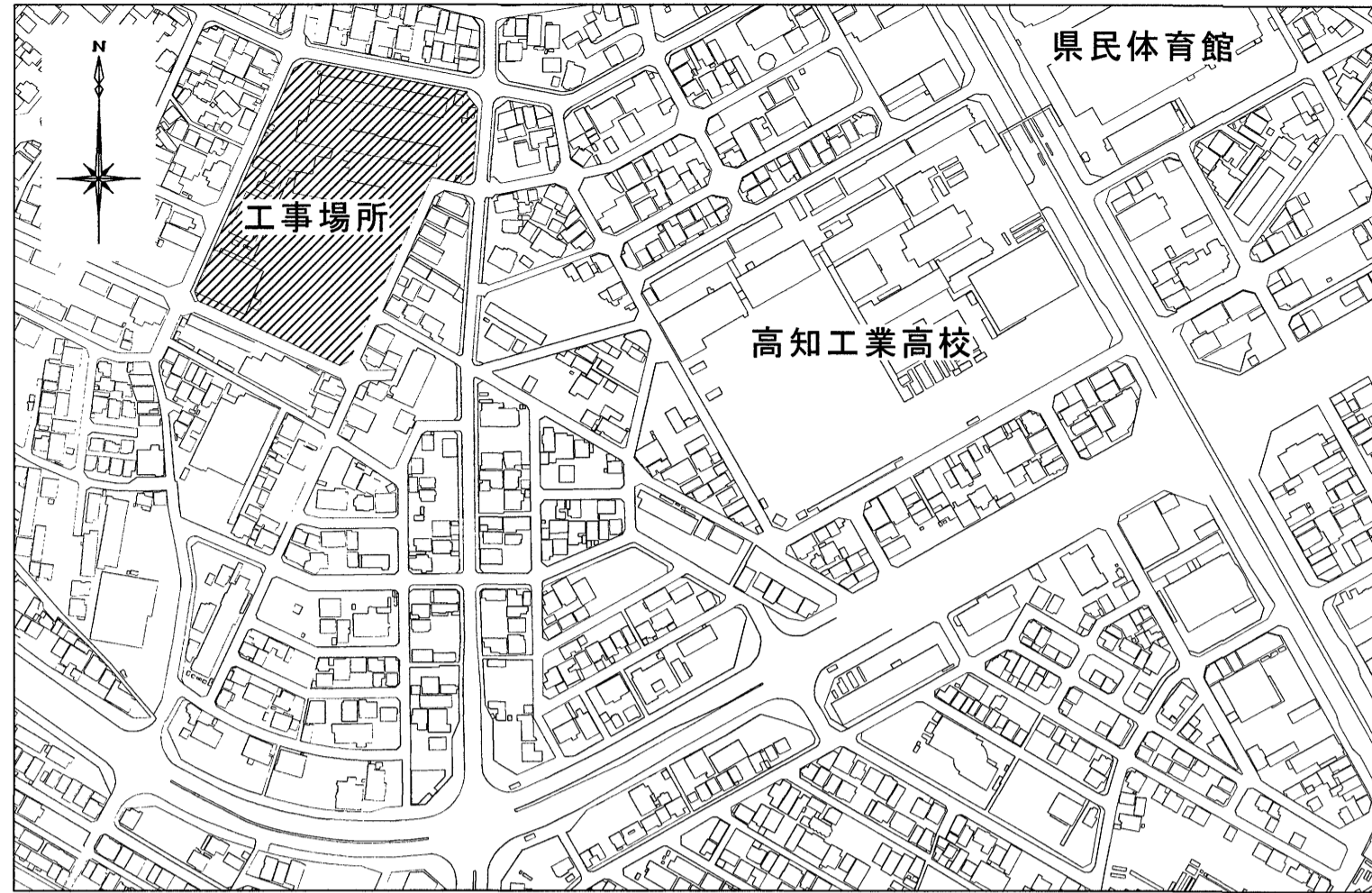
A-02

工事名 潮江小学校北舎外壁改修工事

図面名 改修特記仕様書(2)

縮尺

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																																																																				
	<p>既調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、 混和材等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 [4.3.10]</p> <table border="1"> <tr> <th>保水率 (%)</th> <th>単位容積質量 (kg/L)</th> <th colspan="2">接着強さ</th> <th>長さ変化率 (%)</th> <th>曲げ強さ (N/mm²)</th> </tr> <tr> <td>70.0以上</td> <td>1.8以上</td> <td>0.6N/mm²以上</td> <td>0.4N/mm²以上</td> <td>0.2以下</td> <td>4.0以上</td> </tr> </table>	保水率 (%)	単位容積質量 (kg/L)	接着強さ		長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/mm ²)	70.0以上	1.8以上	0.6N/mm ² 以上	0.4N/mm ² 以上	0.2以下	4.0以上	2	<p>ひび割れ部改修工法</p> <p>※樹脂注入工法 [4.2.5][4.4.2][4.4.6]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(mL/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0未満</td> <td>※ 200~300</td> <td>※製造所の仕様 ・130</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>※ 50~100</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>※ 100~200</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0以下</td> <td>※ 150~250</td> <td>※130</td> </tr> </table> <p>コバ抜き検査 ※行わない ・行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	※ 200~300	※製造所の仕様 ・130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※ 50~100	※40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	※ 100~200	※70		0.5以上1.0以下	※ 150~250	※130	③	<p>仕上塗材仕上げ [4.1.5][4.5.2][4.5.6][表4.5.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材Si</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状</td> <td>吹付け ローラー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材Si</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状</td> <td>吹付け ローラー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○外装薄塗材E</td> <td>○砂壁状 ・平たん状 ・ゆず肌状 ・着色骨材砂壁状</td> <td>吹付け ローラー こて塗り 吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材E</td> <td>・砂壁状 ・平たん状 ・ゆず肌状</td> <td>吹付け こて塗り ローラー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防水形外装薄塗材E</td> <td>・ゆず肌状 ・凹凸状</td> <td>ローラー 吹付け</td> <td>増塗材 ・適用する</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材S</td> <td>・砂壁状</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> </table> <p>厚付け仕上塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材C</td> <td>・吹放し ・平たん状 ・ひき起こし</td> <td>吹付け こて塗り</td> <td>モルタル以外の塗材</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材Si</td> <td>・吹放し ・ひき起こし</td> <td>吹付け</td> <td>塗材 ・適用する</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材E</td> <td>・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし</td> <td>こて塗り ローラー</td> <td></td> </tr> </table> <p>複層仕上塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・複層塗材CE</td> <td>・ゆず肌状</td> <td>ローラー</td> <td>耐候性 ※耐候形3種</td> </tr> <tr> <td>○複層塗材E</td> <td>・凹凸状</td> <td>吹付け</td> <td>塗材の種類[表4.5.2] ※水系7割かつあり</td> </tr> <tr> <td>・可とう形複層塗材CE</td> <td>・ゆず肌状 ・凹凸状</td> <td>ローラー 吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材CE</td> <td>・ゆず肌状</td> <td>ローラー</td> <td>増塗材 ・適用する</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材E</td> <td>・凹凸状</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> </table> <p>防火材料の指定 ※なし ・あり (※図示) [4.5.2]</p>	呼び名	仕上げの形状	工法	備考	・外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け ローラー		・可とう形外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け ローラー		○外装薄塗材E	○砂壁状 ・平たん状 ・ゆず肌状 ・着色骨材砂壁状	吹付け ローラー こて塗り 吹付け		・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状 ・平たん状 ・ゆず肌状	吹付け こて塗り ローラー		・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・凹凸状	ローラー 吹付け	増塗材 ・適用する	・外装薄塗材S	・砂壁状	吹付け		呼び名	仕上げの形状	工法	備考	・外装厚塗材C	・吹放し ・平たん状 ・ひき起こし	吹付け こて塗り	モルタル以外の塗材	・外装厚塗材Si	・吹放し ・ひき起こし	吹付け	塗材 ・適用する	・外装厚塗材E	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	こて塗り ローラー		呼び名	仕上げの形状	工法	備考	・複層塗材CE	・ゆず肌状	ローラー	耐候性 ※耐候形3種	○複層塗材E	・凹凸状	吹付け	塗材の種類[表4.5.2] ※水系7割かつあり	・可とう形複層塗材CE	・ゆず肌状 ・凹凸状	ローラー 吹付け		・防水形複層塗材CE	・ゆず肌状	ローラー	増塗材 ・適用する	・防水形複層塗材E	・凹凸状	吹付け	
保水率 (%)	単位容積質量 (kg/L)	接着強さ		長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/mm ²)																																																																																																				
70.0以上	1.8以上	0.6N/mm ² 以上	0.4N/mm ² 以上	0.2以下	4.0以上																																																																																																				
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)																																																																																																						
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	※ 200~300	※製造所の仕様 ・130																																																																																																						
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※ 50~100	※40																																																																																																						
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	※ 100~200	※70																																																																																																						
	0.5以上1.0以下	※ 150~250	※130																																																																																																						
呼び名	仕上げの形状	工法	備考																																																																																																						
・外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け ローラー																																																																																																							
・可とう形外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け ローラー																																																																																																							
○外装薄塗材E	○砂壁状 ・平たん状 ・ゆず肌状 ・着色骨材砂壁状	吹付け ローラー こて塗り 吹付け																																																																																																							
・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状 ・平たん状 ・ゆず肌状	吹付け こて塗り ローラー																																																																																																							
・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・凹凸状	ローラー 吹付け	増塗材 ・適用する																																																																																																						
・外装薄塗材S	・砂壁状	吹付け																																																																																																							
呼び名	仕上げの形状	工法	備考																																																																																																						
・外装厚塗材C	・吹放し ・平たん状 ・ひき起こし	吹付け こて塗り	モルタル以外の塗材																																																																																																						
・外装厚塗材Si	・吹放し ・ひき起こし	吹付け	塗材 ・適用する																																																																																																						
・外装厚塗材E	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	こて塗り ローラー																																																																																																							
呼び名	仕上げの形状	工法	備考																																																																																																						
・複層塗材CE	・ゆず肌状	ローラー	耐候性 ※耐候形3種																																																																																																						
○複層塗材E	・凹凸状	吹付け	塗材の種類[表4.5.2] ※水系7割かつあり																																																																																																						
・可とう形複層塗材CE	・ゆず肌状 ・凹凸状	ローラー 吹付け																																																																																																							
・防水形複層塗材CE	・ゆず肌状	ローラー	増塗材 ・適用する																																																																																																						
・防水形複層塗材E	・凹凸状	吹付け																																																																																																							
1	<p>ひび割れ部改修工法</p> <p>※樹脂注入工法 [4.2.5(1)~(5)][4.3.6]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(mL/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0以下</td> <td>※ 200~300</td> <td>※製造所の仕様 ・130</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>※ 50~100</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>※ 100~200</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0以下</td> <td>※ 150~250</td> <td>※130</td> </tr> </table> <p>コバ抜き検査 ※行わない ・行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)</p> <p>○Uカットシール材充填工法 [4.2.6][4.3.7]</p> <p>○シーリング材 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>○シール工法 (ALCN[®] 粘面) ○パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※ 200~300	※製造所の仕様 ・130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※ 50~100	※40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	※ 100~200	※70		0.5以上1.0以下	※ 150~250	※130	3	<p>欠損部改修工法</p> <p>・タイル部分張替え工法 [4.4.5][4.4.7]</p> <p>張付け材料の種類 ・ポリマーセメントモルタル ・有機系接着剤 ※JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコン樹脂系</p> <p>・タイル張替え工法 [4.4.2][4.4.5][4.4.8]</p> <p>張付けモルタル ・現場調合モルタル ・既調合モルタル 伸縮調整目地及び、ひび割れ誘発目地の位置 ※表4.4.2による ・図示 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着剤試験 ・行う ・行わない</p> <p>・セメントモルタルによるタイル張り タイル張りの工法 外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り ・改良積上げ張り ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り ・有機系接着剤によるタイル張り タイルの種類 () 目地詰め ・行う ・行わない ()</p> <p>・下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ※目荒し工法 [4.4.8]</p>	④	<p>浮き部改修工法</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)</th> <th colspan="3">アンカーの本数</th> <th colspan="3">注入口の箇所数</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>一般部分 本/m²</th> <th>指定部分 本/m²</th> <th>狭幅部 本/m</th> <th>一般部分 箇所/m²</th> <th>指定部分 箇所/m²</th> <th>狭幅部 箇所/m</th> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>※5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>注入量 ※ 25mL</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 25mL</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 50mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>注入量 ※ 25mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 25mL</td> </tr> <tr> <td>○注入口付アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 50mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>注入量 ※ 50mL</td> </tr> </table> <p>アンカーピン [4.3.5] ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの。 注入口付アンカーピン [4.3.5] ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm</p> <p>・タイル部分張替え工法 [4.4.7]</p> <p>張付け材料の種類 ・ポリマーセメントモルタル ・有機系接着剤 ※JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコン樹脂系</p> <p>・タイル張替え工法 [4.4.8]</p> <p>張付けモルタル ・現場調合モルタル ・既調合モルタル 伸縮調整目地及び、ひび割れ誘発目地の位置 ※表4.4.2による ・図示 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着剤試験 ・行う ・行わない ・セメントモルタルによるタイル張り タイル張りの工法 外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り ・改良積上げ張り ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り ・有機系接着剤によるタイル張り ・下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ※目荒し工法</p>	改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)	アンカーの本数			注入口の箇所数			備考	一般部分 本/m ²	指定部分 本/m ²	狭幅部 本/m	一般部分 箇所/m ²	指定部分 箇所/m ²	狭幅部 箇所/m	・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※5	-	-	-	注入量 ※ 25mL	・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 25mL	・アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 50mL	・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	-	-	-	注入量 ※ 25mL	・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 25mL	○注入口付アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 50mL	・注入口付アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法	※9	※16	※5	-	-	-	注入量 ※ 50mL										
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)																																																																																																						
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※ 200~300	※製造所の仕様 ・130																																																																																																						
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※ 50~100	※40																																																																																																						
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	※ 100~200	※70																																																																																																						
	0.5以上1.0以下	※ 150~250	※130																																																																																																						
改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)	アンカーの本数			注入口の箇所数			備考																																																																																																		
	一般部分 本/m ²	指定部分 本/m ²	狭幅部 本/m	一般部分 箇所/m ²	指定部分 箇所/m ²	狭幅部 箇所/m																																																																																																			
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※5	-	-	-	注入量 ※ 25mL																																																																																																		
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 25mL																																																																																																		
・アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 50mL																																																																																																		
・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	-	-	-	注入量 ※ 25mL																																																																																																		
・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 25mL																																																																																																		
○注入口付アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 50mL																																																																																																		
・注入口付アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法	※9	※16	※5	-	-	-	注入量 ※ 50mL																																																																																																		
2	<p>欠損部改修工法</p> <p>※充填工法 [4.2.8]</p> <p>※エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p> <p>・モルタル塗替え工法 [4.3.10]</p> <p>仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置 ※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込、ステンレス製ラス等張り ・図示 [4.3.11~16]</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">改修工法の種類</th> <th colspan="3">アンカーの本数</th> <th colspan="3">注入口の箇所数</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>一般部分 本/m²</th> <th>指定部分 本/m²</th> <th>狭幅部 本/m</th> <th>一般部分 箇所/m²</th> <th>指定部分 箇所/m²</th> <th>狭幅部 箇所/m</th> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>※5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>注入量 ※ 25mL</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 25mL</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 50mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>注入量 ※ 25mL</td> </tr> <tr> <td>○注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 25mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 50mL</td> </tr> </table> <p>アンカーピン [4.3.5] ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの。 注入口付アンカーピン [4.3.5] ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm</p> <p>・充填工法 [4.2.6][4.3.7] 材料 ※エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p> <p>・モルタル塗替え工法 [4.3.10] 仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置 ※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込、ステンレス製ラス等張り ・図示</p>	改修工法の種類	アンカーの本数			注入口の箇所数			備考	一般部分 本/m ²	指定部分 本/m ²	狭幅部 本/m	一般部分 箇所/m ²	指定部分 箇所/m ²	狭幅部 箇所/m	・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※5	-	-	-	注入量 ※ 25mL	・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 25mL	・アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 50mL	・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	-	-	-	注入量 ※ 25mL	○注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 25mL	・注入口付アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 50mL	4	<p>目地改修工法</p> <p>・目地ひび割れ部改修工法 [4.4.16]</p> <p>・伸縮調整目地改修工法 [4.4.16]</p> <p>伸縮調整目地の位置及び寸法 ※図示</p>	①	<p>外壁改修工事 仕上げ塗材仕上げ</p> <p>① 既存塗膜等の除去及び 下地処理 [4.5.4]</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法</th> <th colspan="2">処理範囲</th> </tr> <tr> <td>※既存仕上面全体</td> <td>・図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・サンダー工法</td> <td>※既存仕上面全体</td> <td>・図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・高圧水洗工法</td> <td>※既存仕上面全体</td> <td>・図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・塗膜はく離剤工法</td> <td>※既存仕上面全体</td> <td>・図示 ・</td> </tr> <tr> <td>※水洗工法</td> <td>※既存仕上面全体</td> <td>・図示 ・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※他工法の処理範囲以外の既存仕上面全体</td> <td></td> </tr> </table> <p>石綿含有仕上塗材の除去は、環境配慮改修工事による。</p> <p>② 下地調整材 [4.5.2~4.5.4]</p> <p>材料 ※下地調整塗材 ○C-1 (下記以外の下地調整部) ○CM-2 (軒裏側面) ○合成樹脂エマルジョンシーラー (ALC部)</p> <p>工法 ※製造所の仕様による [4.5.4]</p>	工法	処理範囲		※既存仕上面全体	・図示 ・	・サンダー工法	※既存仕上面全体	・図示 ・	・高圧水洗工法	※既存仕上面全体	・図示 ・	・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体	・図示 ・	※水洗工法	※既存仕上面全体	・図示 ・		※他工法の処理範囲以外の既存仕上面全体																			
改修工法の種類	アンカーの本数			注入口の箇所数			備考																																																																																																		
	一般部分 本/m ²	指定部分 本/m ²	狭幅部 本/m	一般部分 箇所/m ²	指定部分 箇所/m ²	狭幅部 箇所/m																																																																																																			
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※5	-	-	-	注入量 ※ 25mL																																																																																																		
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 25mL																																																																																																		
・アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 50mL																																																																																																		
・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	-	-	-	注入量 ※ 25mL																																																																																																		
○注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 25mL																																																																																																		
・注入口付アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 50mL																																																																																																		
工法	処理範囲																																																																																																								
	※既存仕上面全体	・図示 ・																																																																																																							
・サンダー工法	※既存仕上面全体	・図示 ・																																																																																																							
・高圧水洗工法	※既存仕上面全体	・図示 ・																																																																																																							
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体	・図示 ・																																																																																																							
※水洗工法	※既存仕上面全体	・図示 ・																																																																																																							
	※他工法の処理範囲以外の既存仕上面全体																																																																																																								
3	<p>浮き部改修工法</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">改修工法の種類</th> <th colspan="3">アンカーの本数</th> <th colspan="3">注入口の箇所数</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>一般部分 本/m²</th> <th>指定部分 本/m²</th> <th>狭幅部 本/m</th> <th>一般部分 箇所/m²</th> <th>指定部分 箇所/m²</th> <th>狭幅部 箇所/m</th> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>※5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>注入量 ※ 25mL</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 25mL</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 50mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>注入量 ※ 25mL</td> </tr> <tr> <td>○注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 25mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 50mL</td> </tr> </table> <p>アンカーピン [4.3.5] ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの。 注入口付アンカーピン [4.3.5] ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm</p> <p>・充填工法 [4.2.6][4.3.7] 材料 ※エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p> <p>・モルタル塗替え工法 [4.3.10] 仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置 ※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込、ステンレス製ラス等張り ・図示</p>	改修工法の種類	アンカーの本数			注入口の箇所数			備考	一般部分 本/m ²	指定部分 本/m ²	狭幅部 本/m	一般部分 箇所/m ²	指定部分 箇所/m ²	狭幅部 箇所/m	・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※5	-	-	-	注入量 ※ 25mL	・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 25mL	・アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 50mL	・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	-	-	-	注入量 ※ 25mL	○注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 25mL	・注入口付アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 50mL	5	<p>目地改修工法</p> <p>・目地ひび割れ部改修工法 [4.4.16]</p> <p>・伸縮調整目地改修工法 [4.4.16]</p> <p>伸縮調整目地の位置及び寸法 ※図示</p>	②	<p>外壁改修工事 仕上げ塗材仕上げ</p> <p>① 既存塗膜等の除去及び 下地処理 [4.5.4]</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法</th> <th colspan="2">処理範囲</th> </tr> <tr> <td>※既存仕上面全体</td> <td>・図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・サンダー工法</td> <td>※既存仕上面全体</td> <td>・図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・高圧水洗工法</td> <td>※既存仕上面全体</td> <td>・図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・塗膜はく離剤工法</td> <td>※既存仕上面全体</td> <td>・図示 ・</td> </tr> <tr> <td>※水洗工法</td> <td>※既存仕上面全体</td> <td>・図示 ・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※他工法の処理範囲以外の既存仕上面全体</td> <td></td> </tr> </table> <p>石綿含有仕上塗材の除去は、環境配慮改修工事による。</p> <p>② 下地調整材 [4.5.2~4.5.4]</p> <p>材料 ※下地調整塗材 ○C-1 (下記以外の下地調整部) ○CM-2 (軒裏側面) ○合成樹脂エマルジョンシーラー (ALC部)</p> <p>工法 ※製造所の仕様による [4.5.4]</p>	工法	処理範囲		※既存仕上面全体	・図示 ・	・サンダー工法	※既存仕上面全体	・図示 ・	・高圧水洗工法	※既存仕上面全体	・図示 ・	・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体	・図示 ・	※水洗工法	※既存仕上面全体	・図示 ・		※他工法の処理範囲以外の既存仕上面全体																			
改修工法の種類	アンカーの本数			注入口の箇所数			備考																																																																																																		
	一般部分 本/m ²	指定部分 本/m ²	狭幅部 本/m	一般部分 箇所/m ²	指定部分 箇所/m ²	狭幅部 箇所/m																																																																																																			
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※5	-	-	-	注入量 ※ 25mL																																																																																																		
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 25mL																																																																																																		
・アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 50mL																																																																																																		
・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	-	-	-	注入量 ※ 25mL																																																																																																		
○注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 25mL																																																																																																		
・注入口付アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 50mL																																																																																																		
工法	処理範囲																																																																																																								
	※既存仕上面全体	・図示 ・																																																																																																							
・サンダー工法	※既存仕上面全体	・図示 ・																																																																																																							
・高圧水洗工法	※既存仕上面全体	・図示 ・																																																																																																							
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体	・図示 ・																																																																																																							
※水洗工法	※既存仕上面全体	・図示 ・																																																																																																							
	※他工法の処理範囲以外の既存仕上面全体																																																																																																								
4	<p>浮き部改修工法</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">改修工法の種類</th> <th colspan="3">アンカーの本数</th> <th colspan="3">注入口の箇所数</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>一般部分 本/m²</th> <th>指定部分 本/m²</th> <th>狭幅部 本/m</th> <th>一般部分 箇所/m²</th> <th>指定部分 箇所/m²</th> <th>狭幅部 箇所/m</th> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>※5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>注入量 ※ 25mL</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 25mL</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 50mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>注入量 ※ 25mL</td> </tr> <tr> <td>○注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 25mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 50mL</td> </tr> </table> <p>アンカーピン [4.3.5] ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの。 注入口付アンカーピン [4.3.5] ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm</p> <p>・充填工法 [4.2.6][4.3.7] 材料 ※エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p> <p>・モルタル塗替え工法 [4.3.10] 仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置 ※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込、ステンレス製ラス等張り ・図示</p>	改修工法の種類	アンカーの本数			注入口の箇所数			備考	一般部分 本/m ²	指定部分 本/m ²	狭幅部 本/m	一般部分 箇所/m ²	指定部分 箇所/m ²	狭幅部 箇所/m	・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※5	-	-	-	注入量 ※ 25mL	・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 25mL	・アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 50mL	・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	-	-	-	注入量 ※ 25mL	○注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 25mL	・注入口付アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 50mL	6	<p>目地改修工法</p> <p>・目地ひび割れ部改修工法 [4.4.16]</p> <p>・伸縮調整目地改修工法 [4.4.16]</p> <p>伸縮調整目地の位置及び寸法 ※図示</p>	③	<p>外壁改修工事 仕上げ塗材仕上げ</p> <p>① 既存塗膜等の除去及び 下地処理 [4.5.4]</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法</th> <th colspan="2">処理範囲</th> </tr> <tr> <td>※既存仕上面全体</td> <td>・図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・サンダー工法</td> <td>※既存仕上面全体</td> <td>・図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・高圧水洗工法</td> <td>※既存仕上面全体</td> <td>・図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・塗膜はく離剤工法</td> <td>※既存仕上面全体</td> <td>・図示 ・</td> </tr> <tr> <td>※水洗工法</td> <td>※既存仕上面全体</td> <td>・図示 ・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※他工法の処理範囲以外の既存仕上面全体</td> <td></td> </tr> </table> <p>石綿含有仕上塗材の除去は、環境配慮改修工事による。</p> <p>② 下地調整材 [4.5.2~4.5.4]</p> <p>材料 ※下地調整塗材 ○C-1 (下記以外の下地調整部) ○CM-2 (軒裏側面) ○合成樹脂エマルジョンシーラー (ALC部)</p> <p>工法 ※製造所の仕様による [4.5.4]</p>	工法	処理範囲		※既存仕上面全体	・図示 ・	・サンダー工法	※既存仕上面全体	・図示 ・	・高圧水洗工法	※既存仕上面全体	・図示 ・	・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体	・図示 ・	※水洗工法	※既存仕上面全体	・図示 ・		※他工法の処理範囲以外の既存仕上面全体																			
改修工法の種類	アンカーの本数			注入口の箇所数			備考																																																																																																		
	一般部分 本/m ²	指定部分 本/m ²	狭幅部 本/m	一般部分 箇所/m ²	指定部分 箇所/m ²	狭幅部 箇所/m																																																																																																			
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※5	-	-	-	注入量 ※ 25mL																																																																																																		
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 25mL																																																																																																		
・アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 50mL																																																																																																		
・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	-	-	-	注入量 ※ 25mL																																																																																																		
○注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 25mL																																																																																																		
・注入口付アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 50mL																																																																																																		
工法	処理範囲																																																																																																								
	※既存仕上面全体	・図示 ・																																																																																																							
・サンダー工法	※既存仕上面全体	・図示 ・																																																																																																							
・高圧水洗工法	※既存仕上面全体	・図示 ・																																																																																																							
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体	・図示 ・																																																																																																							
※水洗工法	※既存仕上面全体	・図示 ・																																																																																																							
	※他工法の処理範囲以外の既存仕上面全体																																																																																																								
5	<p>浮き部改修工法</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">改修工法の種類</th> <th colspan="3">アンカーの本数</th> <th colspan="3">注入口の箇所数</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>一般部分 本/m²</th> <th>指定部分 本/m²</th> <th>狭幅部 本/m</th> <th>一般部分 箇所/m²</th> <th>指定部分 箇所/m²</th> <th>狭幅部 箇所/m</th> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>※5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>注入量 ※ 25mL</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 25mL</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 50mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>注入量 ※ 25mL</td> </tr> <tr> <td>○注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 25mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 50mL</td> </tr> </table> <p>アンカーピン [4.3.5] ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの。 注入口付アンカーピン [4.3.5] ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm</p> <p>・充填工法 [4.2.6][4.3.7] 材料 ※エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p> <p>・モルタル塗替え工法 [4.3.10] 仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置 ※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込、ステンレス製ラス等張り ・図示</p>	改修工法の種類	アンカーの本数			注入口の箇所数			備考	一般部分 本/m ²	指定部分 本/m ²	狭幅部 本/m	一般部分 箇所/m ²	指定部分 箇所/m ²	狭幅部 箇所/m	・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※5	-	-	-	注入量 ※ 25mL	・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 25mL	・アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 50mL	・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	-	-	-	注入量 ※ 25mL	○注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 25mL	・注入口付アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 50mL	7	<p>目地改修工法</p> <p>・目地ひび割れ部改修工法 [4.4.16]</p> <p>・伸縮調整目地改修工法 [4.4.16]</p> <p>伸縮調整目地の位置及び寸法 ※図示</p>	④	<p>外壁改修工事 仕上げ塗材仕上げ</p> <p>① 既存塗膜等の除去及び 下地処理 [4.5.4]</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法</th> <th colspan="2">処理範囲</th> </tr> <tr> <td>※既存仕上面全体</td> <td>・図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・サンダー工法</td> <td>※既存仕上面全体</td> <td>・図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・高圧水洗工法</td> <td>※既存仕上面全体</td> <td>・図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・塗膜はく離剤工法</td> <td>※既存仕上面全体</td> <td>・図示 ・</td> </tr> <tr> <td>※水洗工法</td> <td>※既存仕上面全体</td> <td>・図示 ・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※他工法の処理範囲以外の既存仕上面全体</td> <td></td> </tr> </table> <p>石綿含有仕上塗材の除去は、環境配慮改修工事による。</p> <p>② 下地調整材 [4.5.2~4.5.4]</p> <p>材料 ※下地調整塗材 ○C-1 (下記以外の下地調整部) ○CM-2 (軒裏側面) ○合成樹脂エマルジョンシーラー (ALC部)</p> <p>工法 ※製造所の仕様による [4.5.4]</p>	工法	処理範囲		※既存仕上面全体	・図示 ・	・サンダー工法	※既存仕上面全体	・図示 ・	・高圧水洗工法	※既存仕上面全体	・図示 ・	・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体	・図示 ・	※水洗工法	※既存仕上面全体	・図示 ・		※他工法の処理範囲以外の既存仕上面全体																			
改修工法の種類	アンカーの本数			注入口の箇所数			備考																																																																																																		
	一般部分 本/m ²	指定部分 本/m ²	狭幅部 本/m	一般部分 箇所/m ²	指定部分 箇所/m ²	狭幅部 箇所/m																																																																																																			
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※5	-	-	-	注入量 ※ 25mL																																																																																																		
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 25mL																																																																																																		
・アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 50mL																																																																																																		
・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	-	-	-	注入量 ※ 25mL																																																																																																		
○注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 25mL																																																																																																		
・注入口付アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 50mL																																																																																																		
工法	処理範囲																																																																																																								
	※既存仕上面全体	・図示 ・																																																																																																							
・サンダー工法	※既存仕上面全体	・図示 ・																																																																																																							
・高圧水洗工法	※既存仕上面全体	・図示 ・																																																																																																							
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体	・図示 ・																																																																																																							
※水洗工法	※既存仕上面全体	・図示 ・																																																																																																							
	※他工法の処理範囲以外の既存仕上面全体																																																																																																								
6	<p>浮き部改修工法</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">改修工法の種類</th> <th colspan="3">アンカーの本数</th> <th colspan="3">注入口の箇所数</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>一般部分 本/m²</th> <th>指定部分 本/m²</th> <th>狭幅部 本/m</th> <th>一般部分 箇所/m²</th> <th>指定部分 箇所/m²</th> <th>狭幅部 箇所/m</th> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>※5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>注入量 ※ 25mL</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 25mL</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 50mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>注入量 ※ 25mL</td> </tr> <tr> <td>○注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 25mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 50mL</td> </tr> </table> <p>アンカーピン [4.3.5] ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの。 注入口付アンカーピン [4.3.5] ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm</p> <p>・充填工法 [4.2.6][4.3.7] 材料 ※エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p> <p>・モルタル塗替え工法 [4.3.10] 仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置 ※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込、ステンレス製ラス等張り ・図示</p>	改修工法の種類	アンカーの本数			注入口の箇所数			備考	一般部分 本/m ²	指定部分 本/m ²	狭幅部 本/m	一般部分 箇所/m ²	指定部分 箇所/m ²	狭幅部 箇所/m	・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※5	-	-	-	注入量 ※ 25mL	・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 25mL	・アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 50mL	・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	-	-	-	注入量 ※ 25mL	○注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 25mL	・注入口付アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 50mL	8	<p>目地改修工法</p> <p>・目地ひび割れ部改修工法 [4.4.16]</p> <p>・伸縮調整目地改修工法 [4.4.16]</p> <p>伸縮調整目地の位置及び寸法 ※図示</p>	⑤	<p>外壁改修工事 仕上げ塗材仕上げ</p> <p>① 既存塗膜等の除去及び 下地処理 [4.5.4]</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法</th> <th colspan="2">処理範囲</th> </tr> <tr> <td>※既存仕上面全体</td> <td>・図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・サンダー工法</td> <td>※既存仕上面全体</td> <td>・図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・高圧水洗工法</td> <td>※既存仕上面全体</td> <td>・図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・塗膜はく離剤工法</td> <td>※既存仕上面全体</td> <td>・図示 ・</td> </tr> <tr> <td>※水洗工法</td> <td>※既存仕上面全体</td> <td>・図示 ・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※他工法の処理範囲以外の既存仕上面全体</td> <td></td> </tr> </table> <p>石綿含有仕上塗材の除去は、環境配慮改修工事による。</p> <p>② 下地調整材 [4.5.2~4.5.4]</p> <p>材料 ※下地調整塗材 ○C-1 (下記以外の下地調整部) ○CM-2 (軒裏側面) ○合成樹脂エマルジョンシーラー (ALC部)</p> <p>工法 ※製造所の仕様による [4.5.4]</p>	工法	処理範囲		※既存仕上面全体	・図示 ・	・サンダー工法	※既存仕上面全体	・図示 ・	・高圧水洗工法	※既存仕上面全体	・図示 ・	・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体	・図示 ・	※水洗工法	※既存仕上面全体	・図示 ・		※他工法の処理範囲以外の既存仕上面全体																			
改修工法の種類	アンカーの本数			注入口の箇所数			備考																																																																																																		
	一般部分 本/m ²	指定部分 本/m ²	狭幅部 本/m	一般部分 箇所/m ²	指定部分 箇所/m ²	狭幅部 箇所/m																																																																																																			
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※5	-	-	-	注入量 ※ 25mL																																																																																																		
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 25mL																																																																																																		
・アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 50mL																																																																																																		
・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	-	-	-	注入量 ※ 25mL																																																																																																		
○注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 25mL																																																																																																		
・注入口付アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 50mL																																																																																																		
工法	処理範囲																																																																																																								
	※既存仕上面全体	・図示 ・																																																																																																							
・サンダー工法	※既存仕上面全体	・図示 ・																																																																																																							
・高圧水洗工法	※既存仕上面全体	・図示 ・																																																																																																							
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体	・図示 ・																																																																																																							
※水洗工法	※既存仕上面全体	・図示 ・																																																																																																							
	※他工法の処理範囲以外の既存仕上面全体																																																																																																								
7	<p>浮き部改修工法</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">改修工法の種類</th> <th colspan="3">アンカーの本数</th> <th colspan="3">注入口の箇所数</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>一般部分 本/m²</th> <th>指定部分 本/m²</th> <th>狭幅部 本/m</th> <th>一般部分 箇所/m²</th> <th>指定部分 箇所/m²</th> <th>狭幅部 箇所/m</th> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>※5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>注入量 ※ 25mL</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 25mL</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 50mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>注入量 ※ 25mL</td> </tr> <tr> <td>○注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 25mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 50mL</td> </tr> </table> <p>アンカーピン [4.3.5] ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの。 注入口付アンカーピン [4.3.5] ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm</p> <p>・充填工法 [4.2.6][4.3.7] 材料 ※エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p> <p>・モルタル塗替え工法 [4.3.10] 仕上げ厚又は全塗り厚</p>	改修工法の種類	アンカーの本数			注入口の箇所数			備考	一般部分 本/m ²	指定部分 本/m ²	狭幅部 本/m	一般部分 箇所/m ²	指定部分 箇所/m ²	狭幅部 箇所/m	・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※5	-	-	-	注入量 ※ 25mL	・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 25mL	・アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 50mL	・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	-	-	-	注入量 ※ 25mL	○注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 25mL	・注入口付アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 50mL																																										
改修工法の種類	アンカーの本数			注入口の箇所数			備考																																																																																																		
	一般部分 本/m ²	指定部分 本/m ²	狭幅部 本/m	一般部分 箇所/m ²	指定部分 箇所/m ²	狭幅部 箇所/m																																																																																																			
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※5	-	-	-	注入量 ※ 25mL																																																																																																		
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 25mL																																																																																																		
・アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 50mL																																																																																																		
・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	-	-	-	注入量 ※ 25mL																																																																																																		
○注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 25mL																																																																																																		
・注入口付アンカーピンニング 全面がリマセメント注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 50mL																																																																																																		

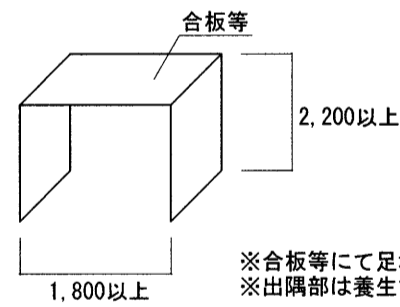


付近見取り図

■ 凡例

- ▷ : 工事用出入口
- ▲ : 利用者出入口 仮設ゲート(3箇所)
下図のとおり合板等にてゲートを作成し、出入口の安全を図ること。
- ▨ : 工事範囲
- ⊠ : 工事用車両置場および資機材置場
※資機材置場とする際はガードフェンス(H=1,800)程度で囲うこと
- ← : 工事用車両ルート
※7:30~8:30は通行禁止とする

■ 利用者出入口 三方養生 寸法図



※合板等にて足場及び足場と建物の隙間を三方養生を行うこと。
※出隅部は養生すること。

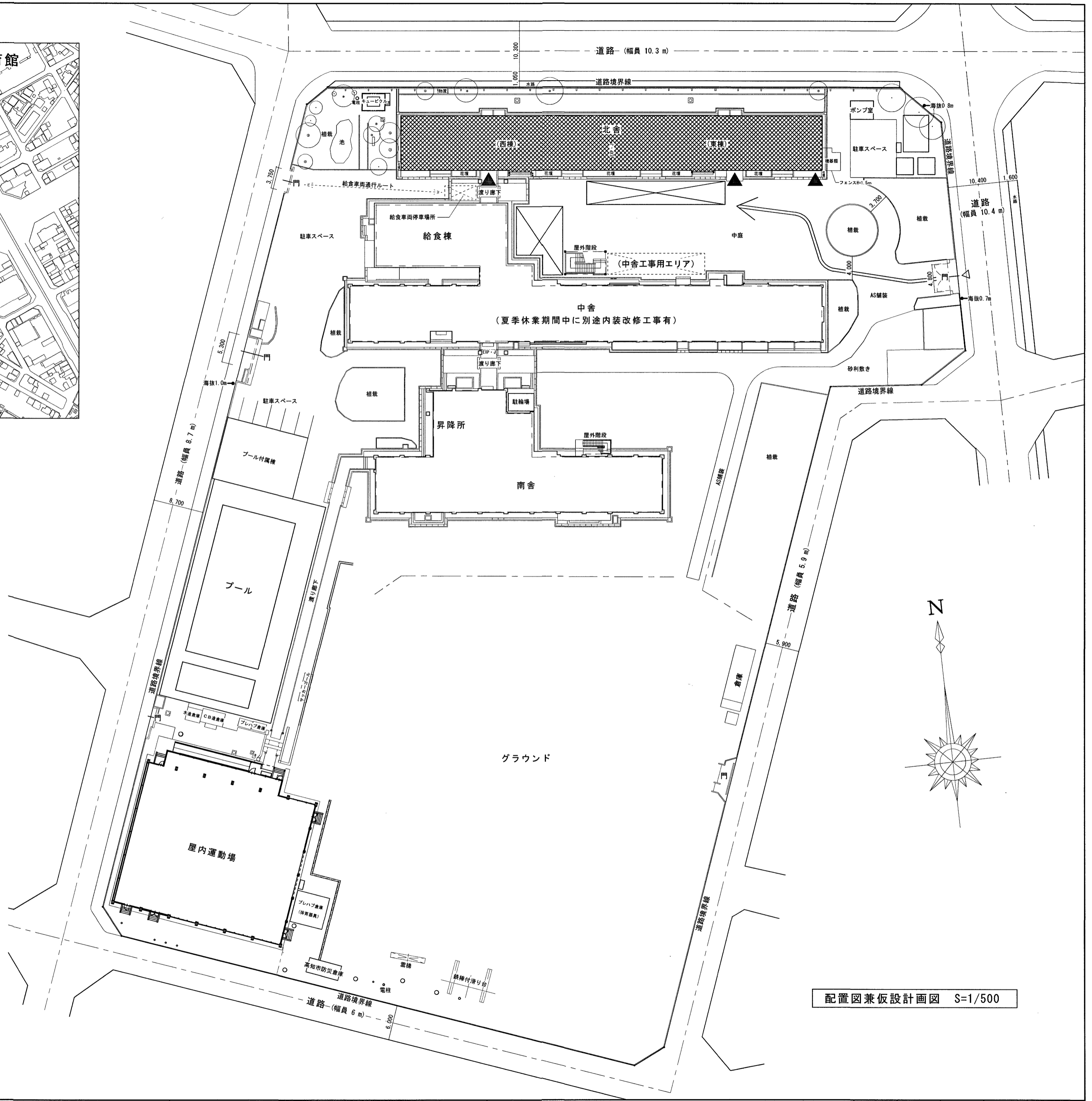
■ 施工条件

工事に支障のない範囲で、屋内の換気が行えるように配慮すること。
外壁面に設置されている設備(配線・配管・室外機など)は既存のままとし、養生のうえ作業を行うこと。
躯体の削孔及びびはつり作業は、休み時間又は夏季休業期間(7月18日~8月31日)に施工する等の配慮をすること。
北西門からの給食用車輛の進入について注意すること。(夏季休業期間以外)

■ 現場作業不可日

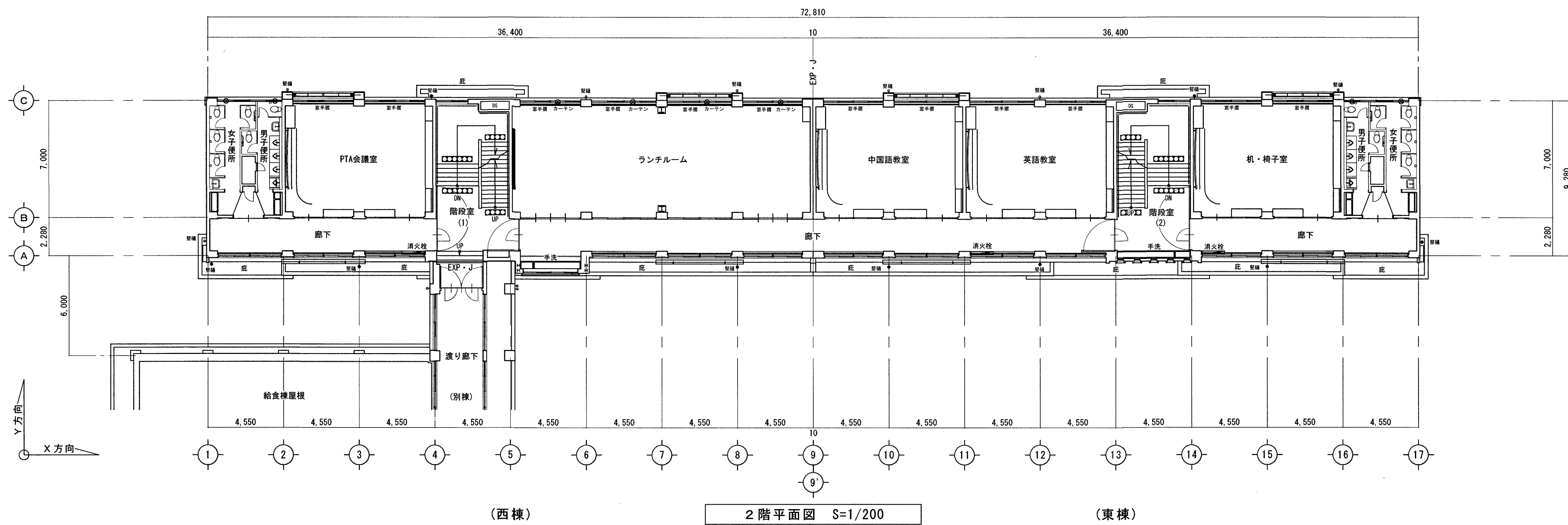
学校行事(下記)の日は作業禁止とする。
※なお、学校行事予定が変更になる等、作業可能となる場合もあるため、事前に施設管理者に確認すること

7月15日終日、16日終日
9月2日終日、3日終日、4日終日、7日終日、8日終日
10月1日午前、9日午前
11月7日終日、12日終日、29日終日

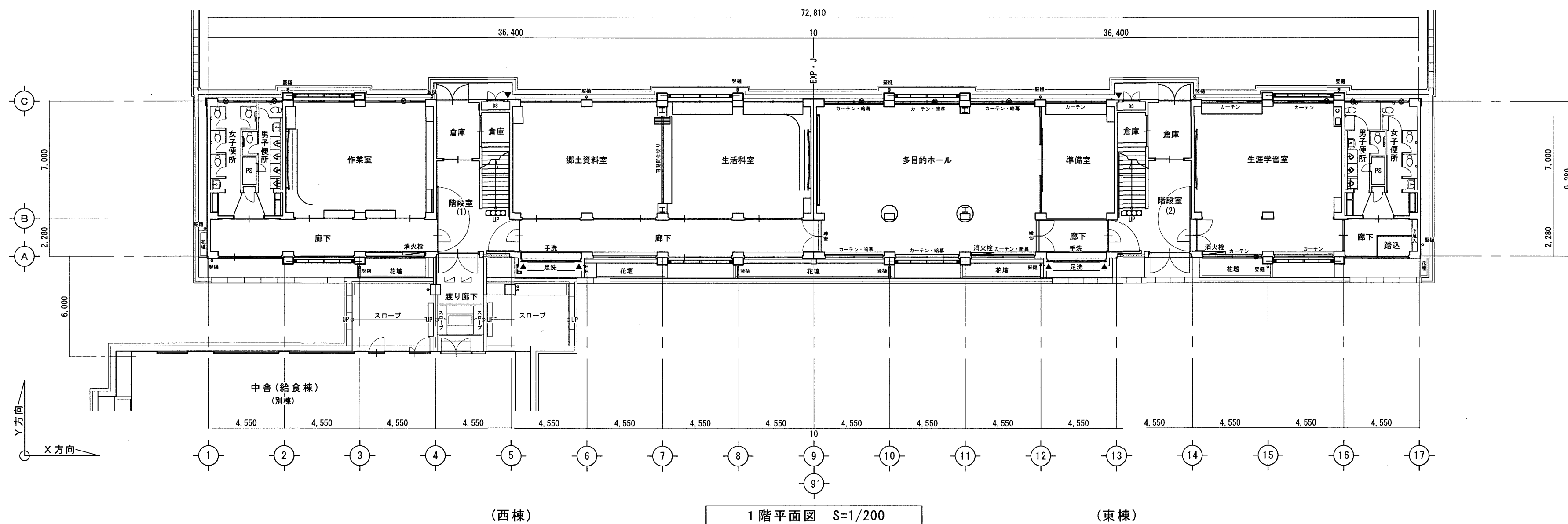


配置図兼仮設計画図 S=1/500

高知市 都市建設部 公共建築課		工事名	潮江小学校北舎外壁改修工事			係	係長	課長補佐	課長	図面番号
		図面名	付近見取り図、配置図兼仮設計画図			縮尺	S=1/500		作図	2026年 4月 日
					図面番号	A-05				



2階平面図 S=1/200



1階平面図 S=1/200

▼：耐震スリット補強を示す。

※内部改修なし

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名

潮江小学校北舎外壁改修工事

係 係長 課長補佐 課長 図面番号

小 菅 濱 松木 A-06

図面名

1階・2階平面図

縮尺

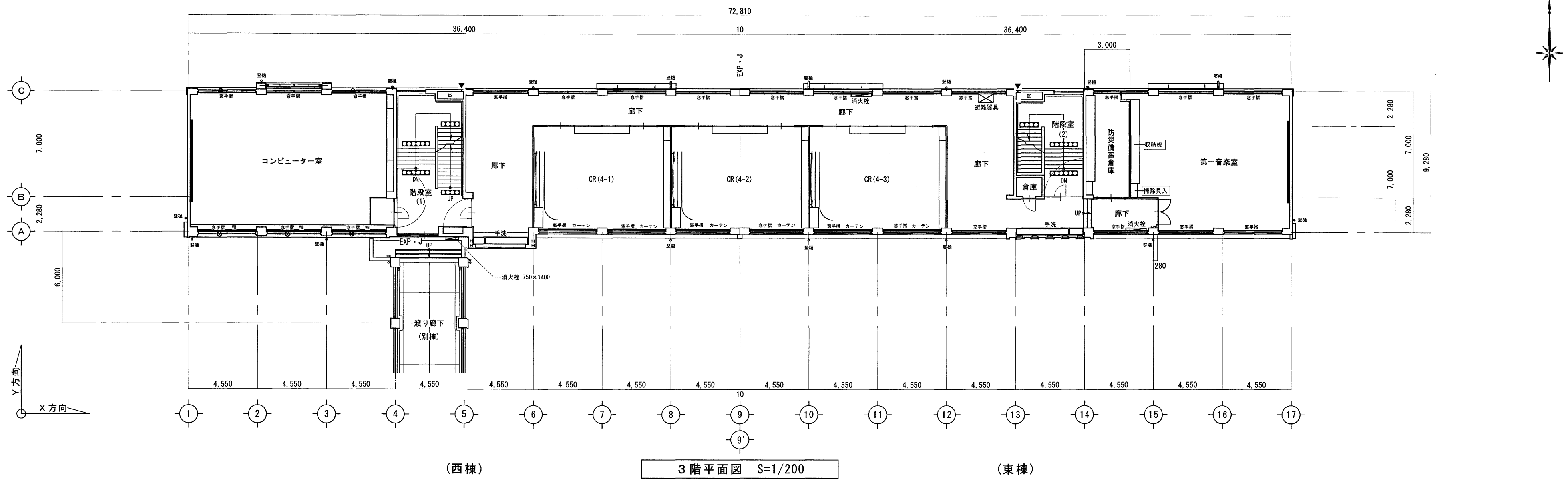
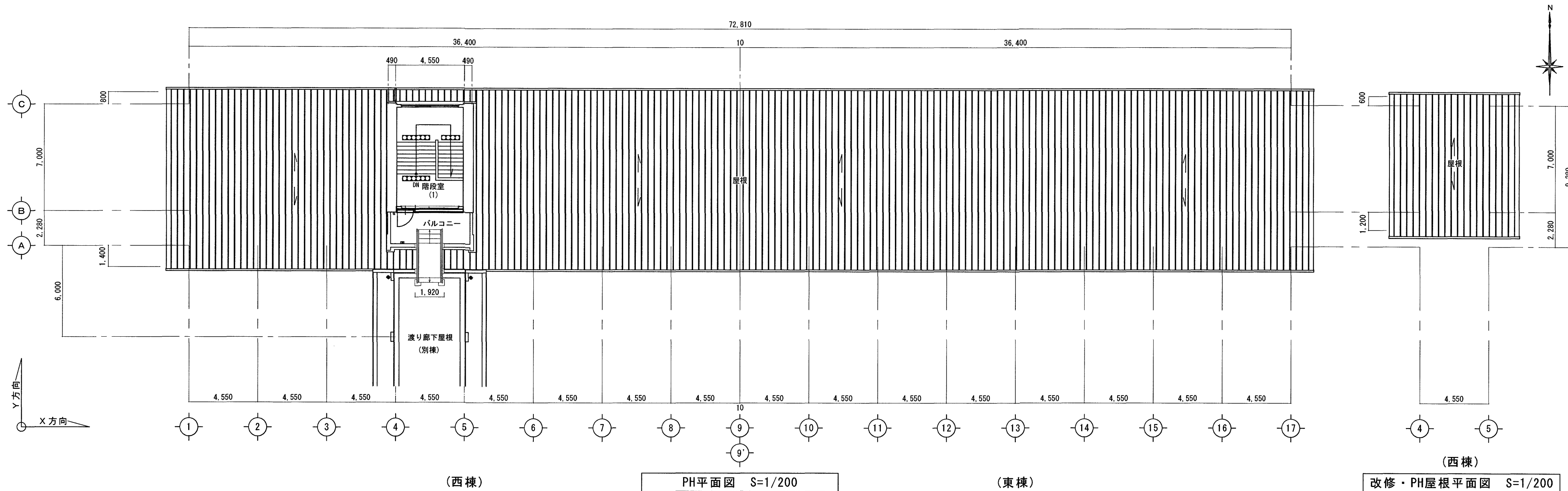
S=1/200

作図

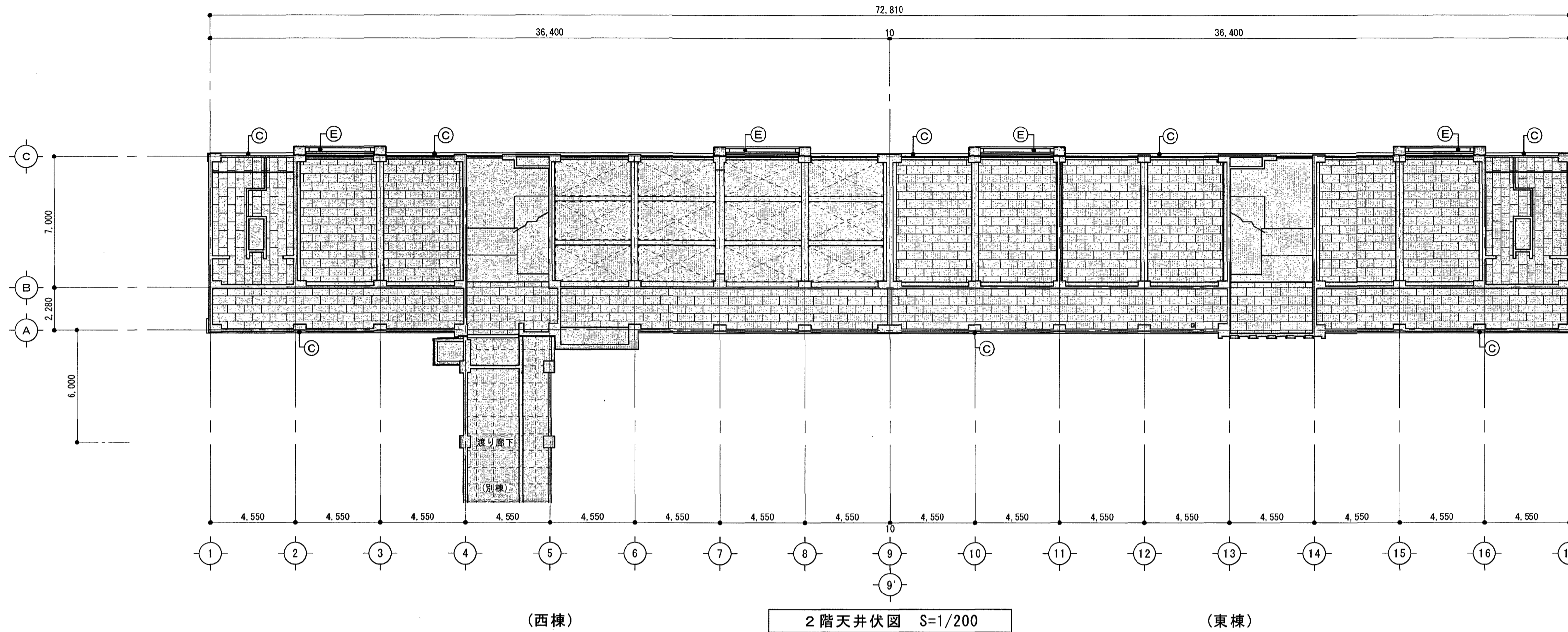
2026年

4月

日



※内部改修なし		高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	潮江小学校北舎外壁改修工事	係	小野	係長	世岡	課長補佐	渡	課長	松本	図面番号	A-07
			図面名	3階・PH平面図	縮尺	S=1/200	作図	2026年	4月	日				

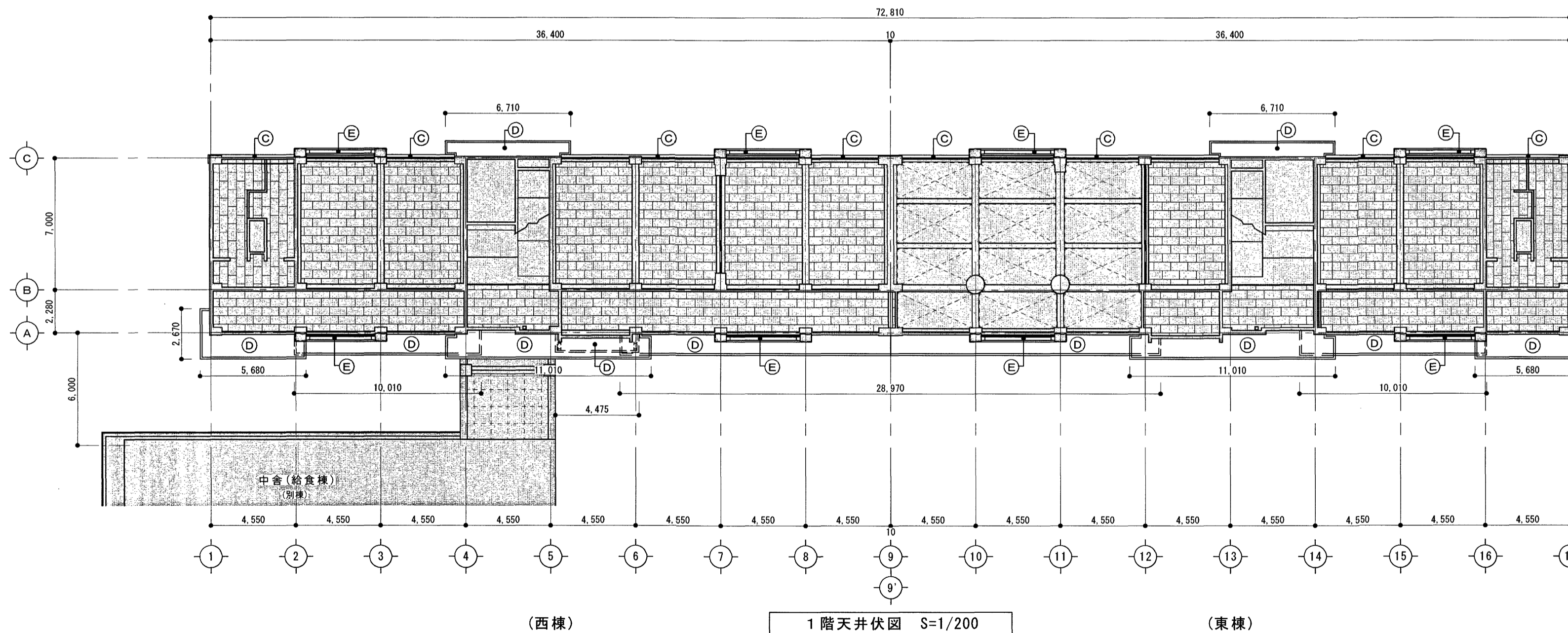


(西棟)

2階天井伏図 S=1/200

(東棟)

符号	既存・天井仕上	改修・天井仕上
A	軒裏:石綿板 t=4.5mm VP塗【下地共撤去】 (天井下地:杉40×408450)	【見上げ面】水洗い工法、劣化改修、 外装薄塗材E吹付【改修】
B	軒裏:けい酸カルシウム板 t=6mm EP-G塗 (天井下地:杉40×408450)【下地共撤去】	【側面】水洗い工法、劣化改修、 下地調整の上、複層塗材E吹付【改修】
C	コンクリート打放し、複層塗材E	水洗い工法、劣化改修、 下地調整の上、複層塗材E吹付【改修】
D	コンクリート打放し、外装薄塗材E	水洗い工法、劣化改修、 外装薄塗材E吹付【改修】
E	補強鉄骨ブレース: 垂鉛、アルミニウム溶射、封孔処理+DP塗	【既存のまま】



(西棟)

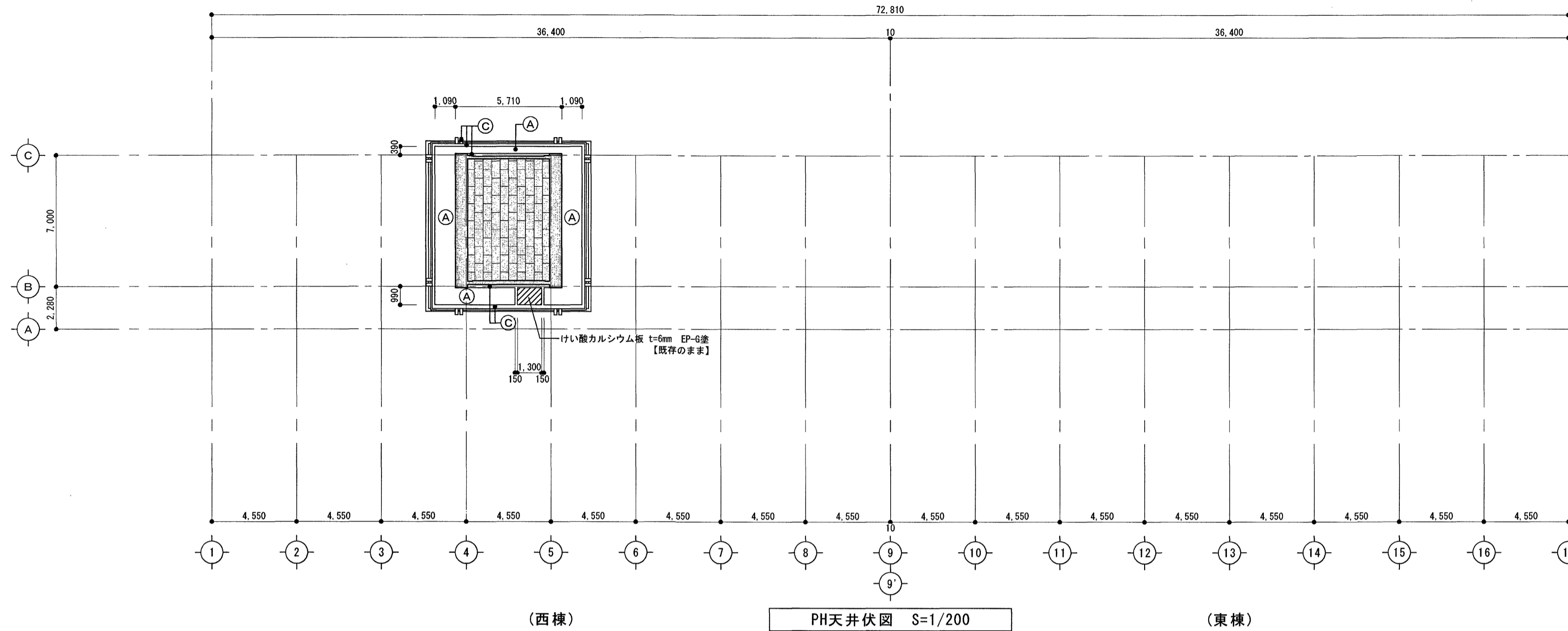
1階天井伏図 S=1/200

(東棟)

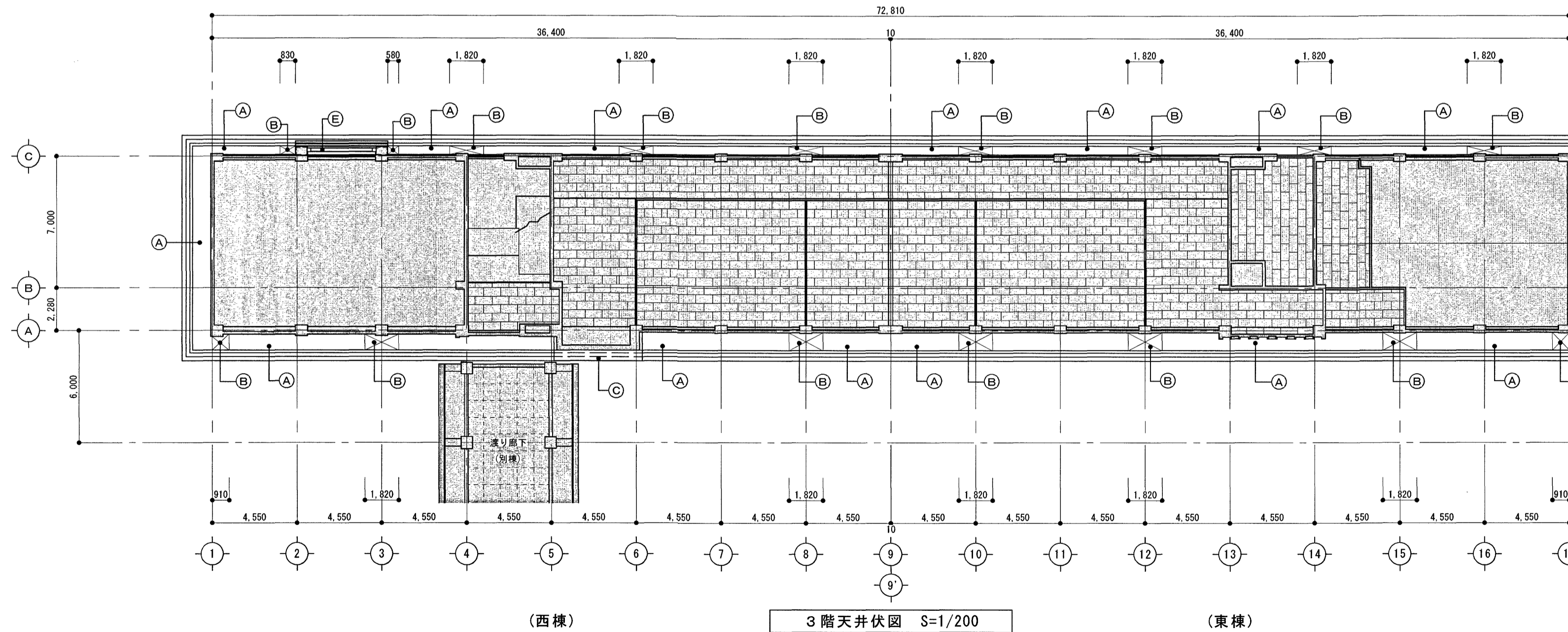
符号	既存・天井仕上	改修・天井仕上
A	軒裏:石綿板 t=4.5mm VP塗【下地共撤去】 (天井下地:杉40×408450)	【見上げ面】水洗い工法、劣化改修、 外装薄塗材E吹付【改修】
B	軒裏:けい酸カルシウム板 t=6mm EP-G塗 (天井下地:杉40×408450)【下地共撤去】	【側面】水洗い工法、劣化改修、 下地調整の上、複層塗材E吹付【改修】
C	コンクリート打放し、複層塗材E	水洗い工法、劣化改修、 下地調整の上、複層塗材E吹付【改修】
D	コンクリート打放し、外装薄塗材E	水洗い工法、劣化改修、 外装薄塗材E吹付【改修】
E	補強鉄骨ブレース: 垂鉛、アルミニウム溶射、封孔処理+DP塗	【既存のまま】

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	潮江小学校北舎外壁改修工事	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
図面名	1階・2階天井伏図	縮尺	S=1/200	作図	2026年 4月 日	A-08



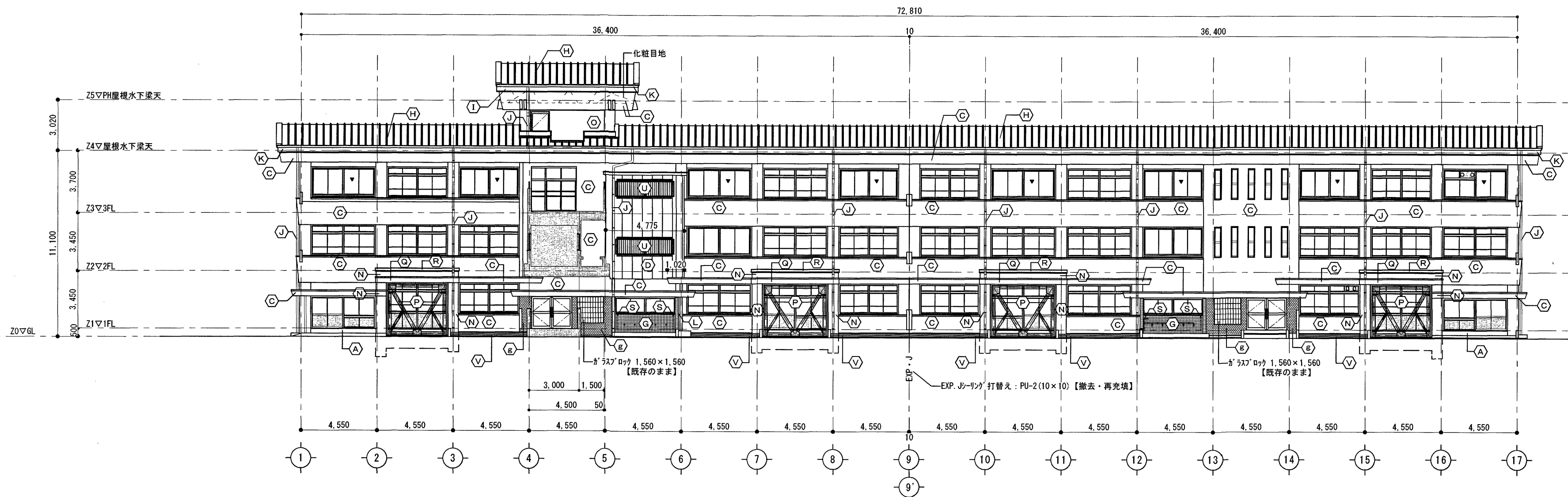
符号	既存・天井仕上	改修・天井仕上
(A)	軒裏:石綿板 t=4.5mm VP塗【下地共撤去】 (天井下地:杉40×40@450)	[見上げ面]水洗い工法、劣化改修、 外装薄塗材E吹付【改修】
(B)	軒裏:けい酸カルシウム板 t=6mm EP-G塗 (天井下地:杉40×40@450)【下地共撤去】	[側面]水洗い工法、劣化改修、 下地調整の上、複層塗材E吹付【改修】
(C)	コンクリート打放し、複層塗材E	水洗い工法、劣化改修、 下地調整の上、複層塗材E吹付【改修】
(D)	コンクリート打放し、外装薄塗材E	水洗い工法、劣化改修、 外装薄塗材E吹付【改修】
(E)	補強鉄骨ブレース: 垂鉛、アルミニウム溶射、封孔処理+DP塗	【既存のまま】



符号	既存・天井仕上	改修・天井仕上
(A)	軒裏:石綿板 t=4.5mm VP塗【下地共撤去】 (天井下地:杉40×40@450)	[見上げ面]水洗い工法、劣化改修、 外装薄塗材E吹付【改修】
(B)	軒裏:けい酸カルシウム板 t=6mm EP-G塗 (天井下地:杉40×40@450)【下地共撤去】	[側面]水洗い工法、劣化改修、 下地調整の上、複層塗材E吹付【改修】
(C)	コンクリート打放し、複層塗材E	水洗い工法、劣化改修、 下地調整の上、複層塗材E吹付【改修】
(D)	コンクリート打放し、外装薄塗材E	水洗い工法、劣化改修、 外装薄塗材E吹付【改修】
(E)	補強鉄骨ブレース: 垂鉛、アルミニウム溶射、封孔処理+DP塗	【既存のまま】

高知市 都市建設部 公共建築課

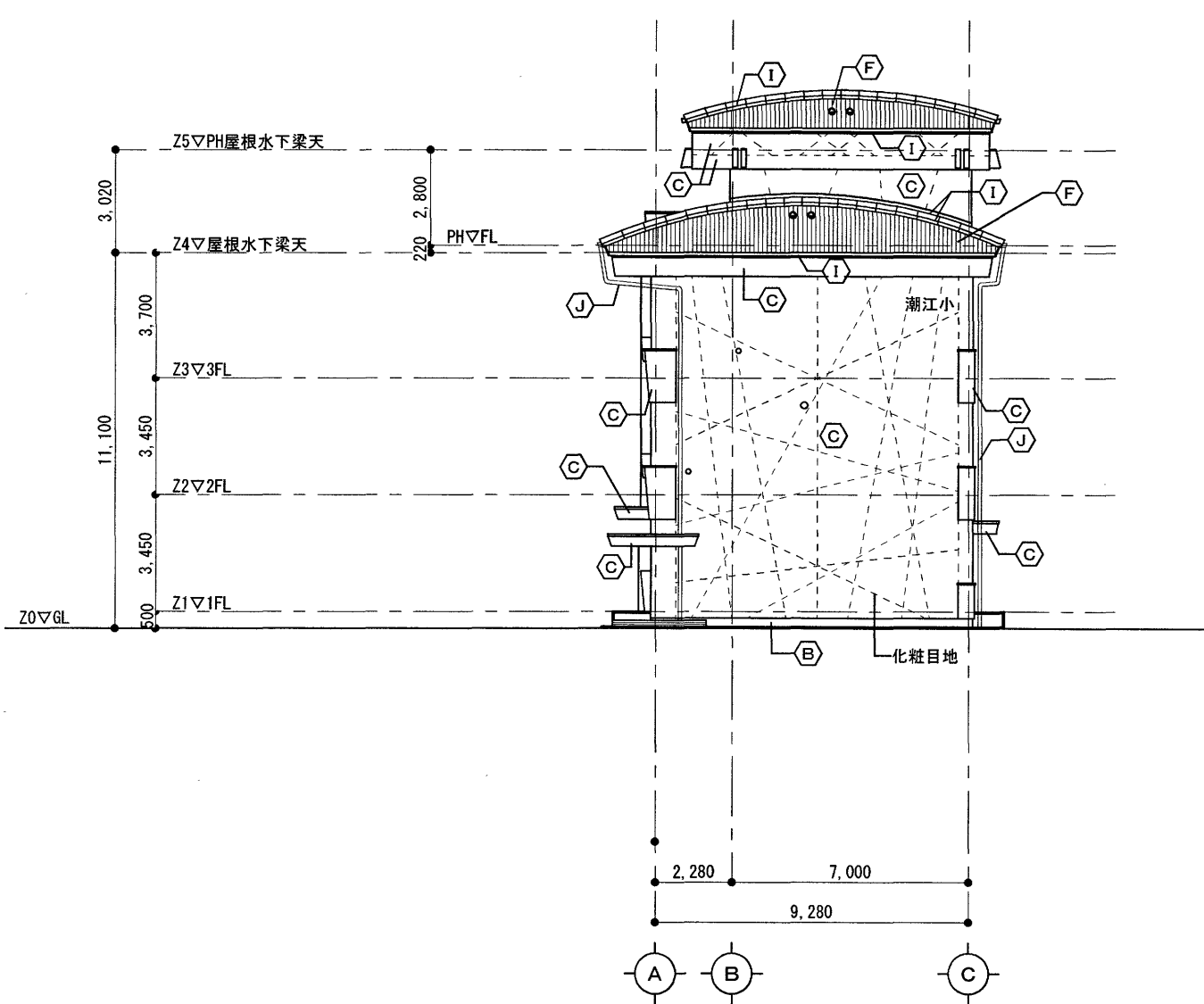
工事名	潮江小学校北舎外壁改修工事				係	係長	課長補佐	課長	図面番号
図面名	3階・PH天井伏図	縮尺	S=1/200	作図	2026年	4月	日	A-09	



(西棟)

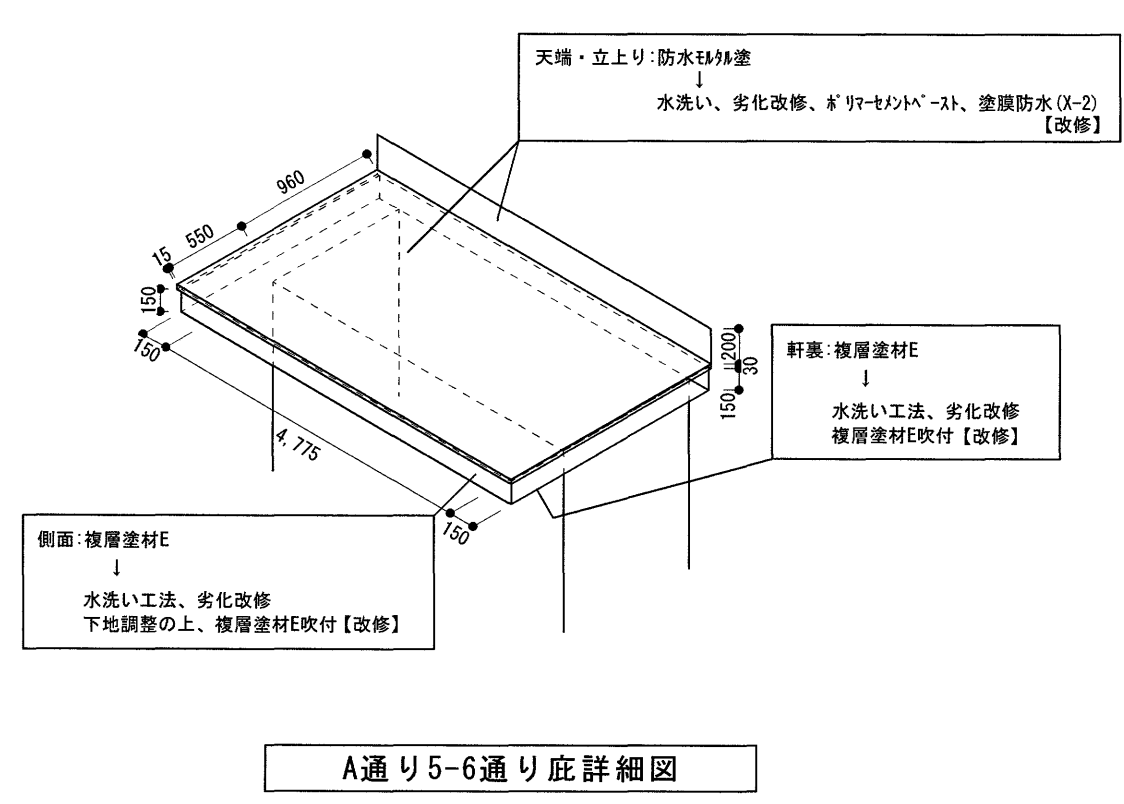
南面立面図 S=1/200

(東棟)



(東棟)

東面立面図 S=1/200



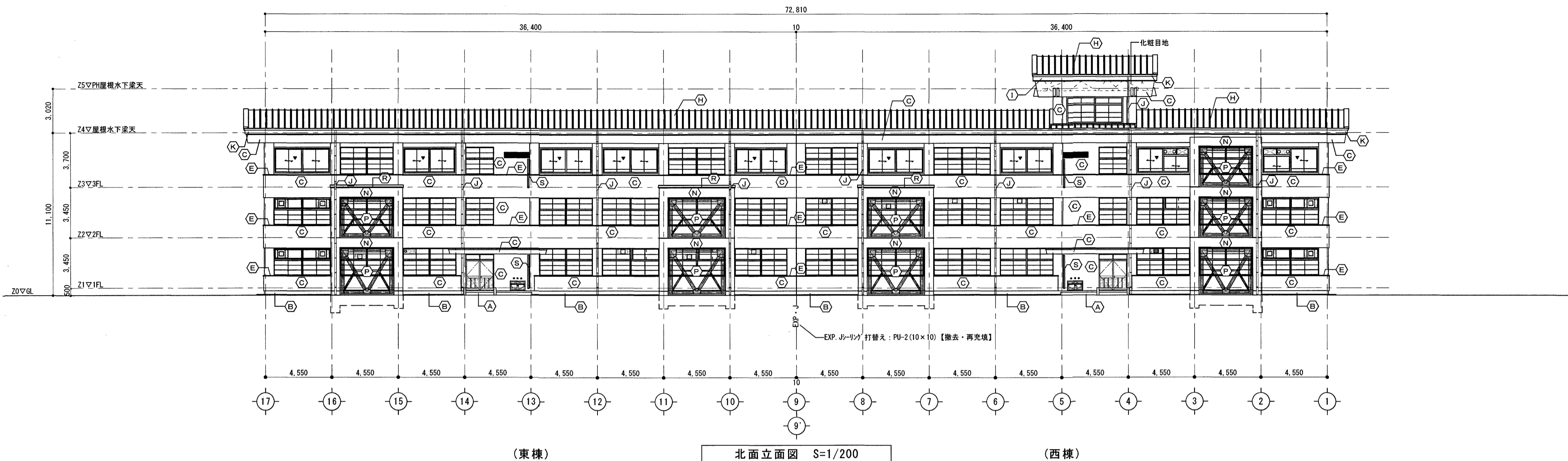
A通り5-6通り底詳細図

記号	位置	既存仕上	改修仕上
(A)	根巻き	モルタル塗りコテ押え	【既存のまま】
(B)	根巻き	モルタル塗り刷毛引き	水洗い工法、劣化改修【改修】
(C)	外壁、庇、パラペット	モルタル塗り刷毛引き、複層塗材E	水洗い工法、劣化改修 下地調整の上、複層塗材E吹付【改修】
(D)	外壁	ALC板張り、複層塗材E	水洗い工法、劣化改修 下地調整の上、複層塗材E吹付【改修】
(E)	ベランダ笠木	防水モルタル塗り、複層塗材E	水洗い工法、劣化改修 下地調整の上、複層塗材E吹付【改修】
(F)	妻壁	押出成型板t=60mm下地、50角モザイクタイル張りの上、 透湿シート張り、胴縁 25×40 下地、 カラーガルバリウム鋼板張り t=0.5	【既存のまま】
(G)	腰壁	モルタル塗り、75角タイル張り	水洗い工法、劣化改修【改修】
(H)	壁	セラミックタイル張り	水洗い工法、劣化改修【改修】
(I)	屋根	ヨドルーフ66はげ(着色ガルバリウム鋼板t=0.6mm)DP塗	【既存のまま】
(J)	軒先包み、ケラバ包み 水切り	着色ガルバリウム鋼板t=0.6mm DP塗	【既存のまま】
(K)	軒樋	塩ビ角150型(受け金物:ステンレス製#600)	【既存のまま】
(L)	鉄骨柱	DP塗	【既存のまま】
(N)	補強鉄骨ブレース部、 柱・梁	コンクリート打放し、複層塗材E	水洗い工法、劣化改修 下地調整の上、複層塗材E吹付【改修】
(O)	R C壁補強部	コンクリート打放し、複層塗材E	水洗い工法、劣化改修 下地調整の上、複層塗材E吹付【改修】
(P)	補強鉄骨ブレース	垂鉛、アルミニウム溶射、封孔処理+DP塗	【既存のまま】
(Q)	庇	コンクリート打放し、複層塗材E	水洗い工法、劣化改修 下地調整の上、複層塗材E吹付【改修】
(R)	補強鉄骨ブレース部、 天端	防水モルタル塗りコテ押え、 水切り(ガルバリウム鋼板t=0.5mm)	【既存のまま】
(S)	耐震スリット	アルミカバー板 t=2.0mm W=100mm カネキトブラグ・ステンレスス(M5)@200以内止め	【既存のまま】
(U)	—	アルミ製面格子 W=3,500 H=900(ボルト留め)【一時撤去】	【再設置】
(V)	—	花壇柵、赤レンガ積み(3段)	【既存のまま】

※ 外壁面既存サッシ廻りシーリング…MS-2(15×10) 2重水切り共【撤去・再充填】
 ※ 既存ブレース廻りシーリング…(規格は参考図参照)【撤去・再充填】

高知市 都市建設部 公共建築課

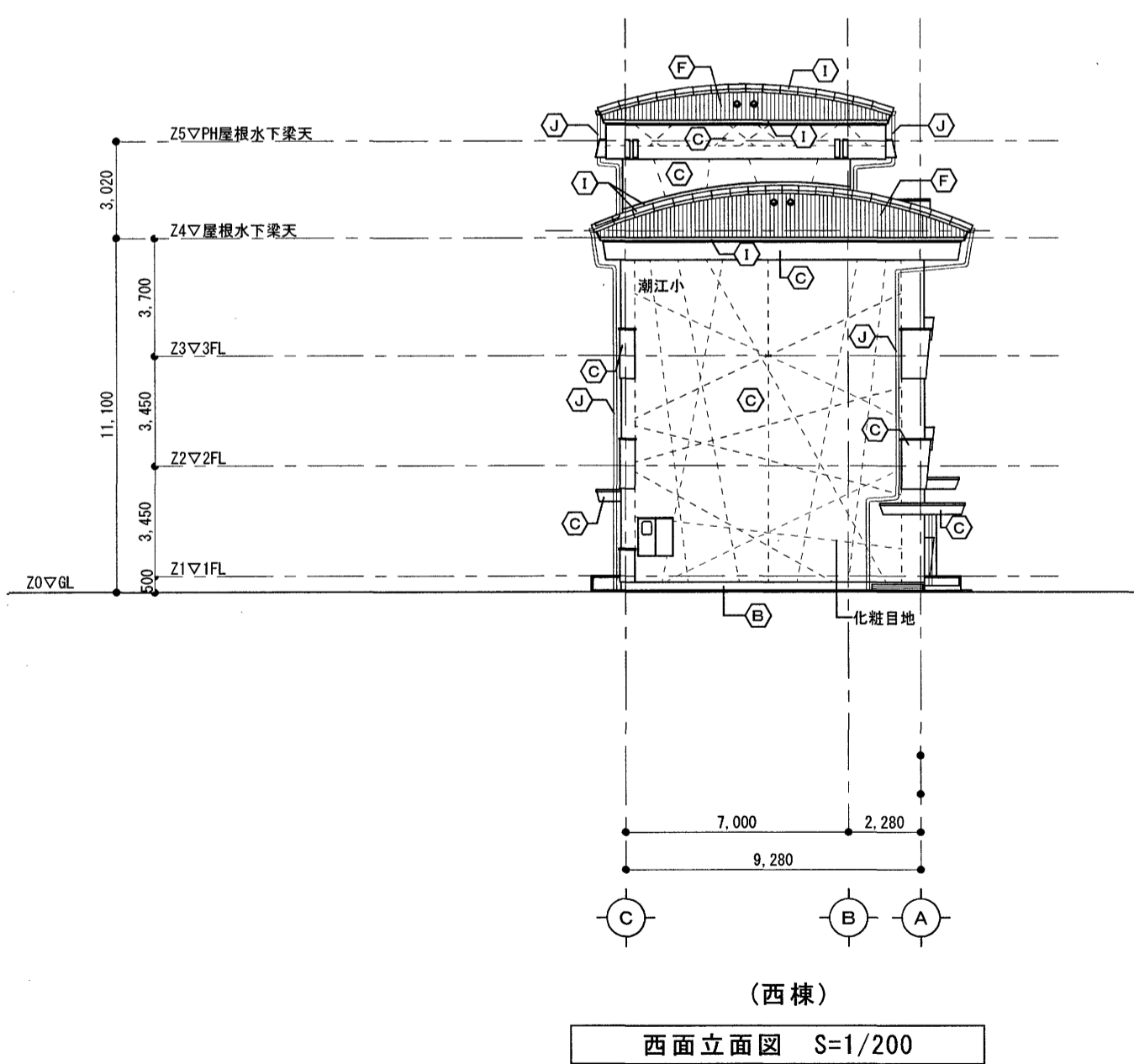
工事名	潮江小学校北舎外壁改修工事				係	係長	課長補佐	課長	図面番号
図面名	南面・東面立面図	縮尺	S=1/200	作図	2026年	4月	日	A-10	



(東棟)

北面立面図 S=1/200

(西棟)



(西棟)

西面立面図 S=1/200

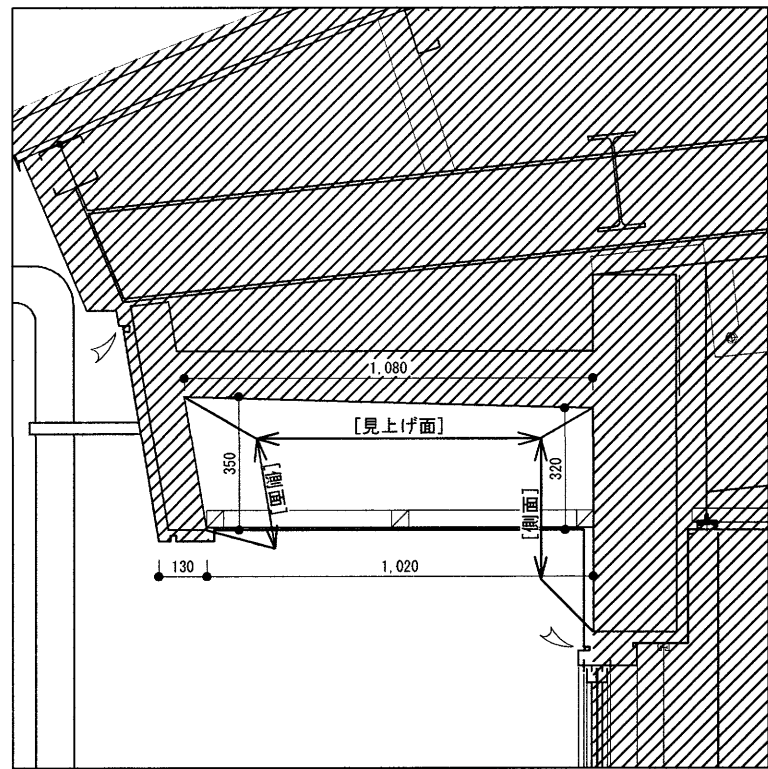
劣化改修

仕上げ	損傷内容	工法	予定数量
タタ	ひび割れ (0.2以上1.0mm未満)	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	15.0 m
タタ	ひび割れ (1.0mm超え)	Uカットシーリング材充填工法	10.0 m
ALC	ひび割れ (0.2以上1.0mm未満)	シーリング工法	10.0 m
タタ	浮き (一般部)	注入口付アホビノン® 全面珪酸樹脂注入工法	10.0 m ²
タタ	浮き (一般部)	注入口付アホビノン® 全面珪酸樹脂注入工法	10.0 m ²
タタ	浮き (指定部)	注入口付アホビノン® 全面珪酸樹脂注入工法	10.0 m ²
タタ	浮き (換気部)	注入口付アホビノン® 全面珪酸樹脂注入工法	10.0 m ²
タタ	欠損	欠損部充填工法	1.0 m ²

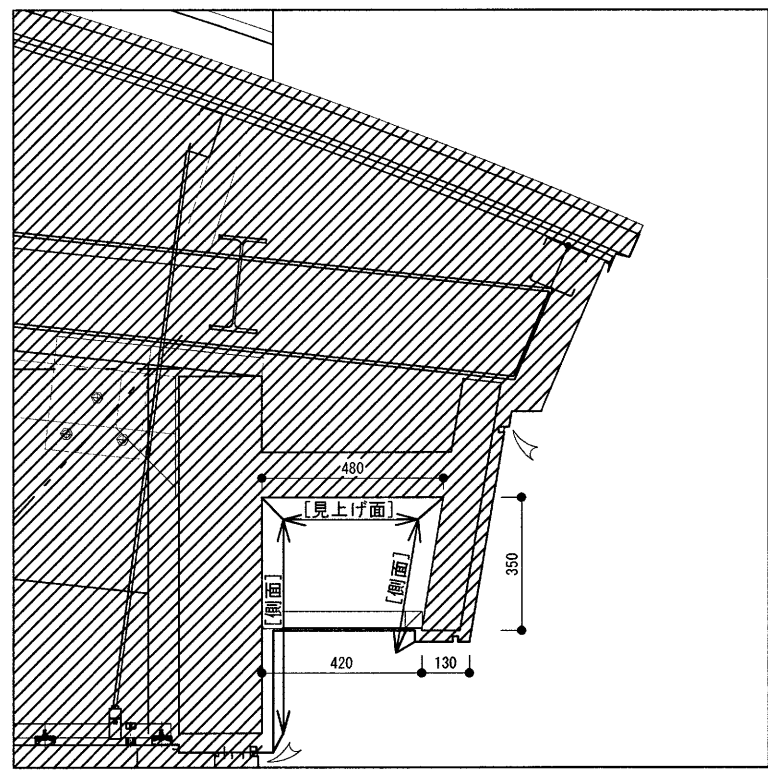
※ 数量及び工法は予定で、施工数量調査の結果により変更する。

記号	位置	既存仕上	改修仕上
(A)	根巻き	モルタル塗りコテ押え	【既存のまま】
(B)	根巻き	モルタル塗り刷毛引き	水洗い工法、劣化改修【改修】
(C)	外壁、庇、バラベット	モルタル塗り刷毛引き、複層塗材E	水洗い工法、劣化改修 下地調整の上、複層塗材E吹付【改修】
(D)	外壁	ALC板張り、複層塗材E	水洗い工法、劣化改修 下地調整の上、複層塗材E吹付【改修】
(E)	ベランダ笠木	防水モルタル塗り、複層塗材E	水洗い工法、劣化改修 下地調整の上、複層塗材E吹付【改修】
(F)	妻壁	押出成型板t=60mm下地、50角モザイクタイル張りの上、 透湿シート張り、網継 25×40 下地、 カラーガルバリウム鋼板張り t=0.5	【既存のまま】
(G)	腰壁	モルタル塗り、75角タイル張り	水洗い工法、劣化改修【改修】
(H)	壁	セラミックタイル張り	水洗い工法、劣化改修【改修】
(I)	屋根	ヨドールフ66はぜ(着色ガルバリウム鋼板t=0.6mm)DP塗	【既存のまま】
(J)	軒先包み、ケラバ包み 水切り	着色ガルバリウム鋼板t=0.6mm DP塗	【既存のまま】
(K)	縦樋	硬質ポリ塩化ビニル管カラー(カラーVP-100Φ) (掴み金物ステンレス製 #1,200)	【既存のまま】
(L)	軒樋	塩ビ角150型(受け金物:ステンレス製#600)	【既存のまま】
(M)	鉄骨柱	DP塗	【既存のまま】
(N)	補強鉄骨ブレース部、 柱・梁	コンクリート打放し、複層塗材E	水洗い工法、劣化改修 下地調整の上、複層塗材E吹付【改修】
(O)	R/C壁補強部	コンクリート打放し、複層塗材E	水洗い工法、劣化改修 下地調整の上、複層塗材E吹付【改修】
(P)	補強鉄骨ブレース	垂鉛、アルミニウム溶射、封孔処理+DP塗	【既存のまま】
(Q)	庇	コンクリート打放し、複層塗材E	水洗い工法、劣化改修 下地調整の上、複層塗材E吹付【改修】
(R)	補強鉄骨ブレース部、 天端	防水モルタル塗りコテ押え、 水切り(ガルバリウム鋼板t=0.5mm)	【既存のまま】
(S)	耐震スリット	アルミカバー板 t=2.0mm W=100mm ホールドアップ・スプレッド(M5)@200以内止め	【既存のまま】
(U)	—	アルミ製面格子 W=3,500 H=900(ボルト留め)【一時撤去】	【再設置】
(V)	—	花壇植、赤レンガ積み(3段)	【既存のまま】

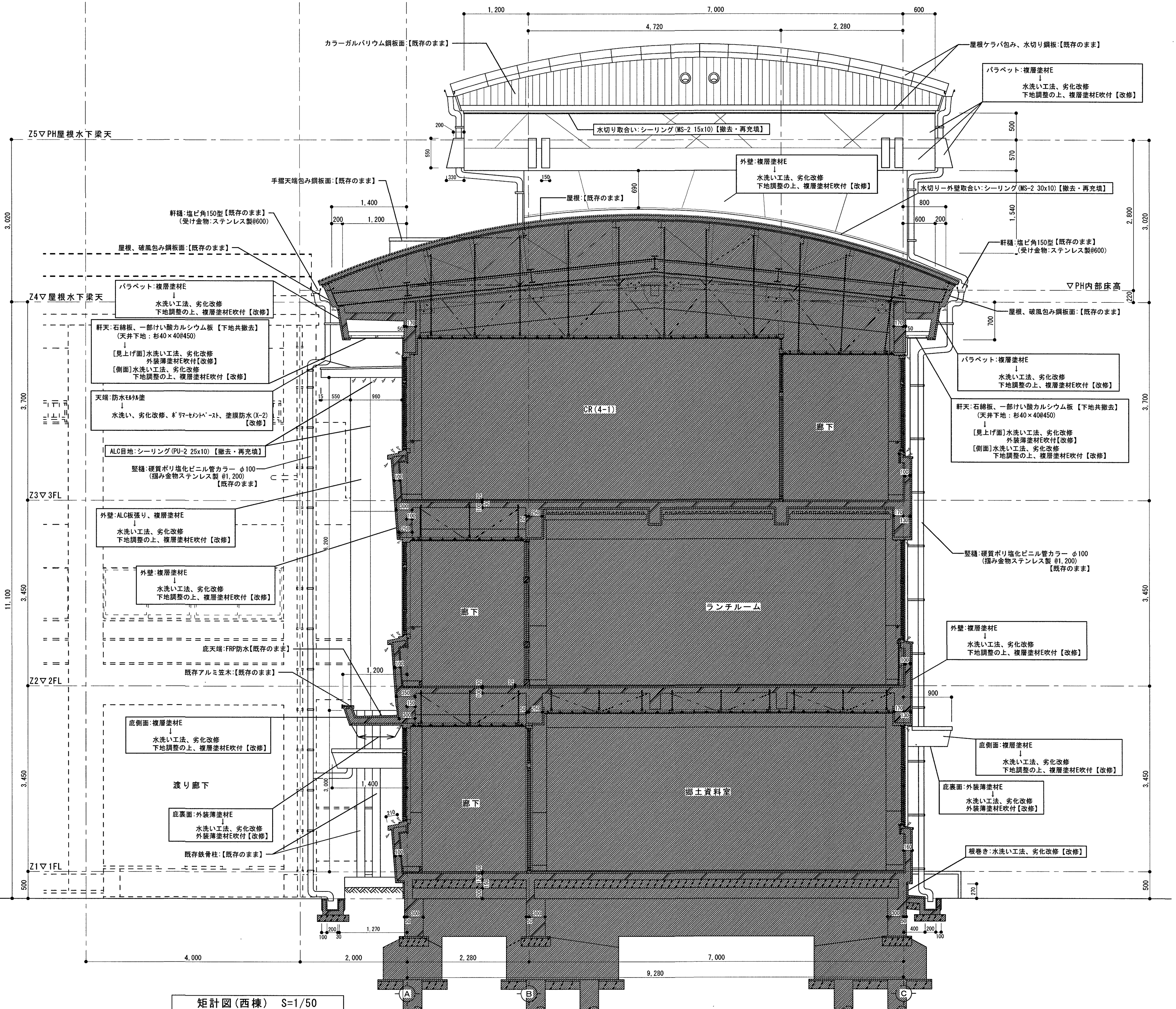
※ 外壁面既存サッシ廻りシーリング…MS-2(15×10) 2重水切り共【撤去・再充填】
※ 既存ブレース廻りシーリング…(規格は参考図参照)【撤去・再充填】



軒天井詳細図(南面・西面・東面) S=1/20



軒天井詳細図(北面) S=1/20

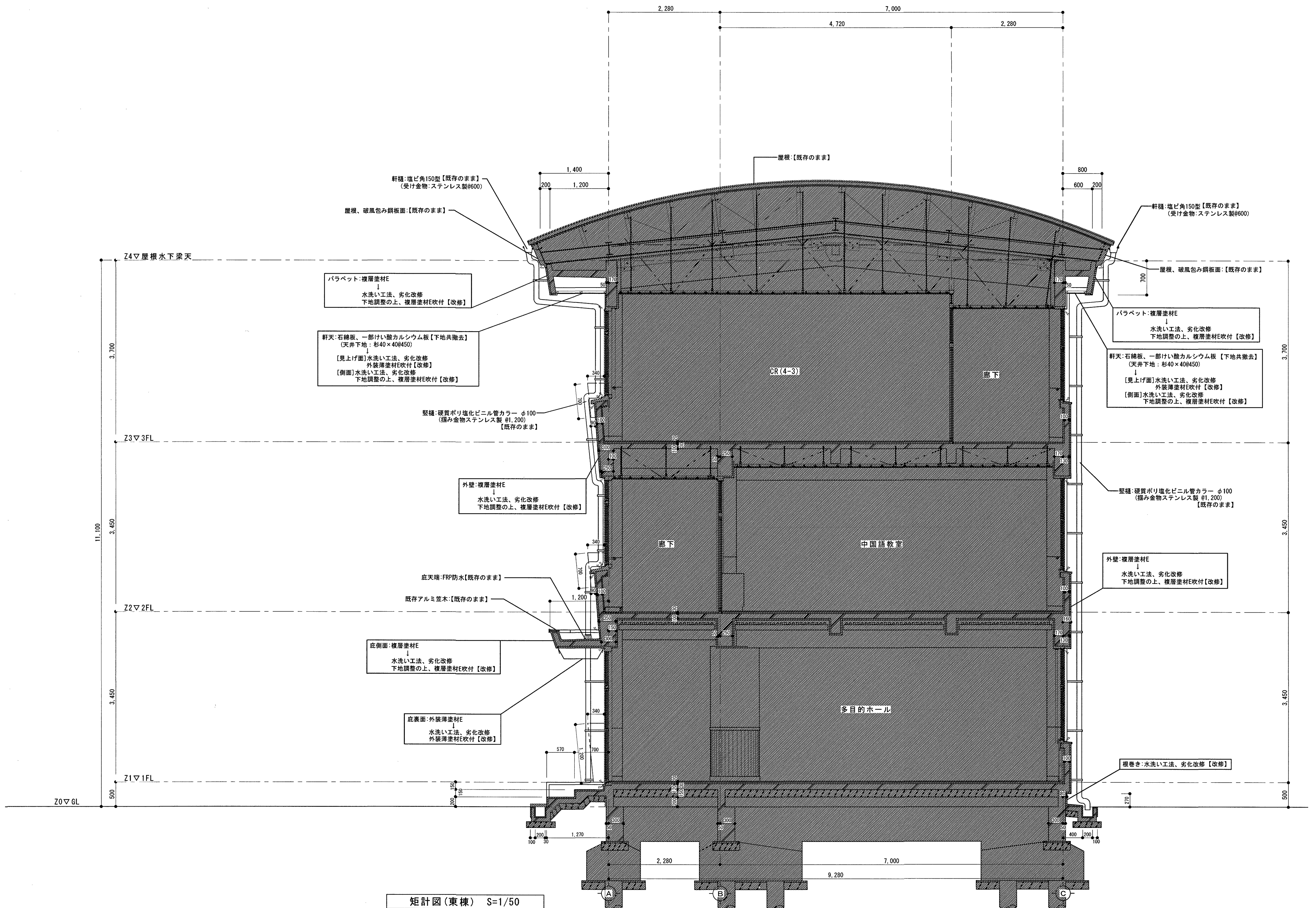


矩計図(西棟) S=1/50

< : 特記なき限りシーリング(MS-2 15x10)【撤去・再充填】

高知市 都市建設部 公共建築課

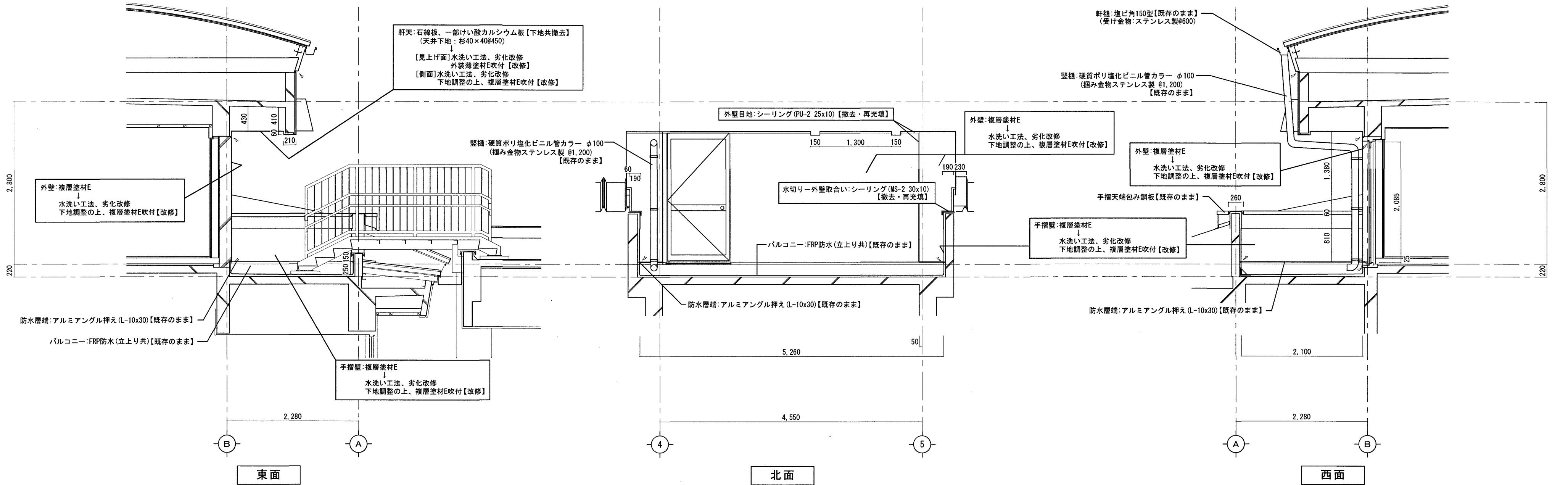
工事名	潮江小学校北舎外壁改修工事				係	係長	課長補佐	課長	図面番号
図面名	矩計図(西棟)、軒天井詳細図	縮尺	S=1/20,50	作図	2026年	4月	日	A-12	



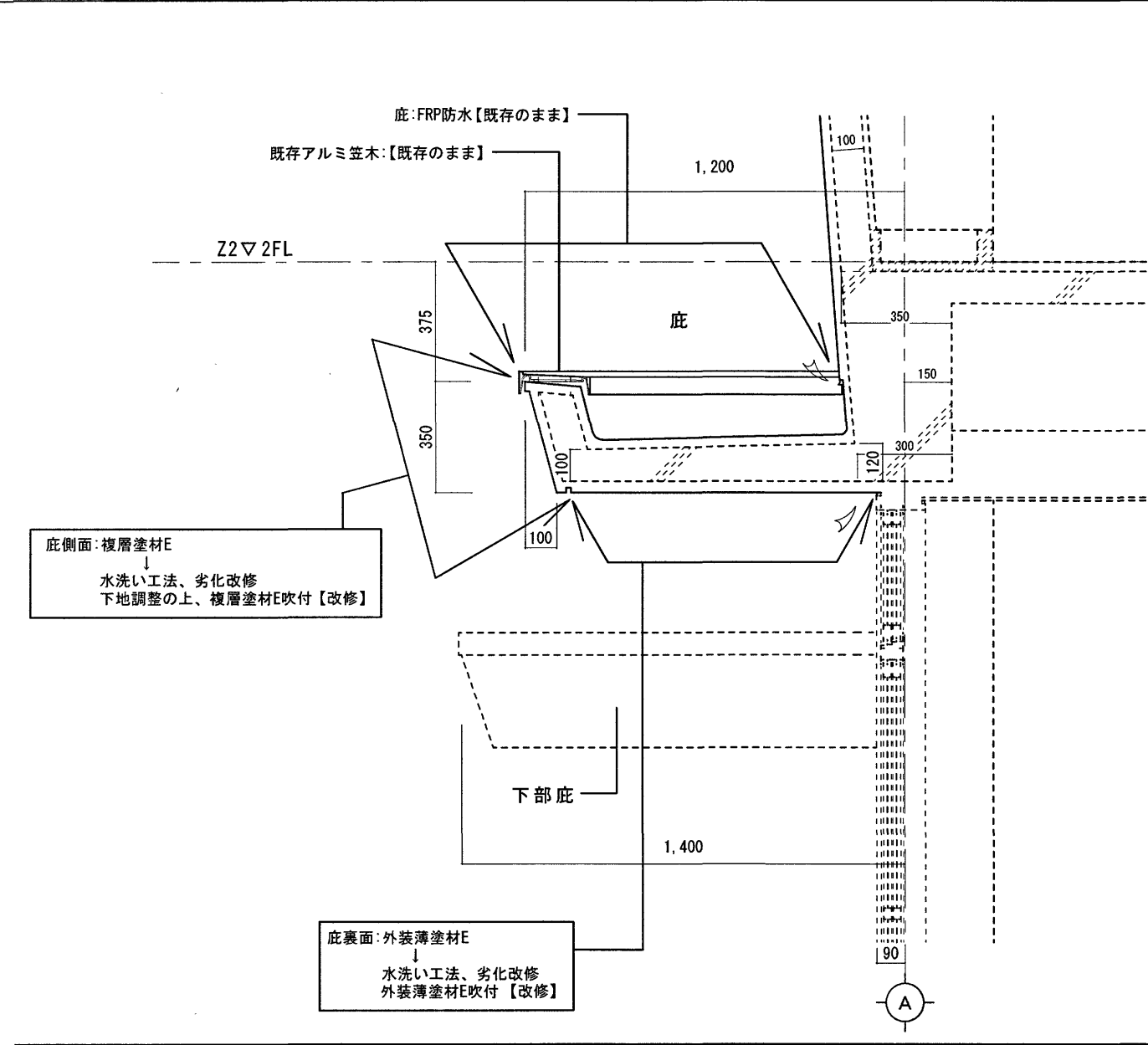
◀: 特記なき限りシーリング(MS-2 15×10)【撤去・再充填】

高知市 都市建設部 公共建築課

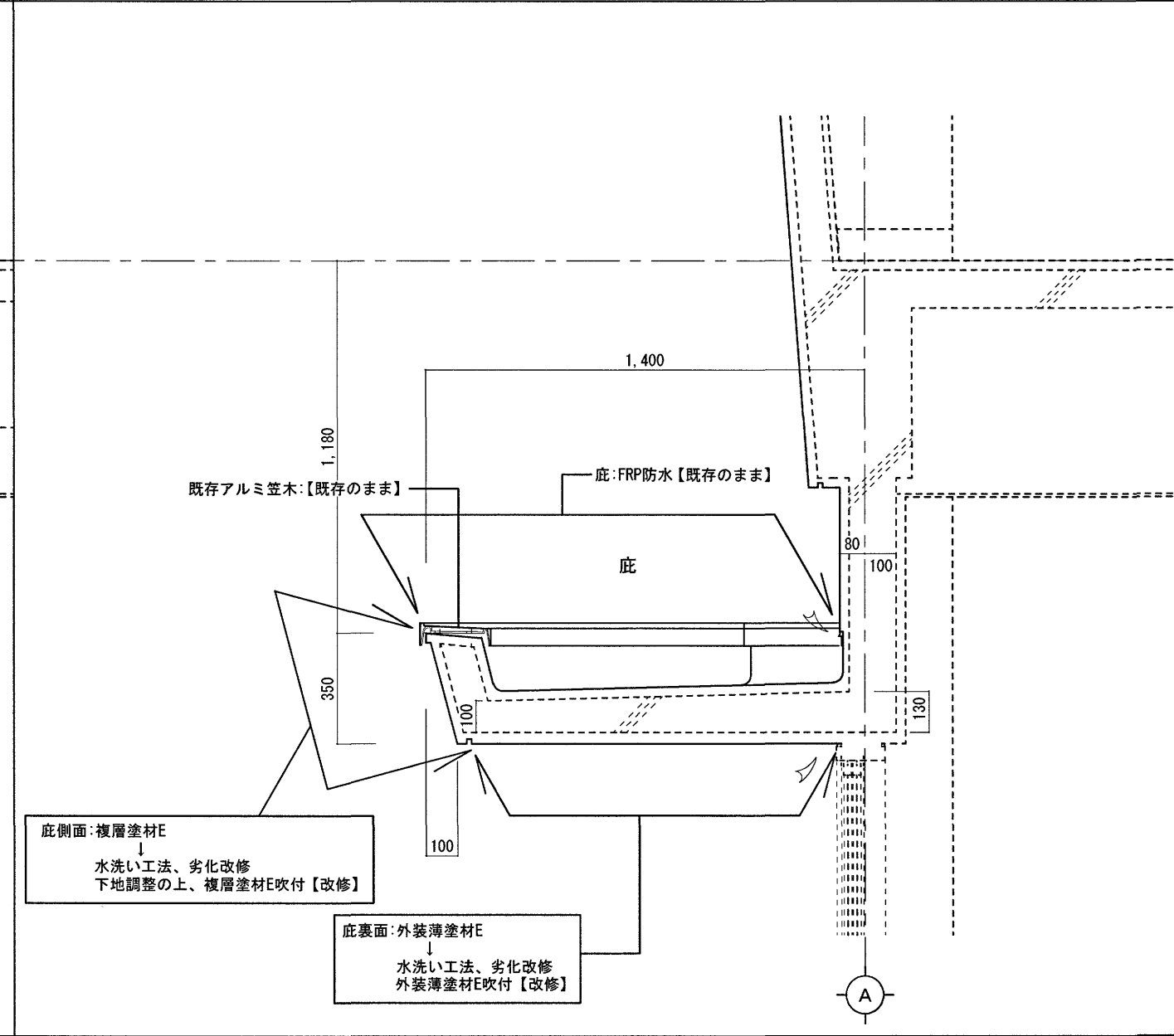
工事名	潮江小学校北舎外壁改修工事				係長	課長補佐	課長	図面番号
図面名	矩計図(東棟)	縮尺	S=1/50	作図	2026年	4月	日	A-13



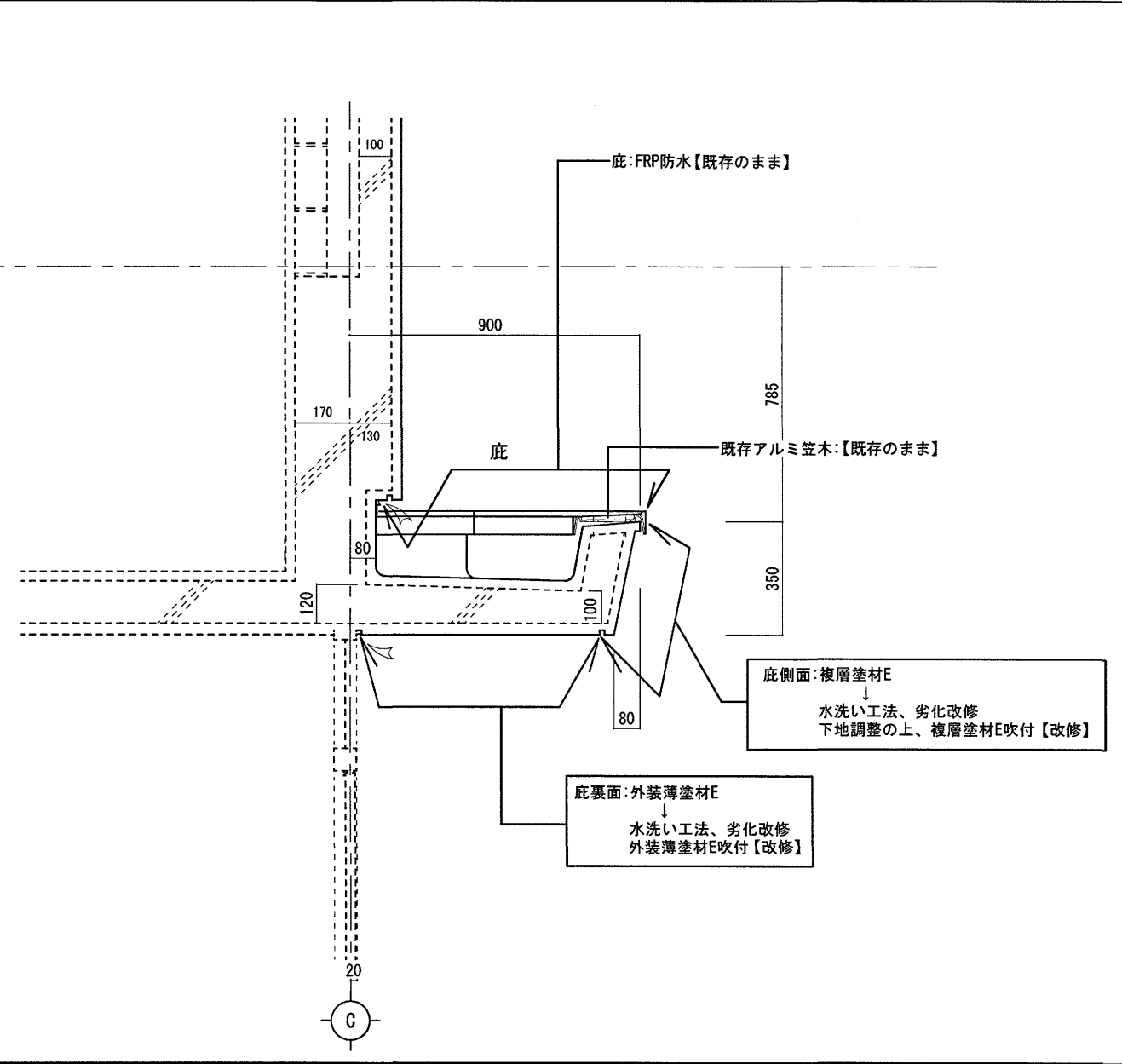
南面上部庇 S=1/20



南面下部庇 S=1/20



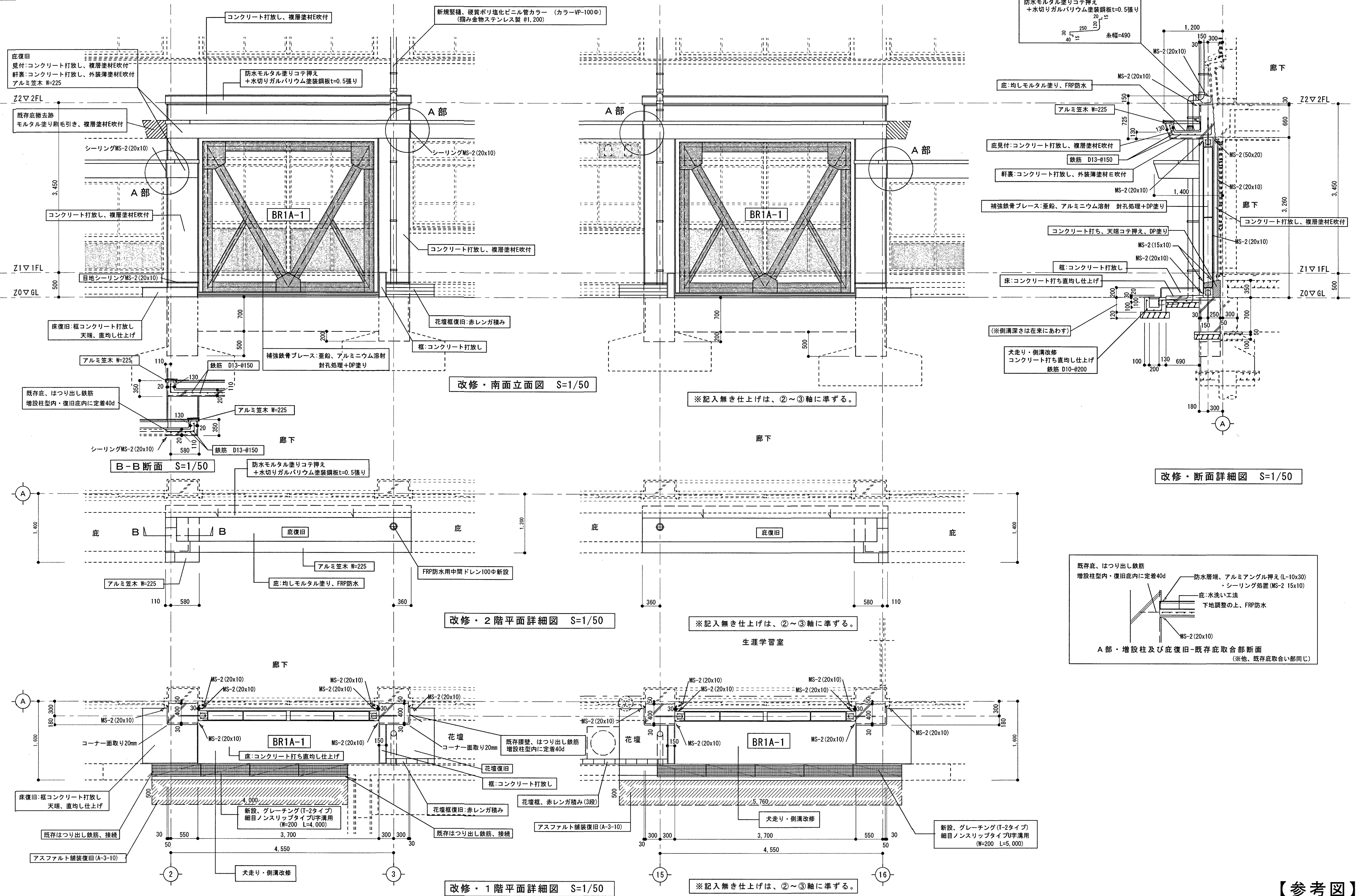
北面階段室出入口庇 S=1/20



特記なき限りシーリング(MS-2 15×10)【撤去・再充填】

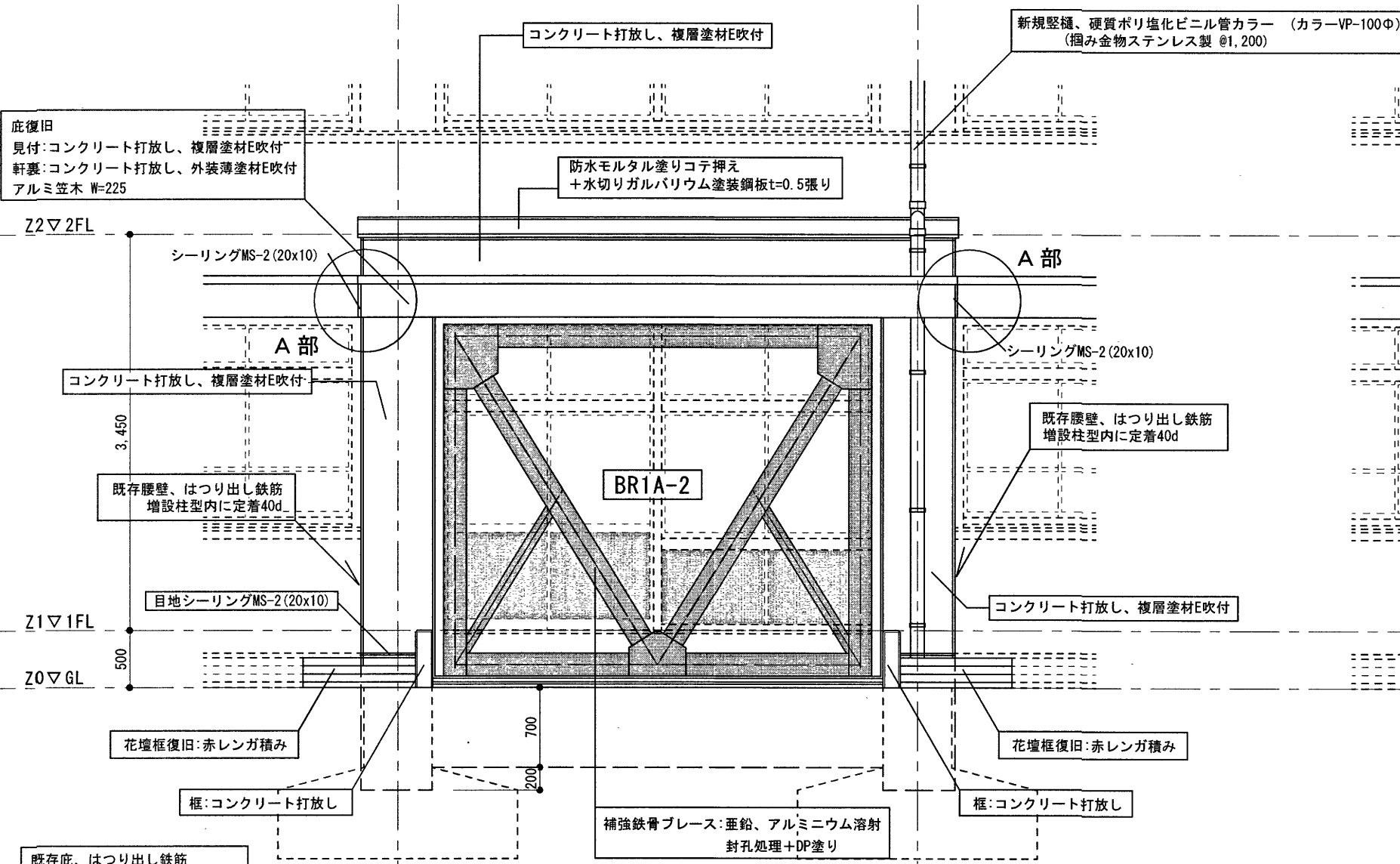
高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	潮江小学校北舎外壁改修工事				係	係長	課長補佐	課長	図面番号
図面名	PH詳細図・庇断面詳細図	縮尺	S=1/20,50	作図	2026年	4月	日	A-14	

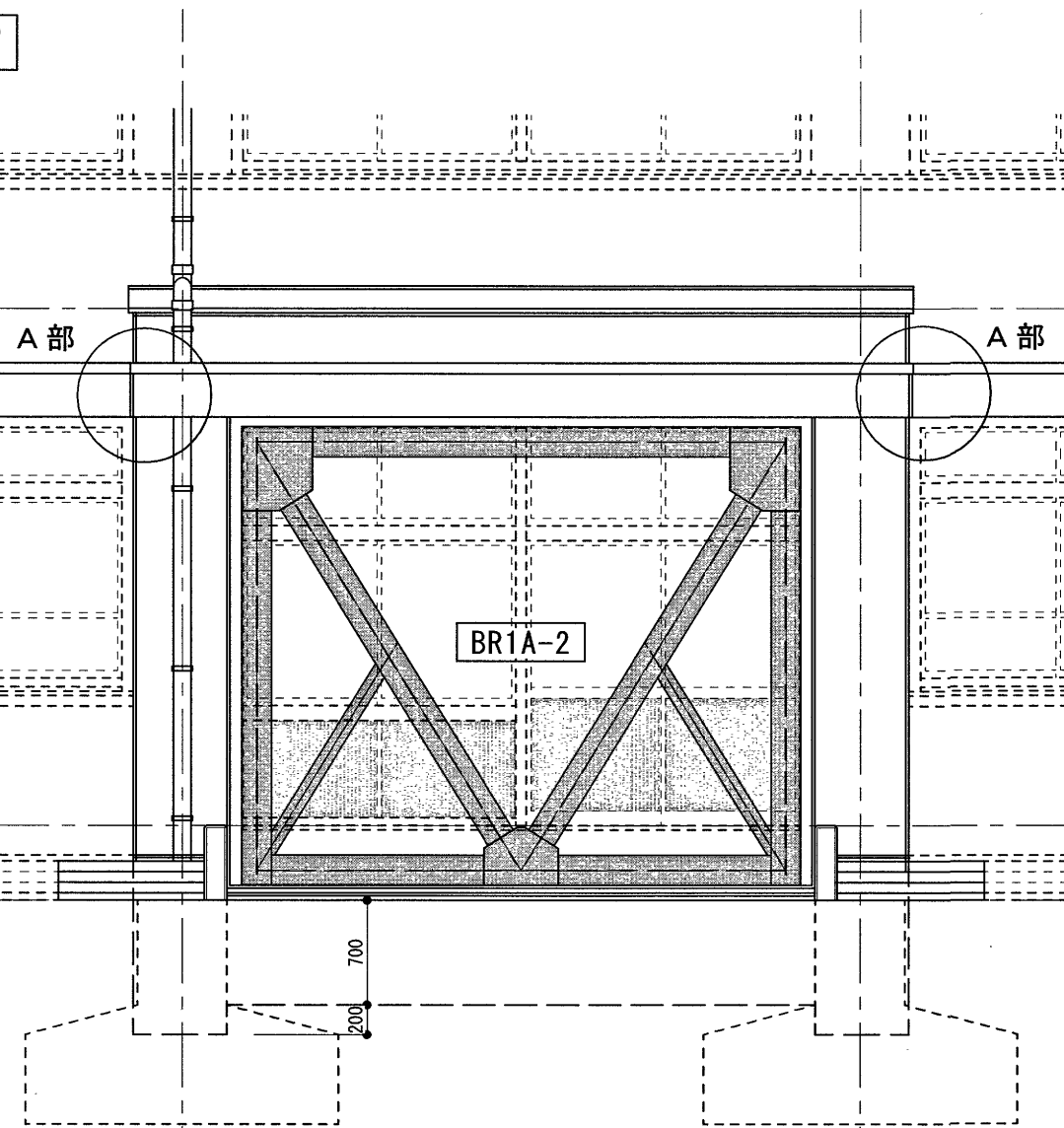


既存庇、はつり出し鉄筋
増設柱型内・復旧底内に定着40d
防水層端、アルミアングル押え(L-10x30)
シーリング処置(MS-2 15x10)
庇:水洗い工法
下地調整の上、FRP防水
MS-2(20x10)
A部・増設柱及び庇復旧-既存庇取合部断面
(※他、既存庇取合部同し)

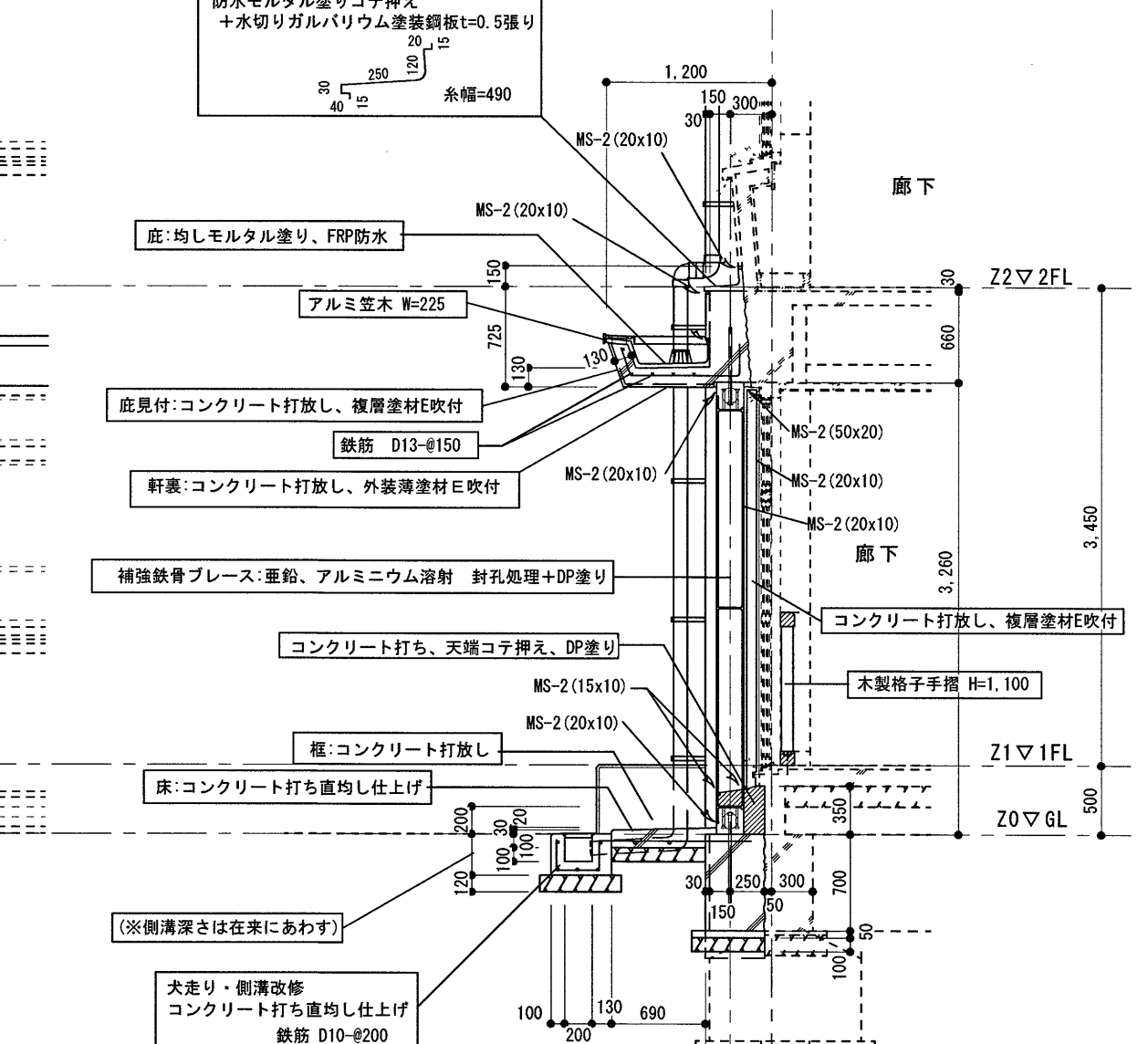
高知市 都市建設部 公共建築課		工事名	潮江小学校北舎外壁改修工事			係	係長	課長補佐	課長	図面番号
		図面名	【参考図】改修・A通り②~③軸 ⑮~⑯軸 補強ブレース部分 平面、立面、断面詳細図			縮尺	S=1/50		A-15	



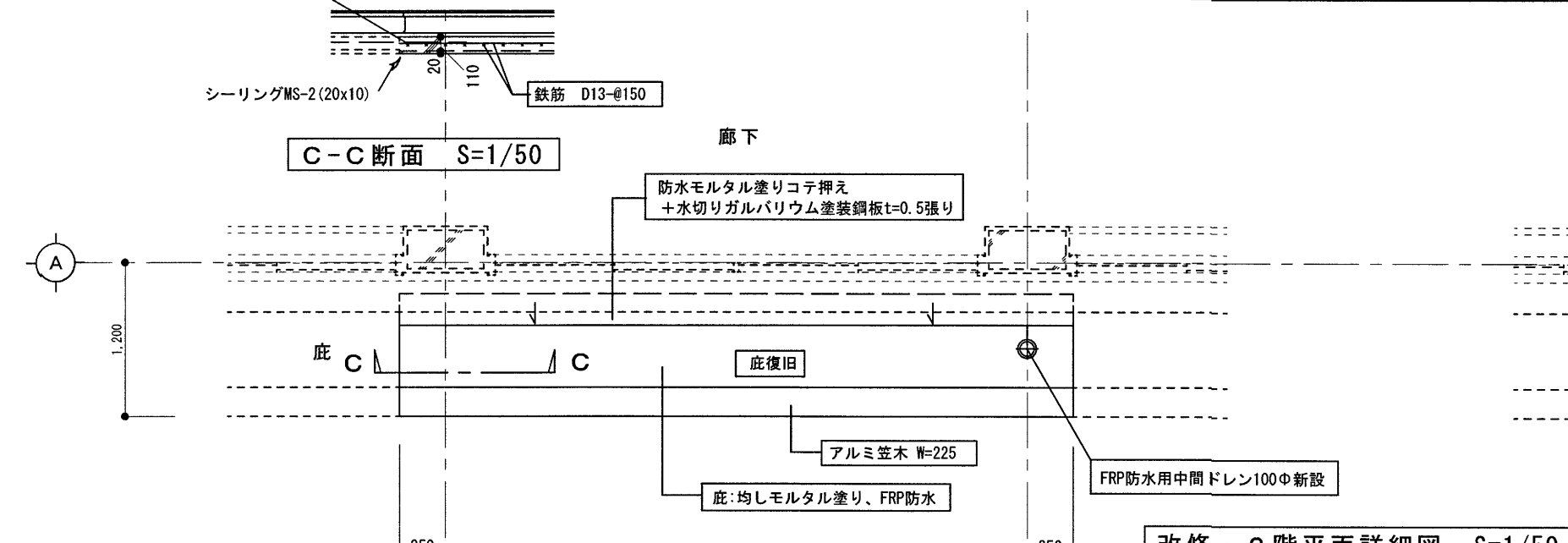
改修・南面立面図 S=1/50



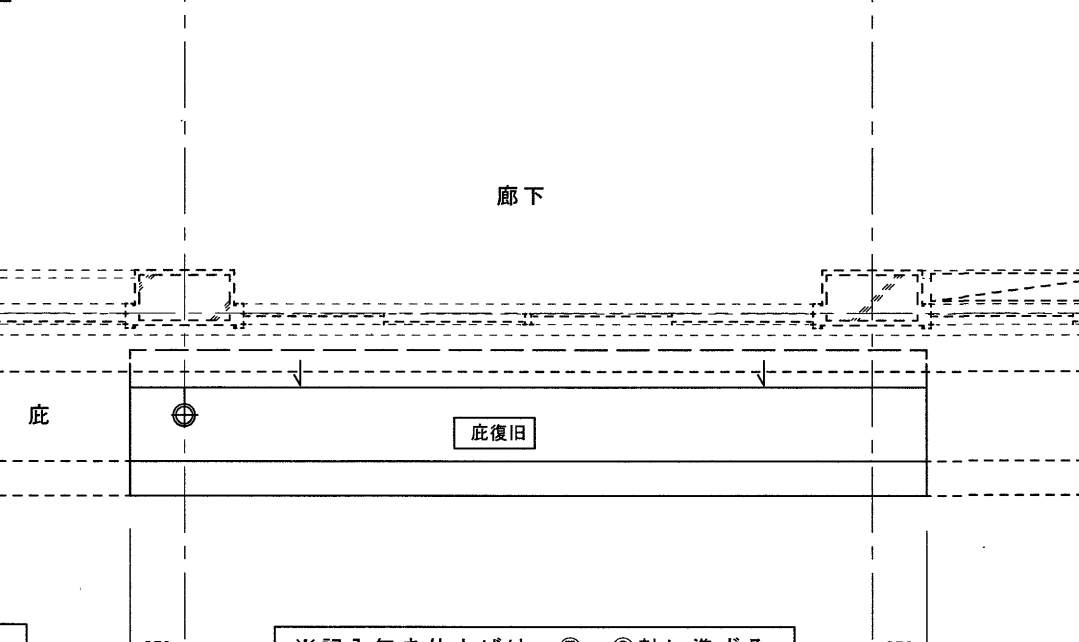
※記入無き仕上げは、⑦～⑩軸に準ずる。



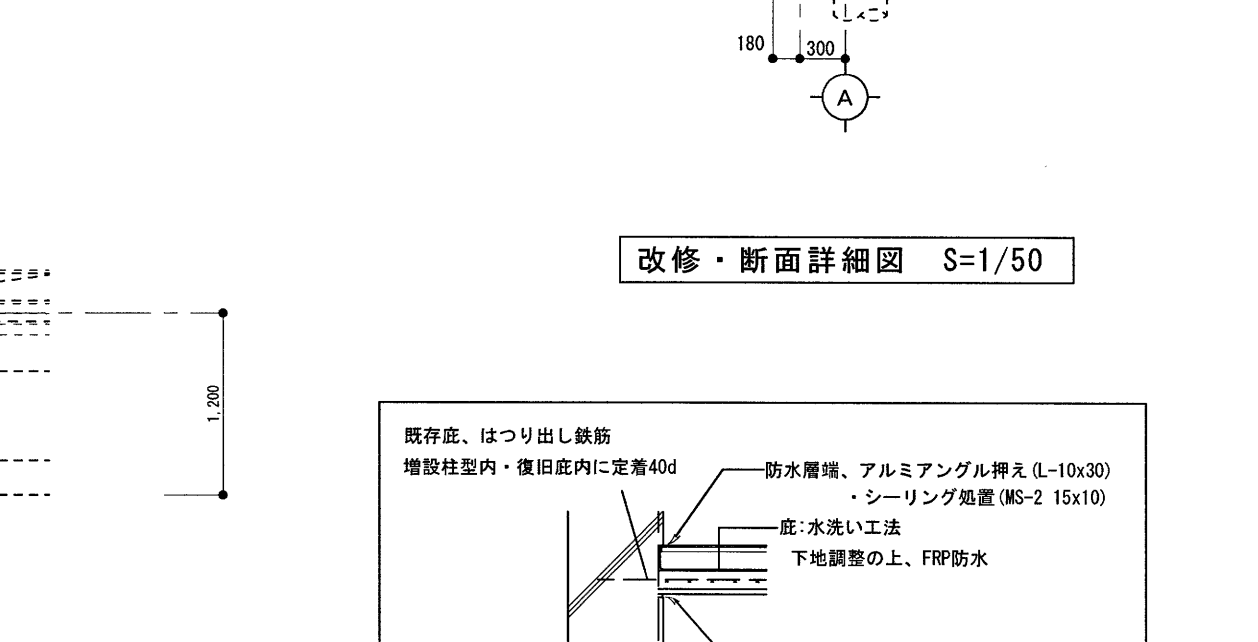
改修・断面詳細図 S=1/50



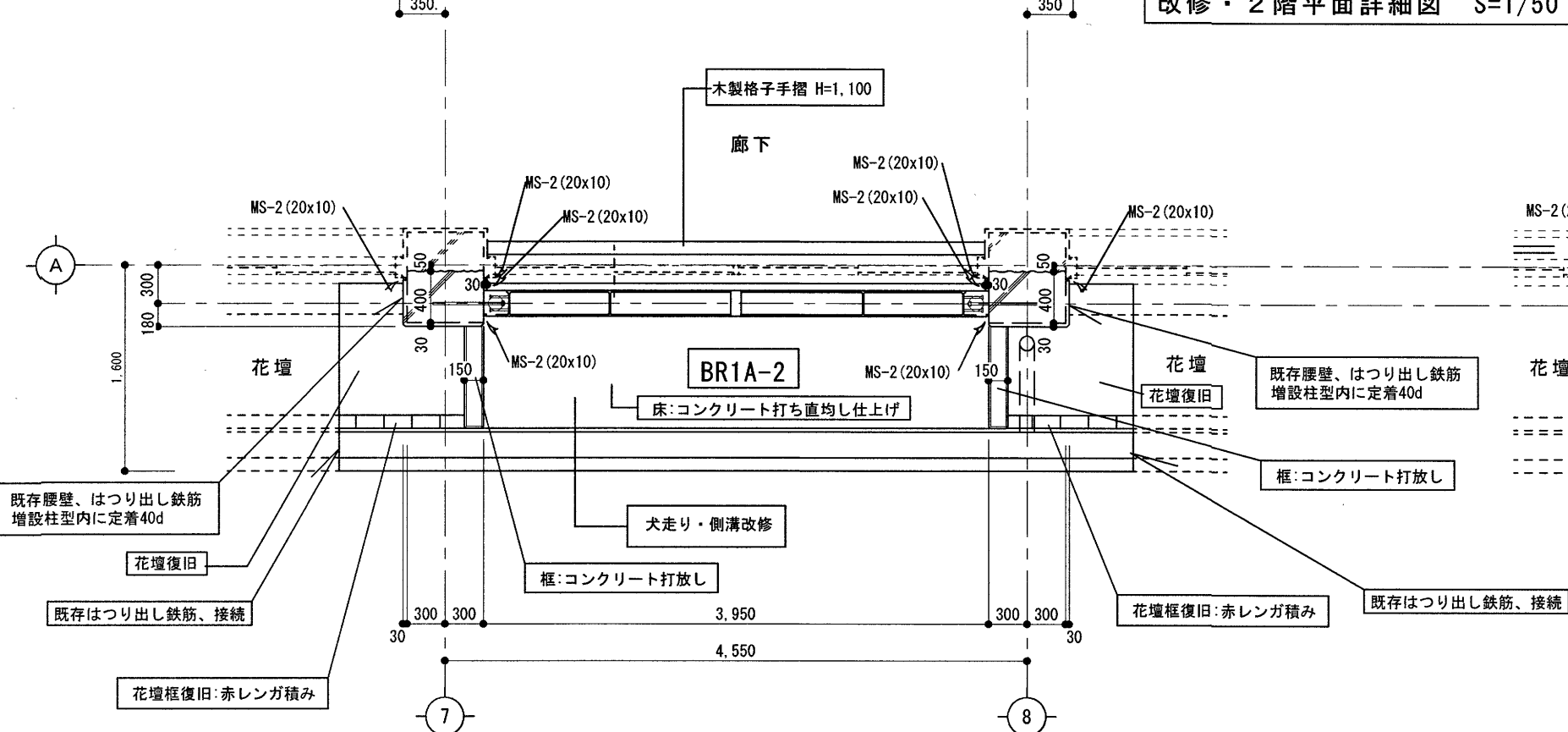
改修・2階平面詳細図 S=1/50



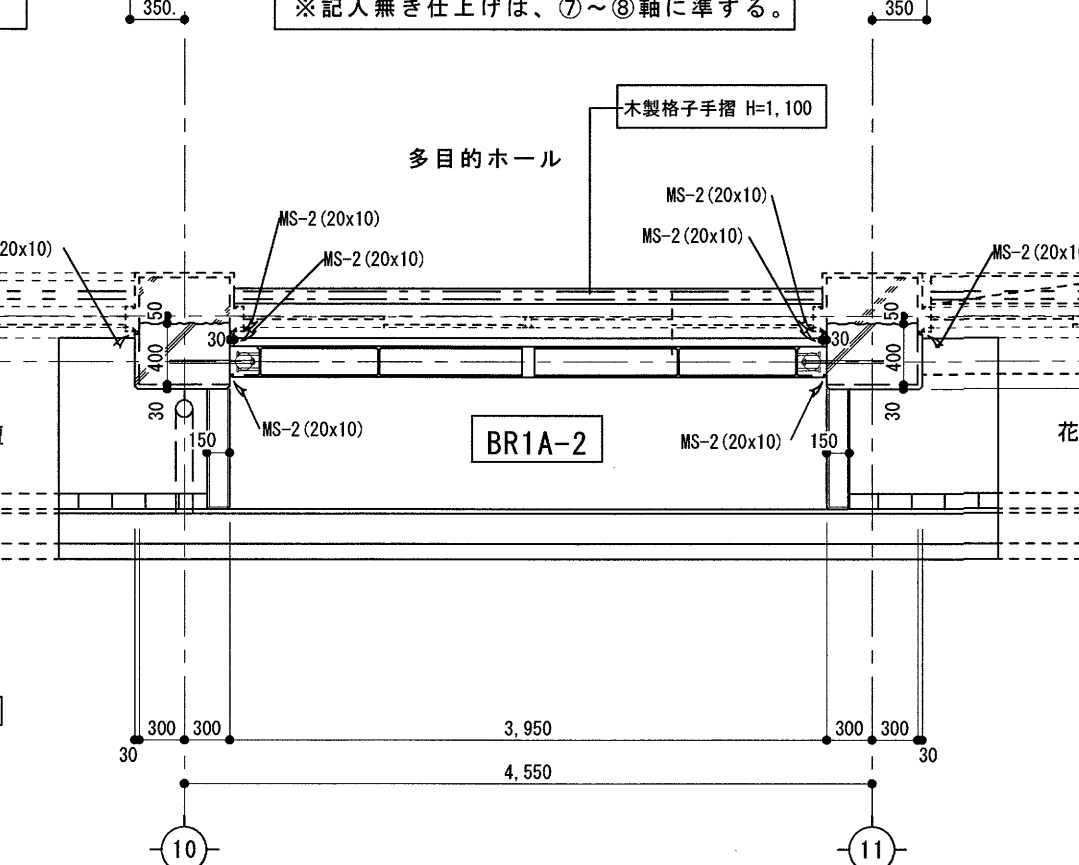
※記入無き仕上げは、⑦～⑩軸に準ずる。



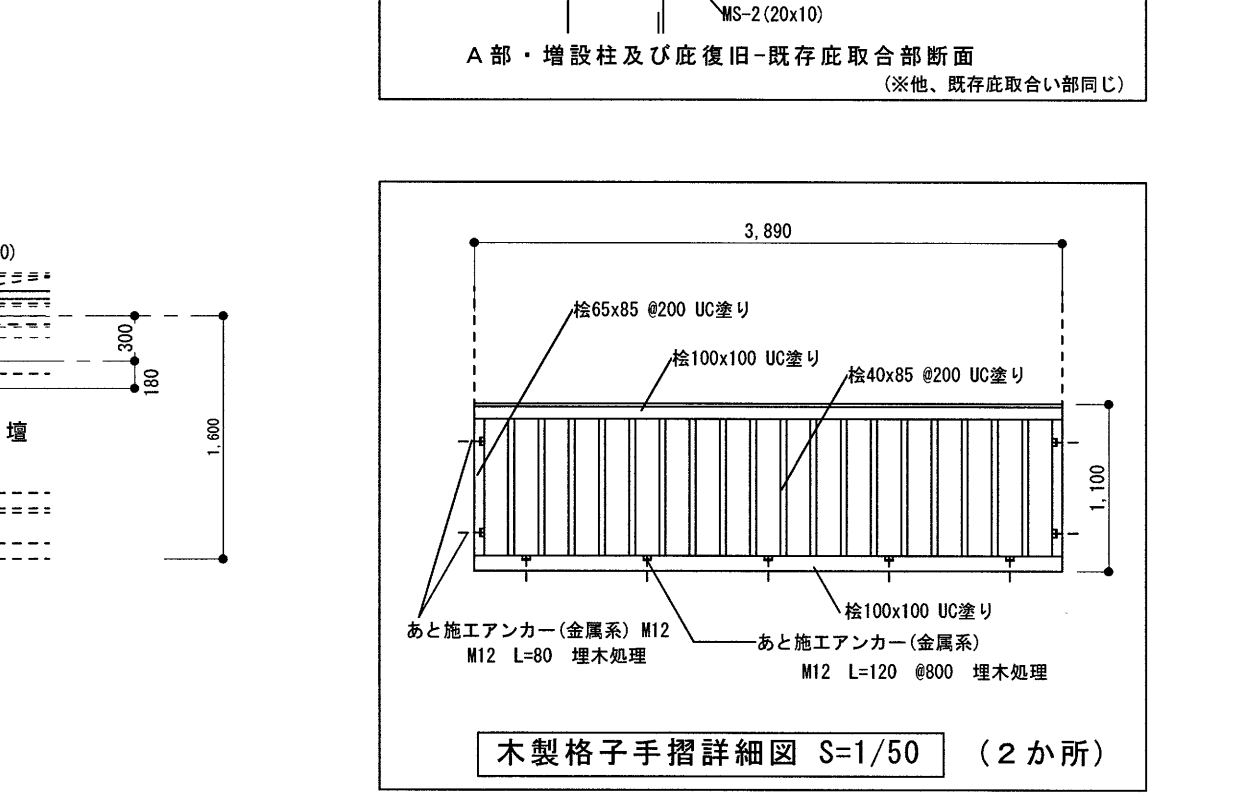
A部・増設柱及び底復旧-既存庇取合部断面 (※他、既存庇取合部同し)



改修・1階平面詳細図 S=1/50

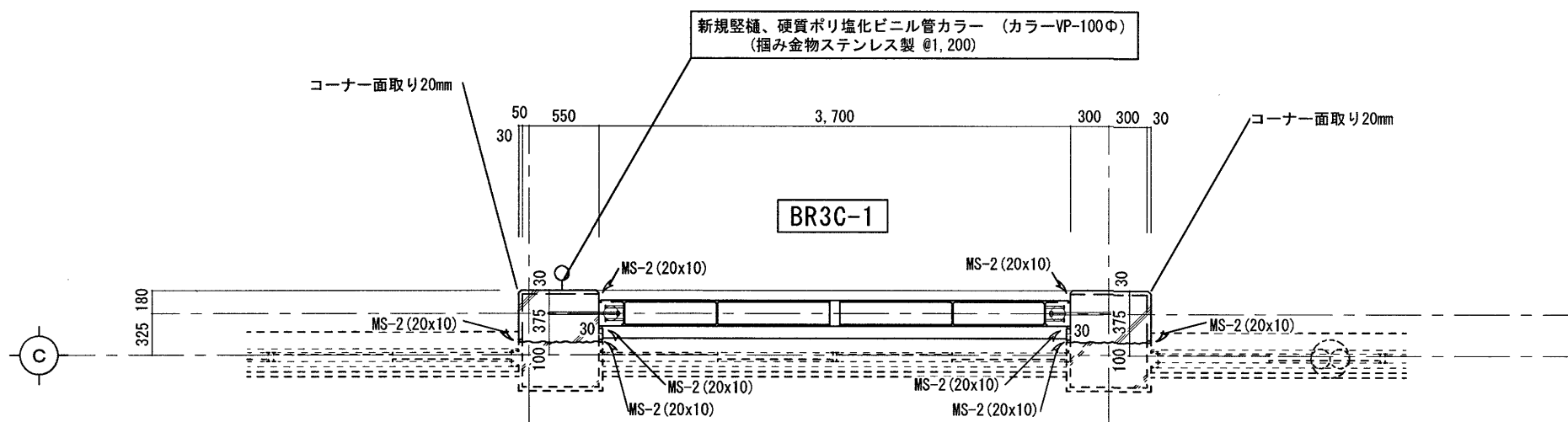


※記入無き仕上げは、⑦～⑩軸に準ずる。

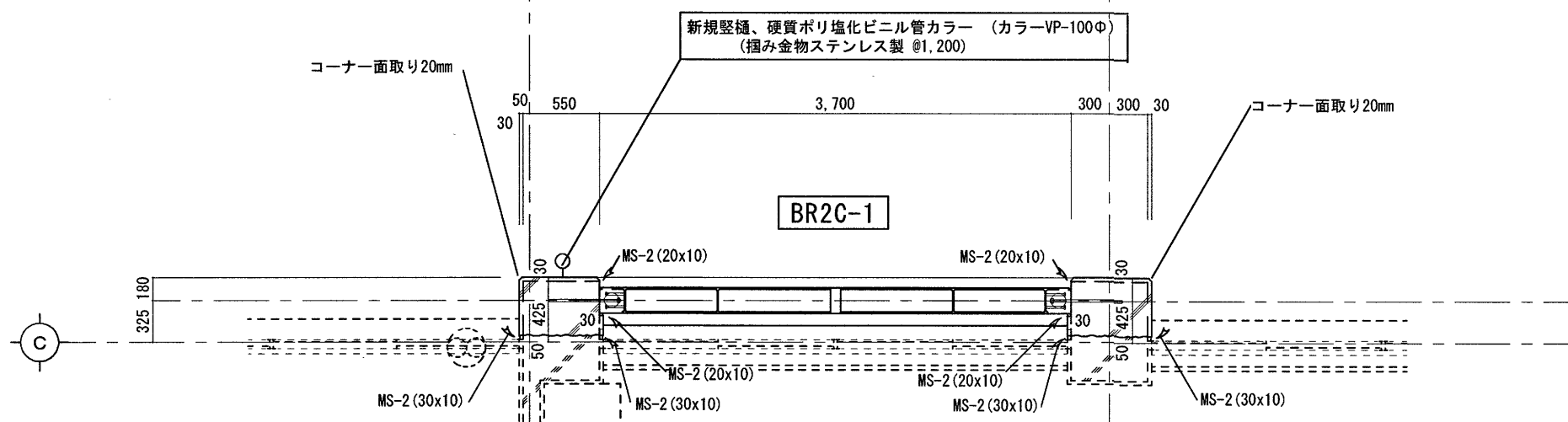


木製格子手摺詳細図 S=1/50 (2か所)

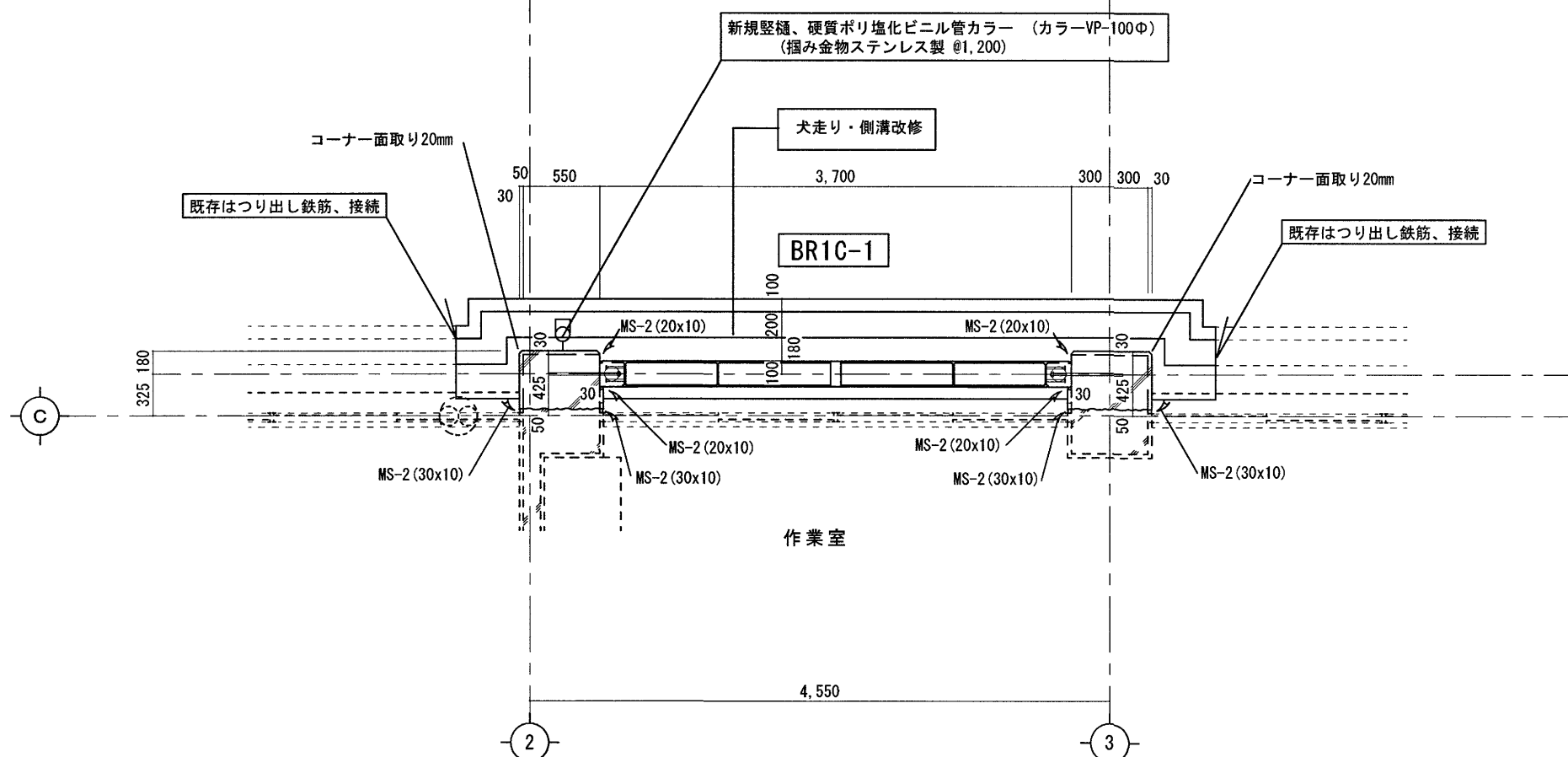
高知市 都市建設部 公共建築課		工事名	潮江小学校北舎外壁改修工事			係	係長	課長補佐	課長	図面番号
		図面名	【参考図】改修・A通り⑦～⑩軸 ⑩～⑪軸 補強ブレース部分 平面、立面、断面詳細図			縮尺	S=1/50		A-16	



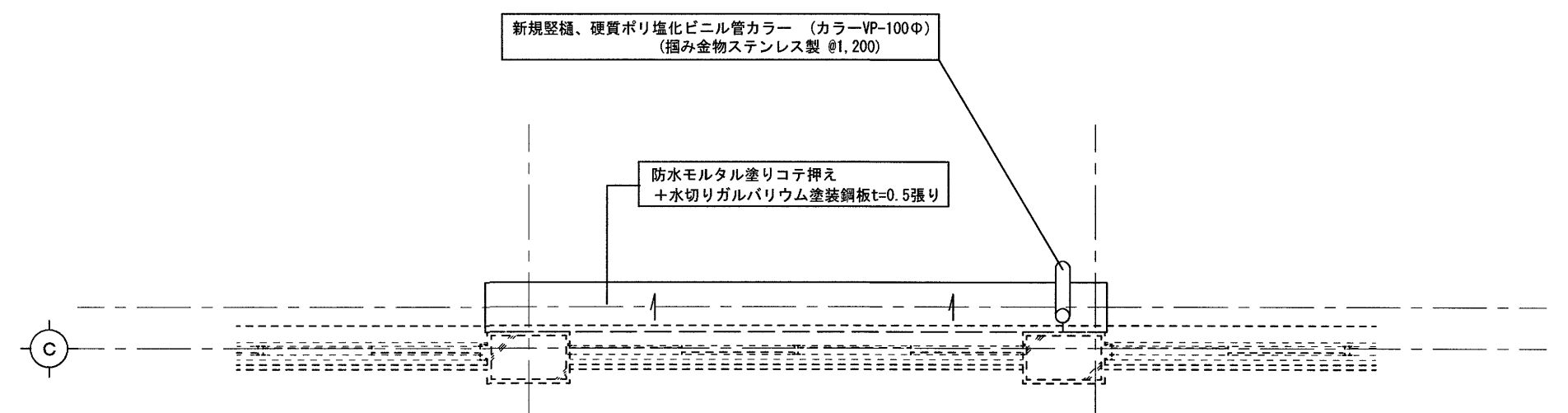
改修・3階平面詳細図 S=1/50



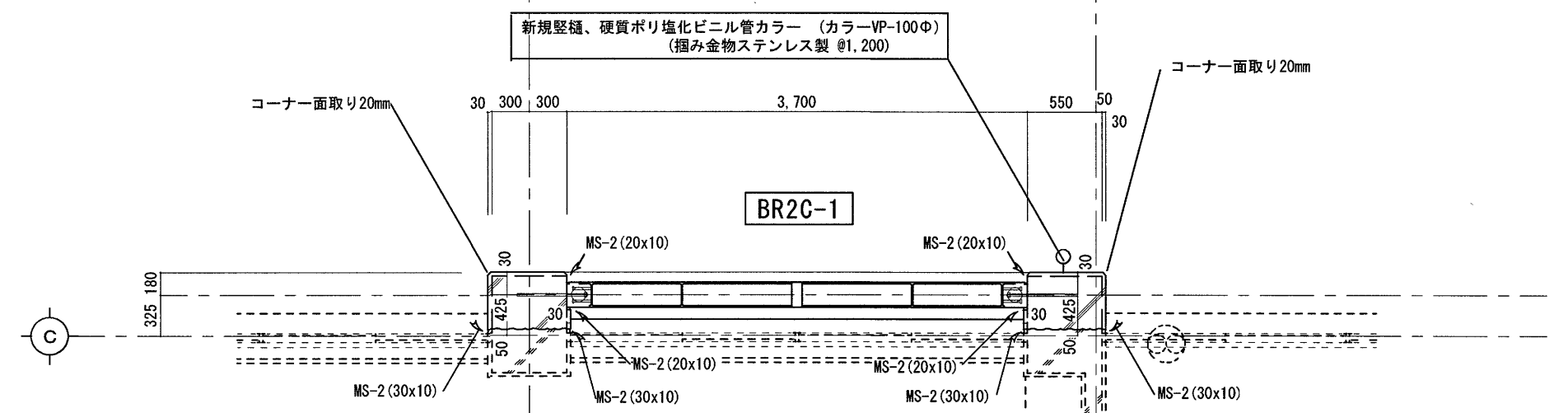
改修・2階平面詳細図 S=1/50



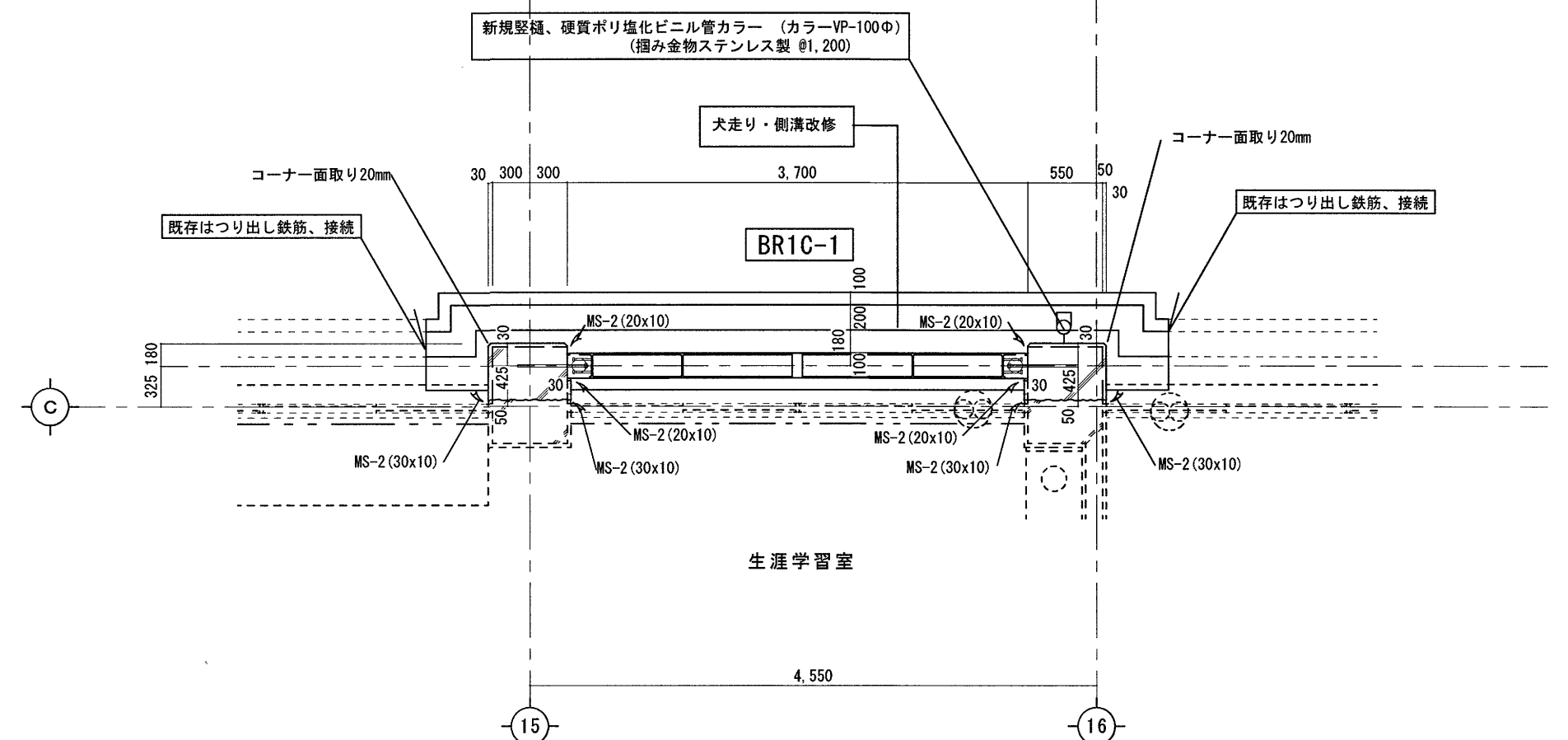
改修・1階平面詳細図 S=1/50



改修・3階平面詳細図 S=1/50



改修・2階平面詳細図 S=1/50

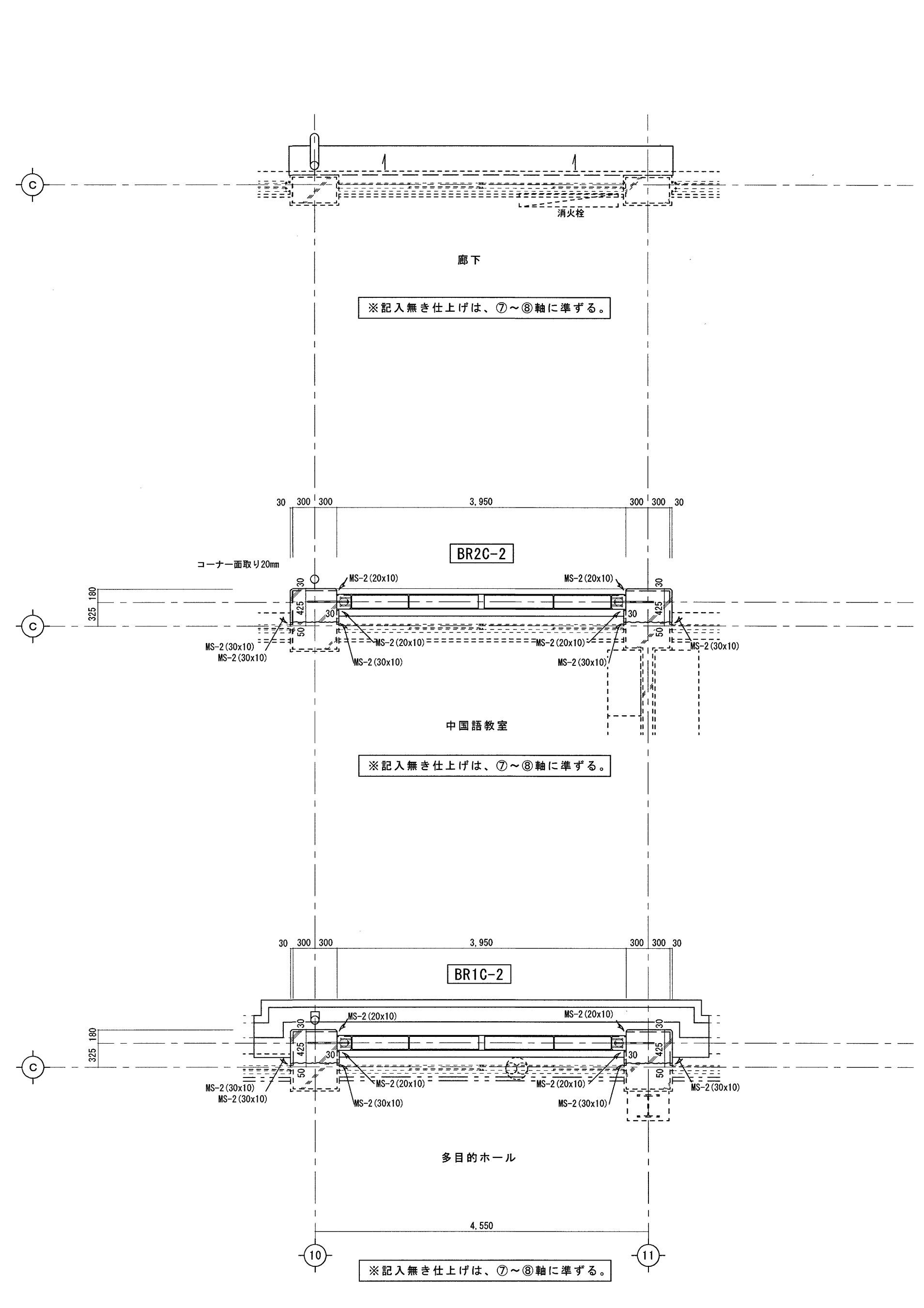
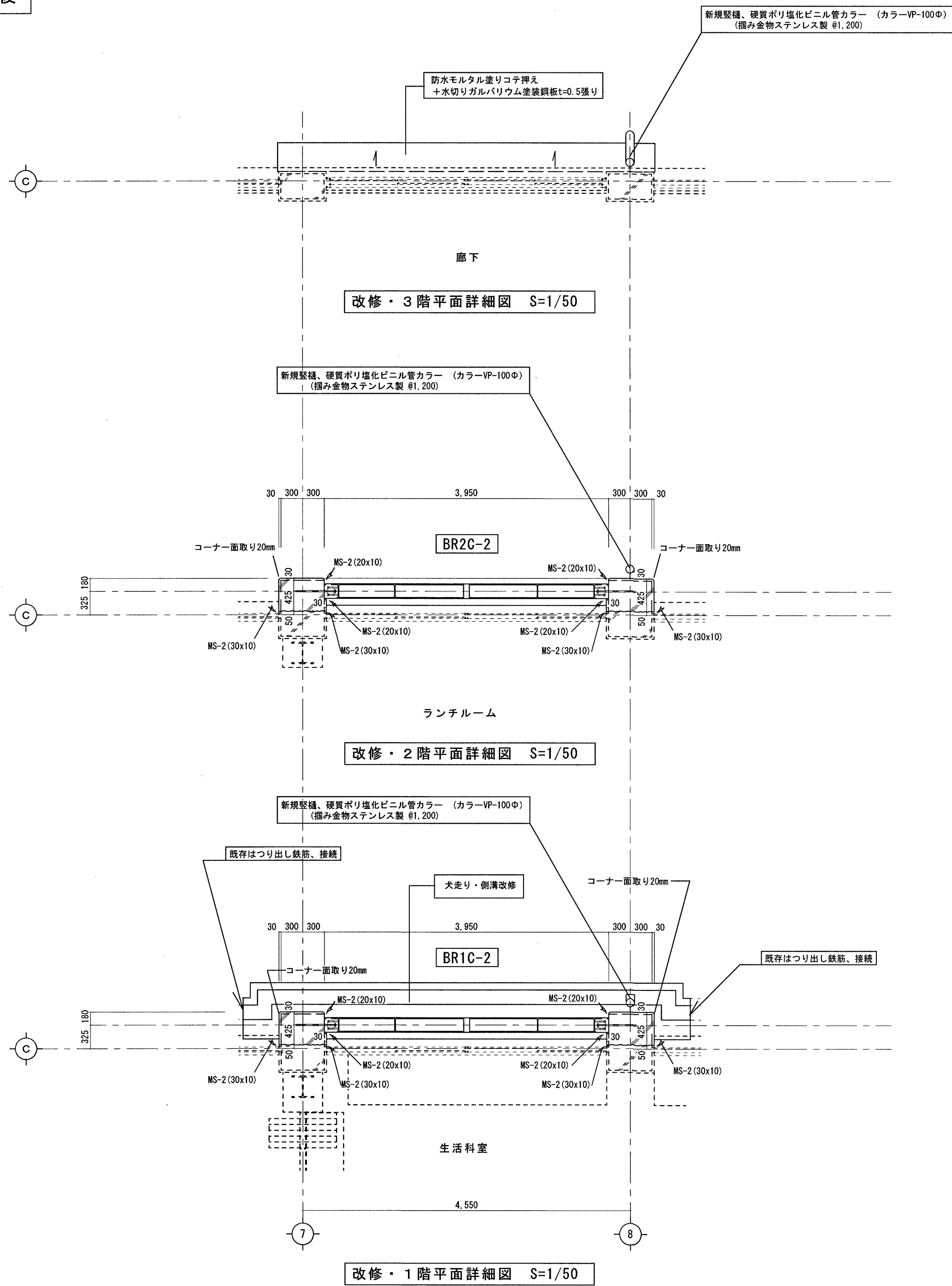


改修・1階平面詳細図 S=1/50

【参考図】

高知市 都市建設部 公共建築課		工事名	潮江小学校北舎外壁改修工事			
		図面名	【参考図】改修 C通り②~③軸 ⑮~⑯軸 補強ブレース部分 平面詳細図			
		係	係長	課長補佐	課長	図面番号
		縮尺	S=1/50			A-17

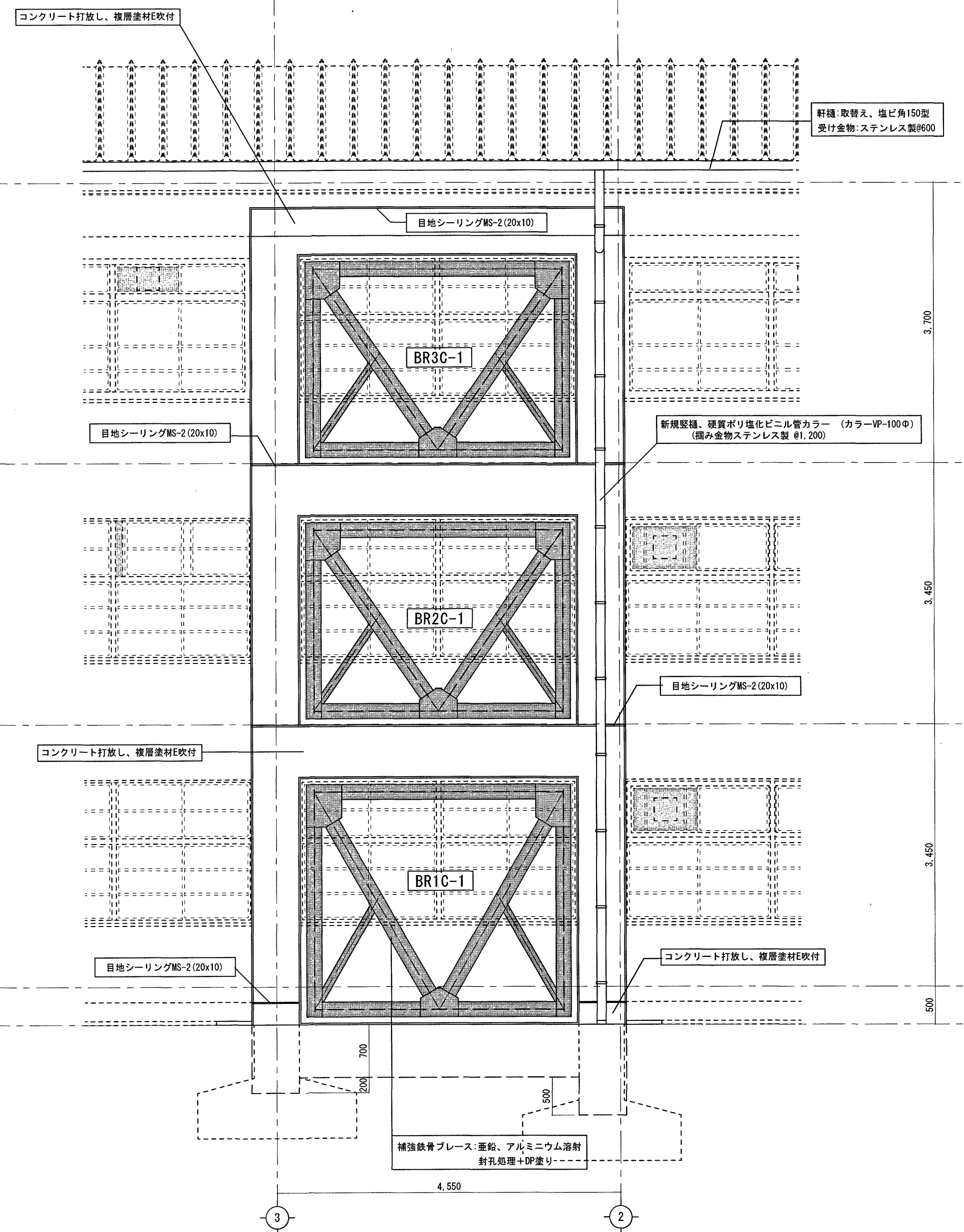
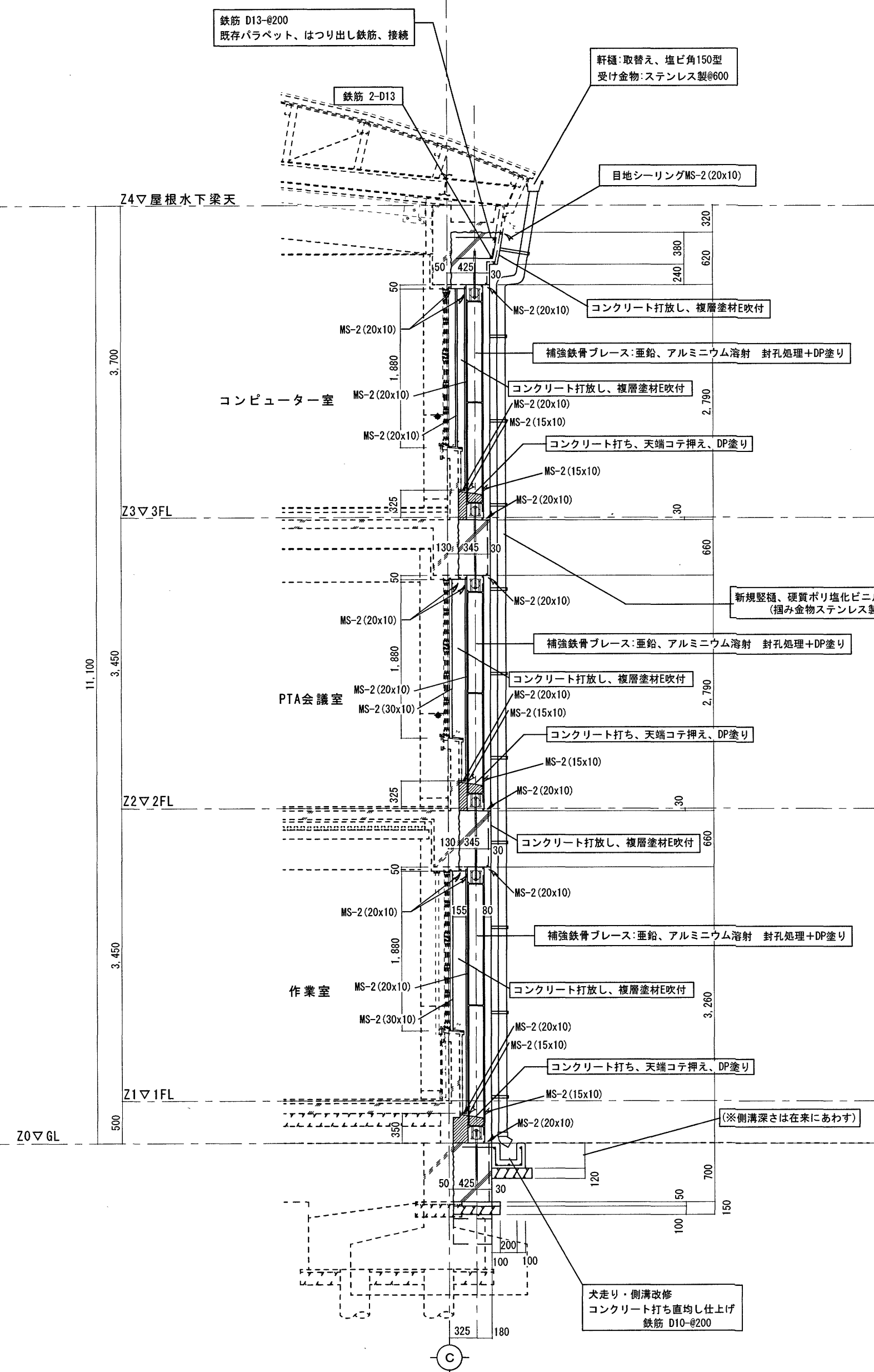
改修後



【参考図】

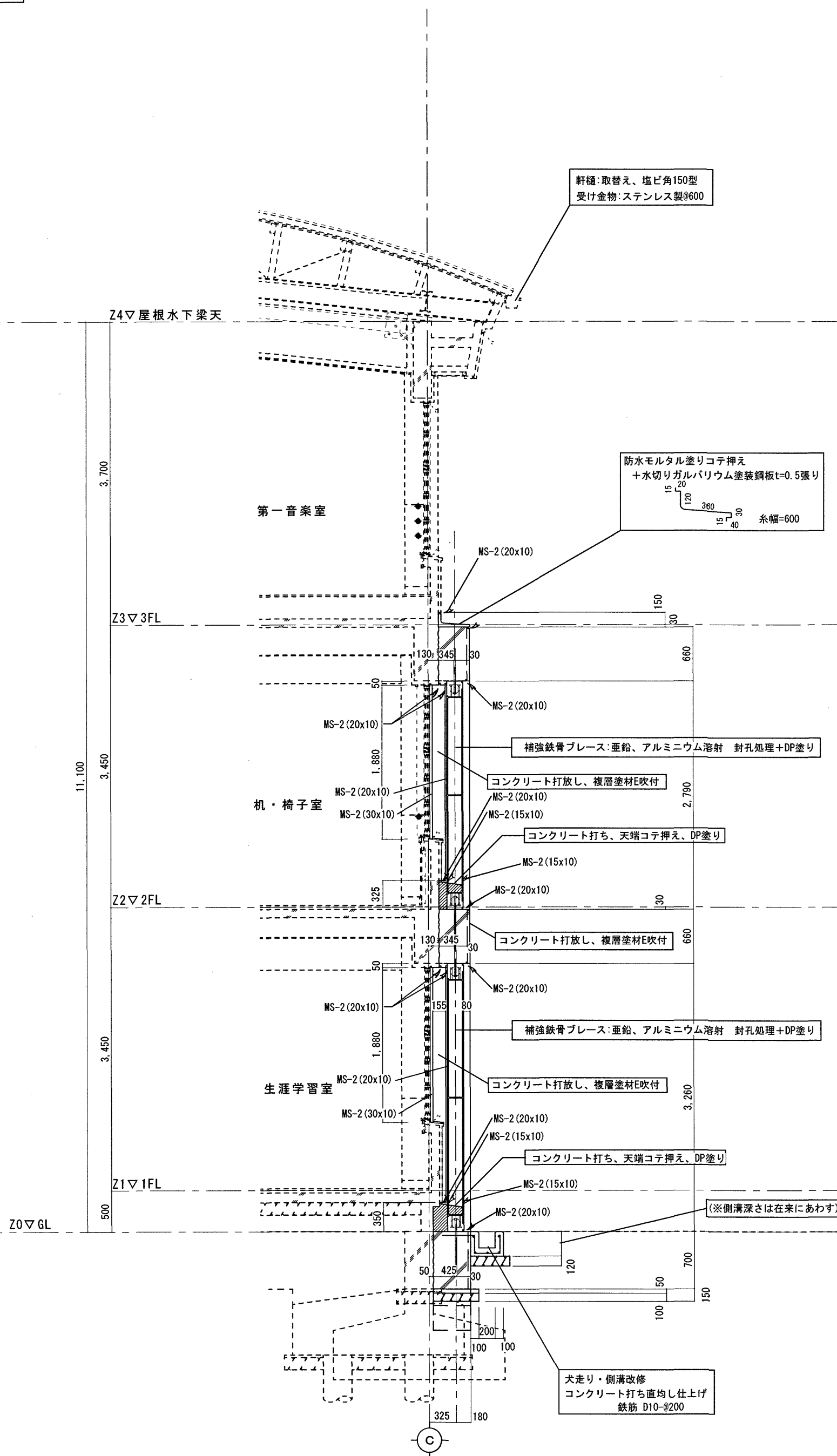
高知市 都市建設部 公共建築課		工事名	潮江小学校北舎外壁改修工事	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
		図面名	【参考図】改修 C通り⑦～⑧軸 ⑩～⑪軸 補強ブレース部分 平面詳細図	縮尺	S=1/50			A-18

改修後

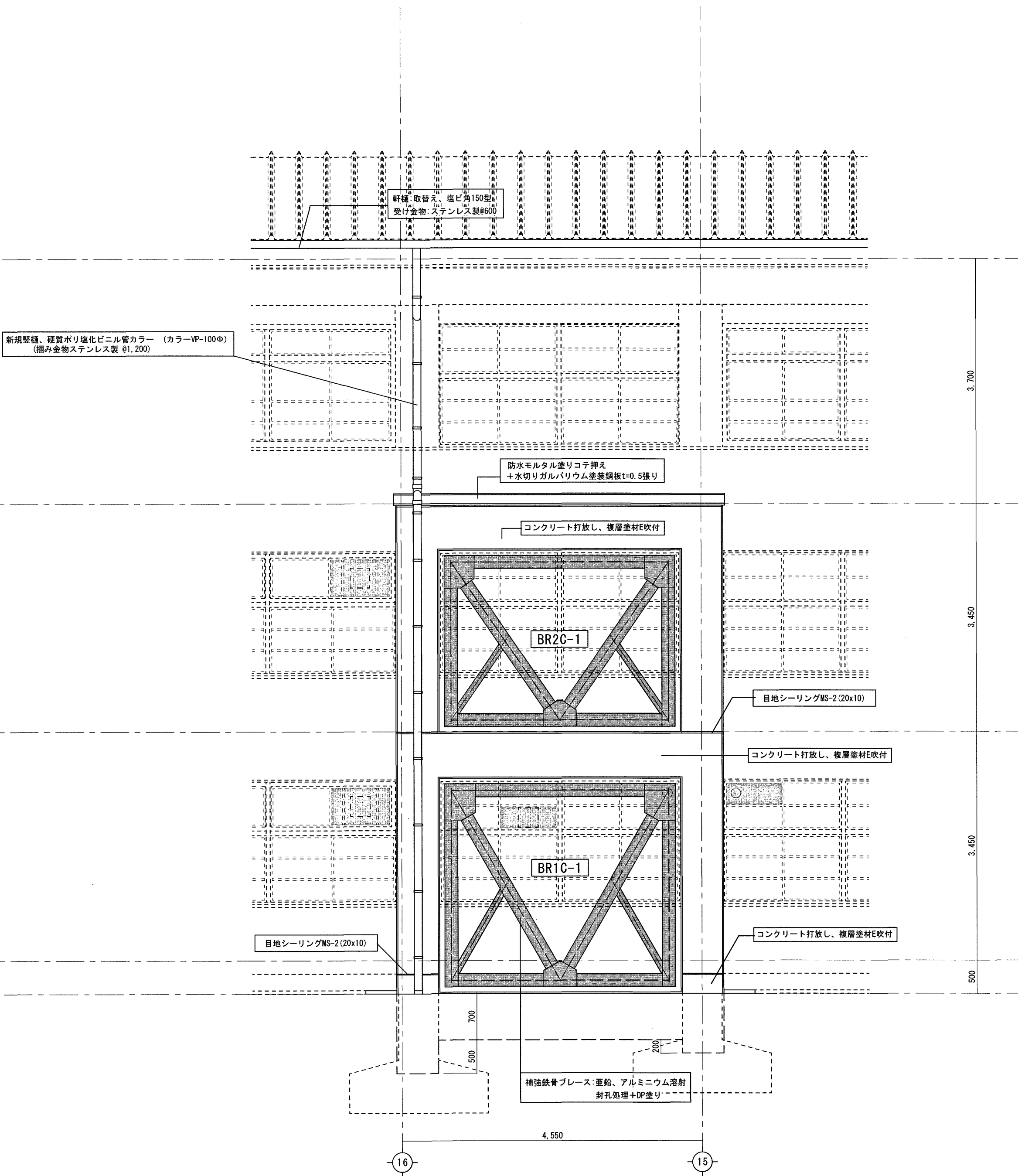


【参考図】

高知市 都市建設部 公共建築課		工事名	潮江小学校北舎外壁改修工事			
		図面名	【参考図】改修・C通り②~③軸 補強ブレース部分 立面、断面詳細図			
		縮尺	S=1/50			
		係長	課長補佐	課長	図面番号	
					A-19	



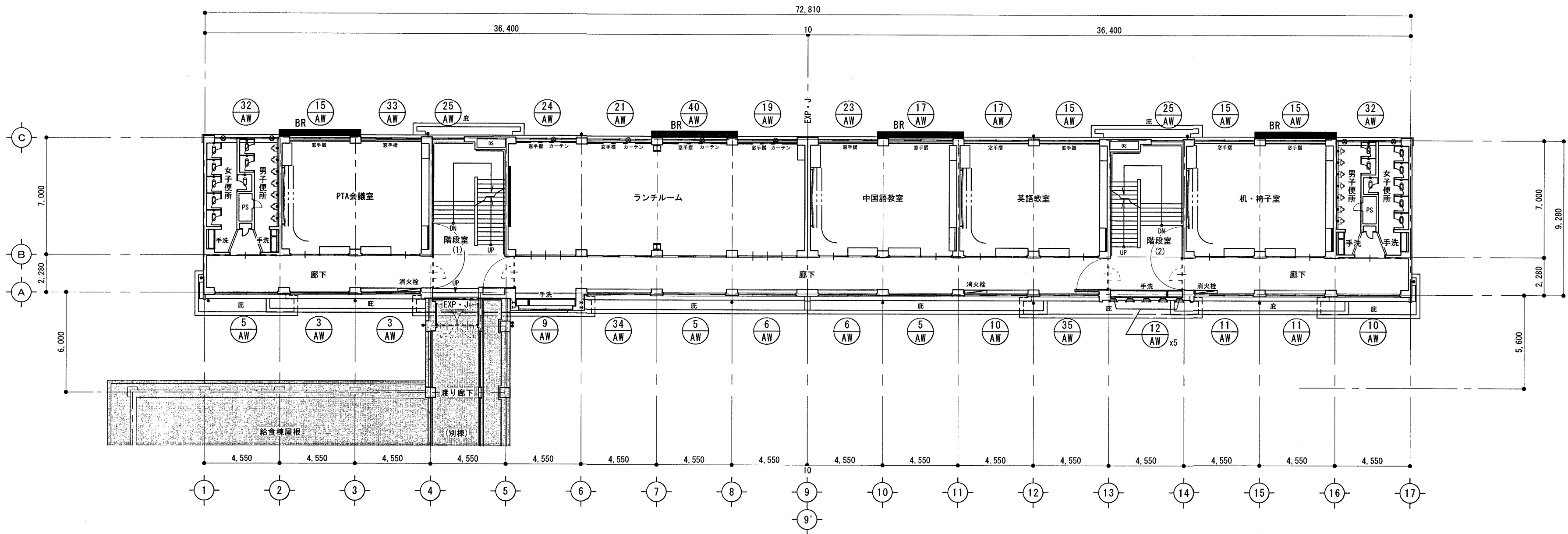
改修・断面詳細図 S=1/50



改修・北面立面図 S=1/50

【参考図】

高知市 都市建設部 公共建築課		工事名	潮江小学校北舎外壁改修工事			
		図面名	【参考図】改修・C通り⑮～⑯軸 補強プレート部分 立面、断面詳細図			
		縮尺	S=1/50			
		係	係長	課長補佐	課長	図面番号
						A-21

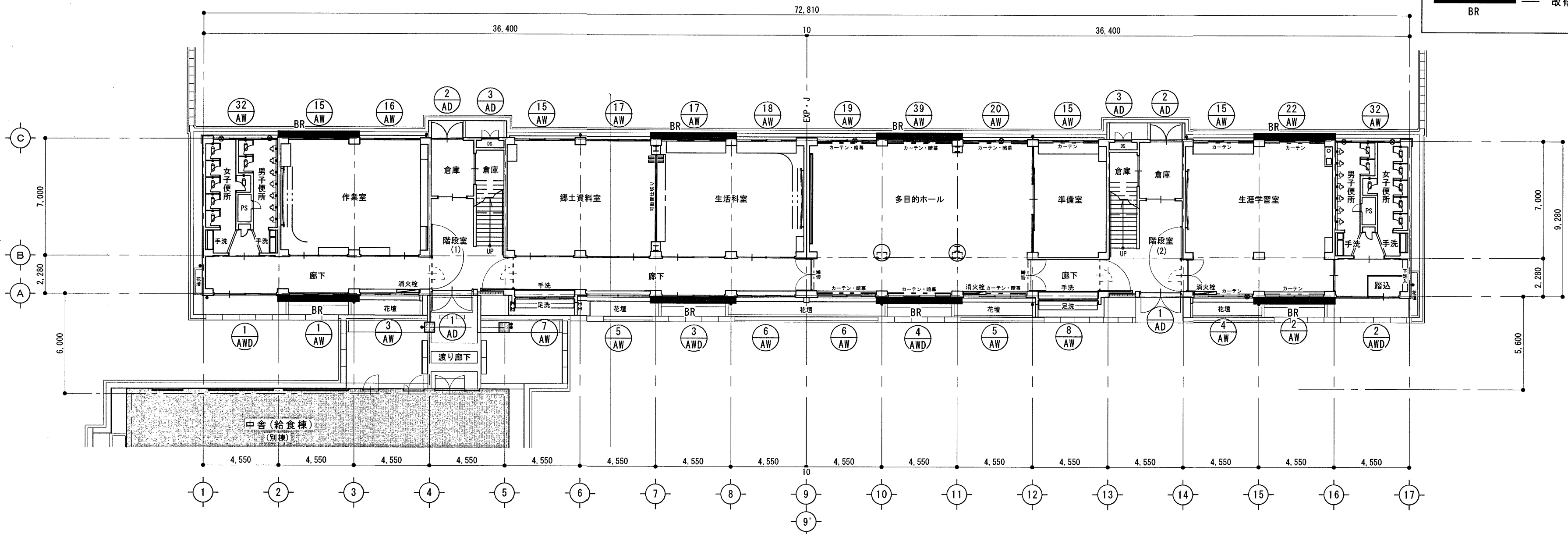


(西棟)

既存・2階建具符号平面図 S=1/200

(東棟)

【特記】
BR — 改修、補強ブレース位置を示す。



(西棟)

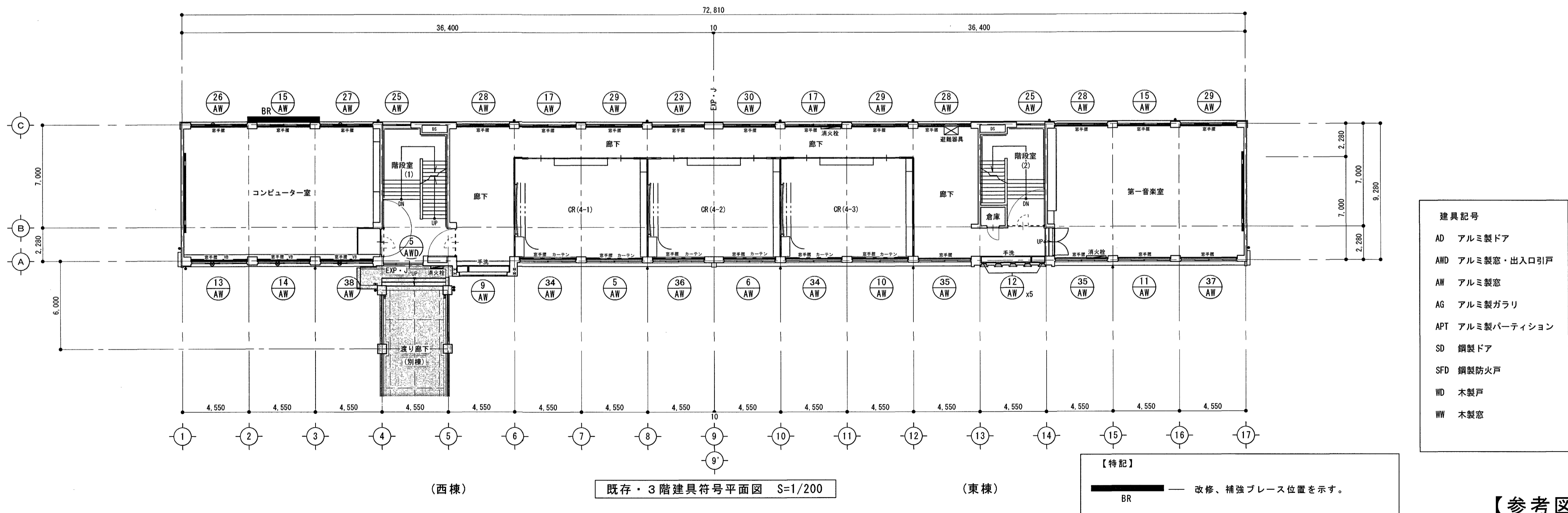
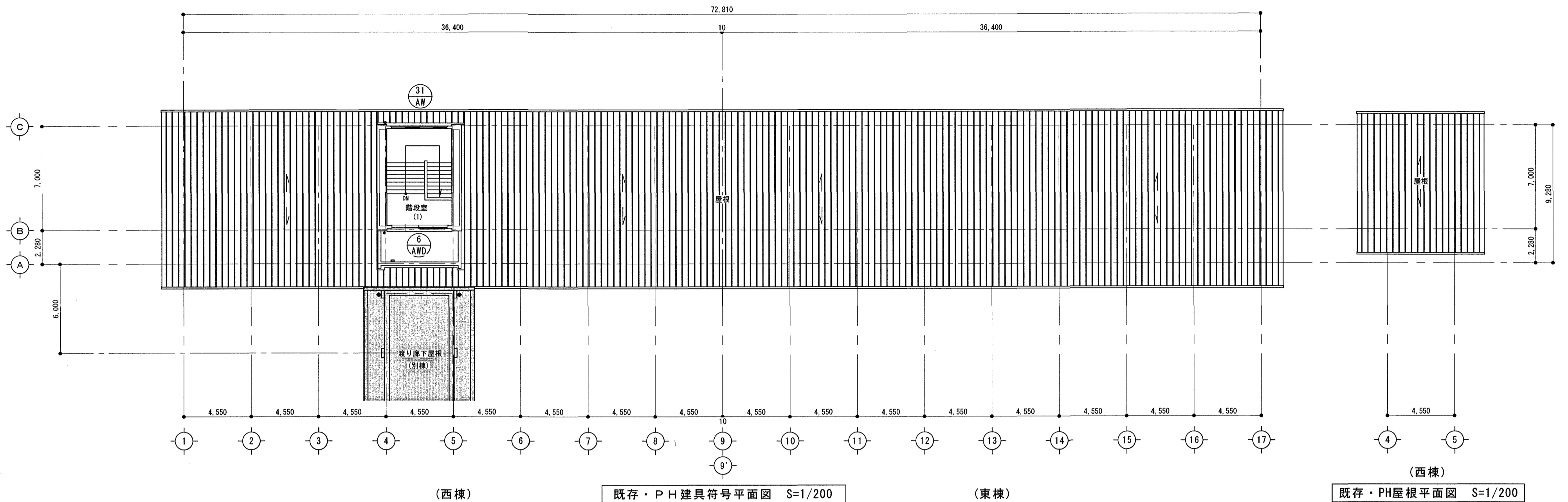
既存・1階建具符号平面図 S=1/200

(東棟)

- 建具記号
- AD アルミ製ドア
 - AWD アルミ製窓・出入口引戸
 - AW アルミ製窓
 - AG アルミ製ガラリ
 - APT アルミ製パーティション
 - SD 鋼製ドア
 - SFD 鋼製防火戸
 - WD 木製戸
 - WW 木製窓

【参考図】

高知市 都市建設部 公共建築課		工事名	潮江小学校北舎外壁改修工事			係	係長	課長補佐	課長	図面番号
		図面名	【参考図】建具符号図-1			縮尺	S=1/200		作図	2026年 4月 日
										A-22



高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	潮江小学校北舎外壁改修工事				係	係長	課長補佐	課長	図面番号
図面名	【参考図】建具符号図-2	縮尺	S=1/200	作図	2026年	4月	日		A-23

符号	数量	1 外観図					2 外観図					3 外観図					1 外観図					2 外観図																								
		1階	2階	3階	PH	合計	1階	2階	3階	PH	合計	1階	2階	3階	PH	合計	1階	2階	3階	PH	合計	1階	2階	3階	PH	合計																				
		AD	1階	階段室(1)(2)出入口	2	-	-	-	-	2	AD	1階	階段下倉庫出入口	2	-	-	-	-	2	AD	1階	DS取出口	2	-	-	-	-	2	AWD	1階	廊下	1	-	-	-	-	1	AWD	1階	生涯学習室	1	-	-	-	-	1
形状・寸法																																														
材質		アルミ製 両開き、フロアヒンジドア					アルミ製 ランマFIX付・両開き、腰パネル付ドア					アルミ製 パネル付ドア					アルミ製 腰パネル引違い戸・腰パネル付、引違い窓					アルミ製 腰パネル引違い戸・腰パネル付、引違い窓																								
見込	仕上	100 シルバー					70 シルバー					70 シルバー					70 シルバー					70 シルバー																								
硝子		網入り磨き板ガラスt=6.8mm					網入り型板ガラスt=6.8mm・アルミパネル ランマ網入り型板ガラスt=6.8mm					アルミパネル					網入り磨き板ガラスt=6.8mm・アルミパネル					網入り磨き板ガラスt=6.8mm・アルミパネル																								
金物																																														
備考																																														
符号	数量	3 外観図					4 外観図					5 外観図					6 外観図																													
		AWD	1階	廊下	1	-	-	-	-	1	AWD	1階	多目的ホール	1	-	-	-	-	1	AWD	3階	階段室(1)	-	-	1	-	-	1	AWD	PH	階段室(1)	-	-	-	1	-	-	-	1							
既存 形状・寸法																																														
材質		アルミ製 ランマ引違い窓付・腰パネル引違い戸・腰パネル付、引違い窓					アルミ製 ランマ引違い窓付・腰パネル引違い戸・腰パネル付、引違い窓					アルミ製 ランマ、袖FIX窓付・腰パネル引違い戸					アルミ製 片開き扉ドア																													
見込	仕上	70 シルバー					70 シルバー					70 シルバー					70 シルバー																													
硝子		網入り磨き板ガラスt=6.8mm・アルミパネル					網入り磨き板ガラスt=6.8mm・アルミパネル					網入り磨き板ガラスt=6.8mm・アルミパネル					網入り磨き板ガラスt=6.8mm																													
金物																	ステンレス下枠・ステンレス水切り・ドアクローザー・ロック錠(サムターン付) 内部アルミ額縁(3方 40x25)																													
備考																																														
符号	数量	1 外観図					2 外観図					3 外観図					4 外観図					5 外観図																								
		AW	1階	廊下	1	-	-	-	-	1	AW	1階	生涯学習室	1	-	-	-	-	1	AW	1階	廊下・2階 廊下	1	2	-	-	3	AW	1階	生涯学習室	1	-	-	-	-	1	AW	1階	廊下・多目的ホール 2階 廊下 3階 CR(4-1)(4-3)	2	3	1	-	6		
形状・寸法																																														
材質		アルミ製 腰パネル付・ランマ引違い窓付、2連引違い窓					アルミ製 腰パネル付・ランマ引違い窓付、2連引違い窓					アルミ製 ランマ引違い窓付、2連引違い窓					アルミ製 ランマ引違い窓付、2連引違い窓					アルミ製 ランマ引違い窓付、2連引違い窓																								
見込	仕上	70 シルバー					70 シルバー					70 シルバー					70 シルバー					70 シルバー																								
硝子		学校用強化フロート板ガラスt=4mm・アルミパネル					網入り磨き板ガラスt=6.8mm・アルミパネル					学校用強化フロート板ガラスt=4mm					網入り磨き板ガラスt=6.8mm・網入り型板ガラスt=6.8mm・アルミパネル					学校用強化フロート板ガラスt=4mm																								
金物																																														
備考																																														

【参考図】

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	潮江小学校北舎外壁改修工事				係	係長	課長補佐	課長	図面番号
図面名	【参考図】 建具リスト-1				縮尺	S=1/50		作図	2026年 4月 日

A-24

符号	数量	6 外観図						7 外観図						8 外観図						9 外観図						10 外観図					
		1階	2階	3階	PH	合計	1階	2階	3階	PH	合計	1階	2階	3階	PH	合計	1階	2階	3階	PH	合計	1階	2階	3階	PH	合計					
		AW 1階 廊下・多目的ホール 2階 廊下 3階 CR(4-2)						AW 1階 廊下(西、手洗)						AW 1階 廊下(東、手洗)						AW 2階・3階 廊下(西、手洗)						AW 2階 廊下 3階 CR(4-3)					
形状・寸法																															
材質		アルミ製 ランマ引違い窓付、2連引違い窓						アルミ製 2連引違い窓						アルミ製 2連引違い窓						アルミ製 2連引違い窓						アルミ製 ランマ引違い窓付、2連引違い窓					
見込	仕上	70 シルバー						70 シルバー						70 シルバー						70 シルバー						70 シルバー					
硝子		学校用強化フロート板ガラスt=4mm						学校用強化フロート板ガラスt=4mm						網入り磨き板ガラスt=6.8mm						学校用強化フロート板ガラスt=4mm						網入り磨き板ガラスt=6.8mm					
金物																				外部側アルミ製窓面格子(W=3,500 H=900)【一時撤去・再設置】											
備考																															
符号	数量	11 外観図						12 外観図						13 外観図						14 外観図						15 外観図					
		AW 2階 廊下 3階 廊下・第一音楽室						AW 2階 階段室(2)手洗 3階 廊下(東、手洗)						AW 3階 コンピューター室						AW 3階 コンピューター室						AW 1階 作業室・郷土資料室・準備室・生涯学習室 2階 PTA会議室・英語教室・机椅子室 3階 コンピューター室・第一音楽室					
形状・寸法																															
材質		アルミ製 ランマ引違い窓付、2連引違い窓						アルミ製 2段FIX窓						アルミ製 2連引違い窓						アルミ製 ランマ引違い窓付、2連引違い窓						アルミ製 ランマ引違い窓付、2連引違い窓					
見込	仕上	70 シルバー						70 シルバー						70 シルバー						70 シルバー						70 シルバー					
硝子		網入り磨き板ガラスt=6.8mm						網入り磨き板ガラスt=6.8mm						学校用強化フロート板ガラスt=4mm						学校用強化フロート板ガラスt=4mm						学校用強化フロート板ガラスt=4mm・学校用強化型板ガラスt=4mm(中式下部) ランマ エアコン配管貫通用アルミパネルt=3mm(1か所)					
金物														進入ロマーク(内貼用、塩化ビニール系赤色反射シート 市販品)																	
備考																				※エアコン配管貫通用アルミパネルt=3mm(1階、生涯学習室 1か所)											
符号	数量	16 外観図						17 外観図						18 外観図						19 外観図						20 外観図					
		AW 1階 作業室						AW 1階 郷土資料室・生活科室 2階 中国語教室・英語教室 3階 廊下						AW 1階 生活科室						AW 1階 多目的ホール 2階 ランチルーム						AW 1階 多目的ホール					
形状・寸法																															
材質		アルミ製 ランマ引違い窓付、2連引違い窓						アルミ製 ランマ引違い窓付、2連引違い窓						アルミ製 ランマ引違い窓付、2連引違い窓						アルミ製 ランマ引違い窓付、2連引違い窓						アルミ製 ランマ引違い窓付、2連引違い窓					
見込	仕上	70 シルバー						70 シルバー						70 シルバー						70 シルバー						70 シルバー					
硝子		学校用強化フロート板ガラスt=4mm・学校用強化型板ガラスt=4mm(中式下部) 一部、ランマ換気扇取付用アルミパネルt=3mm						学校用強化フロート板ガラスt=4mm・学校用強化型板ガラスt=4mm(中式下部)						学校用強化フロート板ガラスt=4mm・学校用強化型板ガラスt=4mm(中式下部)						アルミパネル 学校用強化フロート板ガラスt=4mm・学校用強化型板ガラスt=4mm(中式下部)						アルミパネル 学校用強化フロート板ガラスt=4mm・学校用強化型板ガラスt=4mm(中式下部)					
金物																															
備考																															

【参考図】

高知市 都市建設部 公共建築課		工事名		潮江小学校北舎外壁改修工事		係	係長	課長補佐	課長	図面番号
		図面名		【参考図】建具リスト-2		縮尺		S=1/50		A-25
		作成		2026年 4月 日						

符号	数量	21 外観図	1階	2階	3階	PH	合計	22 外観図	1階	2階	3階	PH	合計	23 外観図	2階	中国語教室	1階	2階	3階	PH	合計	24 外観図	1階	2階	3階	PH	合計	25 外観図	2階	階段室(1)(2)	1階	2階	3階	PH	合計		
		AW	-	1	-	-	1	1	AW	1	-	-	-	1	AW	-	1	1	-	-	2	2	AW	-	1	-	-	1	AW	-	2	2	-	-	4	4	
		2階 ランチルーム							1階 生涯学習室							2階 ランチルーム							3階 階段室(1)(2)														
形状・寸法																																					
材質		アルミ製 ランマ引違い窓付、2連引違い窓							アルミ製 ランマ引違い窓付、2連引違い窓							アルミ製 ランマ引違い窓付、2連引違い窓							アルミ製 ランマ引違い窓付、2連引違い窓														
見込 仕上		70 シルバー							70 シルバー							70 シルバー							70 シルバー														
硝子		アルミパネル 学校用強化フロート板ガラスt=4mm・学校用強化型板ガラスt=4mm(中式下部)							学校用強化フロート板ガラスt=4mm・学校用強化型板ガラスt=4mm(中式下部) 一部、ランマ 換気扇取付用アルミパネルt=3mm							学校用強化フロート板ガラスt=4mm・学校用強化型板ガラスt=4mm(中式下部)							アルミパネル 学校用強化フロート板ガラスt=4mm・学校用強化型板ガラスt=4mm(中式下部)														
金物																																					
備考																																					
符号	数量	26 外観図	1階	2階	3階	PH	合計	27 外観図	1階	2階	3階	PH	合計	28 外観図	3階	廊下・第一音楽室	1階	2階	3階	PH	合計	29 外観図	1階	2階	3階	PH	合計	30 外観図	3階	廊下	1階	2階	3階	PH	合計		
		AW	-	-	1	-	1	1	AW	-	-	1	-	1	AW	-	-	3	-	-	3	3	AW	-	-	3	-	3	AW	-	-	1	-	-	1	1	
		3階 コンピューター室							3階 コンピューター室							3階 廊下・第一音楽室							3階 廊下														
形状・寸法																																					
材質		アルミ製 一部ランマFIX付、2連引違い窓							アルミ製 一部ランマFIX付、2連引違い窓							アルミ製 2連引違い窓							アルミ製 2連引違い窓														
見込 仕上		70 シルバー							70 シルバー							70 シルバー							70 シルバー														
硝子		学校用強化フロート板ガラスt=4mm・学校用強化型板ガラスt=4mm(中式下部) 一部、ランマ ロスナイ取付用アルミパネルt=3mm							学校用強化フロート板ガラスt=4mm・学校用強化型板ガラスt=4mm(中式下部) 一部、ランマ ロスナイ取付用アルミパネルt=3mm							学校用強化フロート板ガラスt=4mm・学校用強化型板ガラスt=4mm(中式下部)							学校用強化フロート板ガラスt=4mm・学校用強化型板ガラスt=4mm(中式下部)														
金物		進入口マーク(内貼用、塩化ビニール系赤色反射シート 市販品)							進入口マーク(内貼用、塩化ビニール系赤色反射シート 市販品)							進入口マーク(内貼用、塩化ビニール系赤色反射シート 市販品)							進入口マーク(内貼用、塩化ビニール系赤色反射シート 市販品)														
備考																																					
符号	数量	31 外観図	1階	2階	3階	PH	合計	32 外観図	1階	2階	3階	PH	合計	33 外観図	2階	PTA会議室	1階	2階	3階	PH	合計	34 外観図	2階	廊下	1階	2階	3階	PH	合計	35 外観図	2階	廊下	1階	2階	3階	PH	合計
		AW	-	-	-	1	1	1	AW	2	2	-	-	4	AW	-	1	-	-	-	1	1	AW	-	1	2	-	3	AW	-	1	2	-	-	3	3	
		PH 階段室(1)							1階 便所・2階 便所							2階 PTA会議室							2階 廊下 3階 CR(4-1)(4-3)							3階 廊下・第一音楽室							
形状・寸法																																					
材質		アルミ製 ランマ引違い窓付、2連引違い窓							アルミ製 ランマ引違い窓付、2連引違い窓							アルミ製 ランマ引違い窓付、2連引違い窓							アルミ製 2連引違い窓							アルミ製 2連引違い窓							
見込 仕上		70 シルバー							70 シルバー							70 シルバー							70 シルバー							70 シルバー							
硝子		学校用強化フロート板ガラスt=4mm							アルミパネル 学校用強化フロート板ガラスt=4mm・学校用強化型板ガラスt=4mm(中式)							アルミパネル 学校用強化フロート板ガラスt=4mm・学校用強化型板ガラスt=4mm(中式下部)							学校用強化フロート板ガラスt=4mm							網入り磨き板ガラスt=6.8mm							
金物																							進入口マーク(内貼用、塩化ビニール系赤色反射シート 市販品)							進入口マーク(内貼用、塩化ビニール系赤色反射シート 市販品)							
備考																							※進入口マークは、3階のみ、2階は除く							※進入口マークは、3階のみ、2階は除く							

【参考図】

高知市 都市建設部 公共建築課		工事名		潮江小学校北舎外壁改修工事		係		係長		課長補佐		課長		図面番号	
		図面名		【参考図】 建具リスト-3		縮尺		S=1/50		作図		2026年 4月 日		A-26	

符号	数量	36 外観図					37 外観図					38 外観図					39 外観図					40 外観図														
		AW	1階	2階	3階	PH	合計	AW	1階	2階	3階	PH	合計	AW	1階	2階	3階	PH	合計	AW	1階	2階	3階	PH	合計											
		3階 CR(4-2)	-	-	1	-	1	か所	3階 第一音楽室	-	-	1	-	1	か所	3階 コンピューター室	-	-	1	-	1	か所	1階 多目的ホール	1	-	-	-	1	か所	2階 ランチルーム	-	1	-	-	1	か所
形状・寸法																																				
材質		アルミ製 2連引違い窓					アルミ製 2連引違い窓					アルミ製 一部ランマFIX付、2連引違い窓					アルミ製 ランマ引違い窓付、2連引違い窓					アルミ製 ランマ引違い窓付、2連引違い窓														
見込	仕上	70	シルバー				70	シルバー				70	シルバー				70	シルバー				70	シルバー													
硝子		学校用強化フロート板ガラスt=4mm					網入り磨き板ガラスt=6.8mm 一部、ランマ 換気扇取付用アルミパネルt=3mm					学校用強化フロート板ガラスt=4mm					アルミパネル 学校用強化フロート板ガラスt=4mm・学校用強化型板ガラスt=4mm(中式下部)					アルミパネル 学校用強化フロート板ガラスt=4mm・学校用強化型板ガラスt=4mm(中式下部)														
金物		進入口マーク(内貼用、塩化ビニール系赤色反射シート 市販品)					進入口マーク(内貼用、塩化ビニール系赤色反射シート 市販品)					進入口マーク(内貼用、塩化ビニール系赤色反射シート 市販品)																								

【参考図】

		高知市 都市建設部 公共建築課		工事名		潮江小学校北舎外壁改修工事		係	係長	課長補佐	課長	図面番号		
				図面名		【参考図】建具リスト-4		縮尺		S=1/50		作図	2026年 4月 日	A-27